

2025 単位修得要領

京都女子大学

「2025 単位修得要領」は、2025 年度に入学した学生が卒業するために必要な学的事項を記載した冊子です。回生が変わっても、卒業するまで使用しますので大切に保管してください。

自分の入学年度以外の年度に発行された単位修得要領等は、内容が異なりますので参考にしないでください。

本冊子の記載内容やカリキュラム等は、年次の途中で変更される可能性があります。変更がある場合は京女ポータルでお知らせします。

京都女子大学HP（在学生のページ）に単位修得要領が掲載されています。



2025 単位修得要領 目次

I. 京都女子大学のカリキュラム

京都女子大学の学びについて	
1. 京都女子大学の教育目標	P.2
2. 授業科目とカリキュラムについて	P.3
卒業の要件について	
1. 卒業要件とは（授与される学位の種類）	P.5
2. 卒業要件単位数について	P.5
履修について	
1. 授業の開講期間	P.6
2. 科目の履修条件について	P.6
3. 授業実施形態について	P.6
4. シラバスについて	P.6
履修登録について	
1. 履修登録とは	P.7
2. 履修登録から単位修得までの流れ	P.7
3. 学修時間と登録上限（CAP 制）について	P.8
4. CAP 制の緩和について	P.8
授業について	
1. 休講・補講について	P.9
2. 授業を欠席した場合の取扱いについて	P.9
3. 台風、地震等の自然災害や交通機関の運休等による対面授業の中止について	P.9
単位修得について	
1. 成績評価について	P.11
2. GPA について	P.11
3. 学修面談について	P.11
他大学で修得した単位の認定について	
1. 大学コンソーシアム京都の単位互換制度について	P.12
2. 国内協定大学留学制度について	P.12
3. 海外協定大学留学制度について	P.12
京都女子大学副専攻プログラムについて	P.13
仏教プログラム、グローバル英語プログラム、ジェンダー・スタディーズ・プログラム、 女性地域リーダー養成プログラム	
大学院科目「先取り履修」制度について	P.18

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

建学科目群	P.24
共通科目群	P.24
諸課程履修科目	P.32
専門科目群	
文学部	
国文学科	P.37
英語文化コミュニケーション学科	P.40
史学科	P.43
発達教育学部	
教育学科	P.48
心理共生学部	
心理共生学科	P.54
家政学部	
食物栄養学科	P.58
生活造形学科	P.60
現代社会学部	
現代社会学科	P.64
法学部	
法学科	P.68
データサイエンス学部	
データサイエンス学科	P.72
履修科目チェックシート	P.76

III. 免許・諸資格

教職課程	P.89
教員免許の取得にあたって	P.90
教育実習について	P.91
教員免許の科目履修表	P.92
諸資格	P.119
諸資格の科目履修表	P.120

IV. 京都女子大学 履修規則 P.136

V. 京都女子大学の教育目標

各学科の教育目標	P.144
----------	-------

I. 京都女子大学のカリキュラム

詳細については履修規則（P.136～）を熟読してください。

京都女子大学の学びについて

1. 京都女子大学の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

本学は、建学の精神に基づく教育研究を通して、すべてのいのちあるものを敬い、多様性を尊重し、自己と社会を省みつつ主体的に生きる女性を育成することを目的としています。教育においては、幅広い教養及び汎用的スキルを基礎とし、専門知識を活かして、批判的・論理的な思考力、合理的な判断力を養い、時代の変化に応じて自ら学び続ける力を育てます。そして、自らをケアしながら、柔軟なリーダーシップを発揮し、ジェンダー平等の実現に貢献できる女性を養成します。研究においては、個々の研究の多様性を尊重し、個性豊かな研究を展開するとともに、その成果を通して人類の課題解決及び幸福増進に貢献します。

■京都女子大学の3つのポリシー

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

京都女子大学では、以下のような能力を修得した者に学位を授与します。

（1）【知識・理解】

- ①専門分野について基礎的な知識と理解を有している。
- ②専門分野を超えた幅広い知識を有している。
- ③宗教に対する適切な知識と理解を有している。

（2）【汎用的スキル】

- ①日本語を正確に理解・運用することができる。
- ②日本語以外の言語を用いて、効果的なコミュニケーションができる。
- ③数量データを含む多様な情報を、目的に応じた方法で収集・分析・活用できる。

（3）【思考力・判断力】

- ①批判的・論理的にものごとを考えることができる。
- ②信頼できる情報にもとづき、合理的な判断をすることができる。

（4）【対話・協働性】

- ①様々な状況に応じ、適切な形で対話ができる。
- ②他の人と協働して目標の達成に取り組むことができる。

（5）【主体性】

- ①自ら課題を見つけ、積極的に行動できる。
- ②自らをケアし、持続的に課題に取り組むことができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

京都女子大学では、「学位授与の方針」に掲げた能力を修得させるため、建学の精神を学ぶ「建学科目群」のほか、主に幅広い教養や汎用的技能の修得を目指す「共通科目群」と、専門的知識・理解・技能を修得するための「専門科目群」とを設け、それぞれを体系的に編成します。教育内容、教育方法について、以下のよう

（1）教育内容

- ①共通教育においては、人文・社会・自然などにわたる幅広い教養と汎用的能力を身につけ、大学での学修も含めた、生涯にわたる、力強い学びの基礎を形づくりします。
- ②専門教育においては、共通領域科目との連携を図りながら、各専門分野について基礎的な知識・理解・技能を身につけます。学年・セメスターの進行ごとに学びを高め深めていく段階性に留意しつつ、それぞれの分野の専門性に基づき、必要に応じて履修上の区分を設けるなど、体系的な科目配置を行うことによって、各専門分野の学びを確かなものとします。
- ③学修内容に応じ、講義、演習、実験・実習といった最も適切な形態による授業を開講し、教育効果を上げるために、遠隔授業も効果的に活用します。卒業年次には、学士課程の集大成として、それまでの学修を総合して指導教員の個別指導を受けつつ、卒業論文または卒業研究に取り組むことを必修とします。

(2) 教育方法

- ① 1 回生から卒業回生にいたるまで、すべての学年で、少人数演習を必修科目において開講し、調査やレポート作成、プレゼンテーション、ディスカッション等を通して、主体的で合理的な思考、問題発見・解決能力、多角的な視野、対話により協働できる力等を養います。
- ② アクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法をすべての少人数科目で用い、多人数科目においても、積極的に取り入れます。

入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

京都女子大学は、建学の精神である親鸞聖人の体した仏教精神を基調とし、単に知識や技能の修得に止まらず、時代・社会がいかに変わろうとも人間としての真の姿を求めていく敬虔な姿勢の醸成をその根底に置き、いのちの尊厳に目覚め、人々の福祉に貢献しうる女性を育成することを教育理念としています。このような教育理念のもと、学部・学科ごとに独自の「入学者受け入れの方針」を掲げて多様な入学者選抜を実施し、主体的に学ぶ意欲のある学生を求めています。

「学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」に基づく教育課程を履修するために、入学前には、各学科の「入学者受け入れの方針」に留意して、広く深い学びを重ねるとともに、学びの目的意識を確かなものとしておいてください。

▶各学科の教育目標については P.144 を確認してください。

2. 授業科目とカリキュラムについて

(1) ナンバリングコード

本学で開講される全ての科目にはコード（番号）が付番されており、この番号は授業レベル（入門・基礎等）や科目区分、学位授与方針との関連性などを表しています。これをナンバリングコードと呼び、本学のカリキュラム（教育課程）を体系的に理解することができます。

ナンバリングコードは P.24 以降の科目一覧表に記載されているので、科目をどのような順序で履修すればよいのか判断するのに活用してください。

一ナンバリングコードのルール

ナンバリングコードは科目の属性に応じて以下のようなコードを付番しています。



①開講学部など

建学科目群

仏教学	A1
共通科目群	
言語コミュニケーション科目	
英語	B1
ドイツ語	B2
フランス語	B3
中国語	B4
コリア語	B5
日本語	B6
情報基盤科目	C1
健康科学科目	D1

専門科目群

文学部共通専門科目	L0
国文学科専門科目	L1
英語文化コミュニケーション学科専門科目	L2
史学科専門科目	L3
教育学科専門科目	M6
心理共生学科専門科目	Y1
食物栄養学科専門科目	N1
生活造形学科専門科目	N2
現代社会学科専門科目	P1
法学科専門科目	Q1
データサイエンス学科専門科目	R1

諸課程履修科目

教職課程科目	V1
学芸員課程科目	V2
司書課程科目	V3
日本語教師課程科目	V4

②授業レベル

1	入門
2	基礎
3	応用
4	発展
9	その他

③科目区分

1	専門科目（必修）
2	専門科目（選択）
3	共通科目（必修）
4	共通科目（選択）
5	諸課程科目
9	その他

④授業種別

1	講義
2	演習・講読
3	実験・実習・実技
4	学外実習・研修
5	卒業論文・卒業研究
9	その他

⑤学位授与の方針

1	知識・理解
2	汎用的スキル
3	思考力・判断力
4	対話・協働性
5	主体性
9	その他

卒業の要件について

大学での学修は、学びたいことを自分で決め、自ら履修計画を立てることから始まります。学科ごとに専門的な知識を得るための様々なカリキュラムが組まれているので、自分の所属する学科のカリキュラムに沿って授業計画を立ててください。

1. 卒業要件とは（授与される学位の種類）

卒業要件とは、京都女子大学を卒業するために必要となる条件のことです。以下の要件を満たした場合、卒業が認定され、学士の学位が授与されます。

- ・大学に4年以上在籍し（※）、学科ごとに定める教育課程に従って授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得すること。
 - ・学費等が完納されていること。
- （※）休学期間は除く。

授与される学位の種類

	学部・学科名	学位の種類
文学部	国文学科	学士（文学）
	英語文化コミュニケーション学科	学士（文学）
	史学科	学士（文学）
発達教育学部	教育学科	学士（教育学）
心理共生学部	心理共生学科	学士（心理共生学）
家政学部	食物栄養学科	学士（家政学）
	生活造形学科	学士（家政学）
現代社会学部	現代社会学科	学士（現代社会）
法学部	法学科	学士（法学）
データサイエンス学部	データサイエンス学科	学士（データサイエンス）

2. 卒業要件単位数について

科目群	科目区分	卒業要件単位数	
		必修 及び 選択必修	選択
建学科目群	仏教学	8 単位	—
共通科目群	言語コミュニケーション科目	8 単位	30 単位 「共通科目群」及び「専門科目群」より合計 30 単位を自由に選択
	情報基盤科目	4 単位	
	健康科学科目	2 単位	
	ジェンダー科目 連携活動科目 国際理解科目 教養科目 オープン科目	8 単位 5 つの科目区分より 合計 8 単位を 自由に選択	
	学科専門科目 (P.36～P.73)	72 単位 必修科目を全て含めて 合計 72 単位を選択	
卒業要件単位数の合計		132 単位	

履修について

1. 授業の開講期間（前期・後期・通年）

本学では一年を「前期」と「後期」の2学期に分けて授業を実施しています。

一部の授業科目には開講期間が前期・後期にまたがる「通年」で開講されるものもあります。

開講期間は履修科目表に記載されています。

※各学期の期間（日程）については、毎年年度初めに公開します。

2. 科目の履修条件について（必選の別）

授業科目は、履修条件により以下のとおりに分類されます。

必選の別	履修条件	科目表の表記
必修科目	卒業するために必ず修得しなければならない科目	「必」
選択科目	自由に選択・履修することができる科目	「選」
選択必修科目	指定された科目群の中から定められた単位数を修得しなければならない科目	「選」(※)

(※)履修条件は、履修科目表の備考欄に記載されています。

3. 授業実施形態について

本学の授業は原則として対面で実施されますが、受講者数の多い一部の授業や教育効果が見込まれる一部の授業はオンラインで実施されます。授業形態はシラバスに記載されています。

対面授業	教室等で教員と直接対面して受講する授業
オンデマンド授業	オンラインで資料や動画が配信され、オンライン上で課題のやり取りを行う授業
遠隔双方向授業	Microsoft365等のツールを利用し、時間割通りにオンライン上で受講する授業

4. シラバスについて

シラバスとは、各授業の内容や授業計画、成績評価基準が記載された授業概要のことです。シラバスは京女ポータルより閲覧することができます。

時間割を組んだり履修登録を行う際には、シラバスに記載された内容をよく読んで履修計画を立ててください。

履修登録について

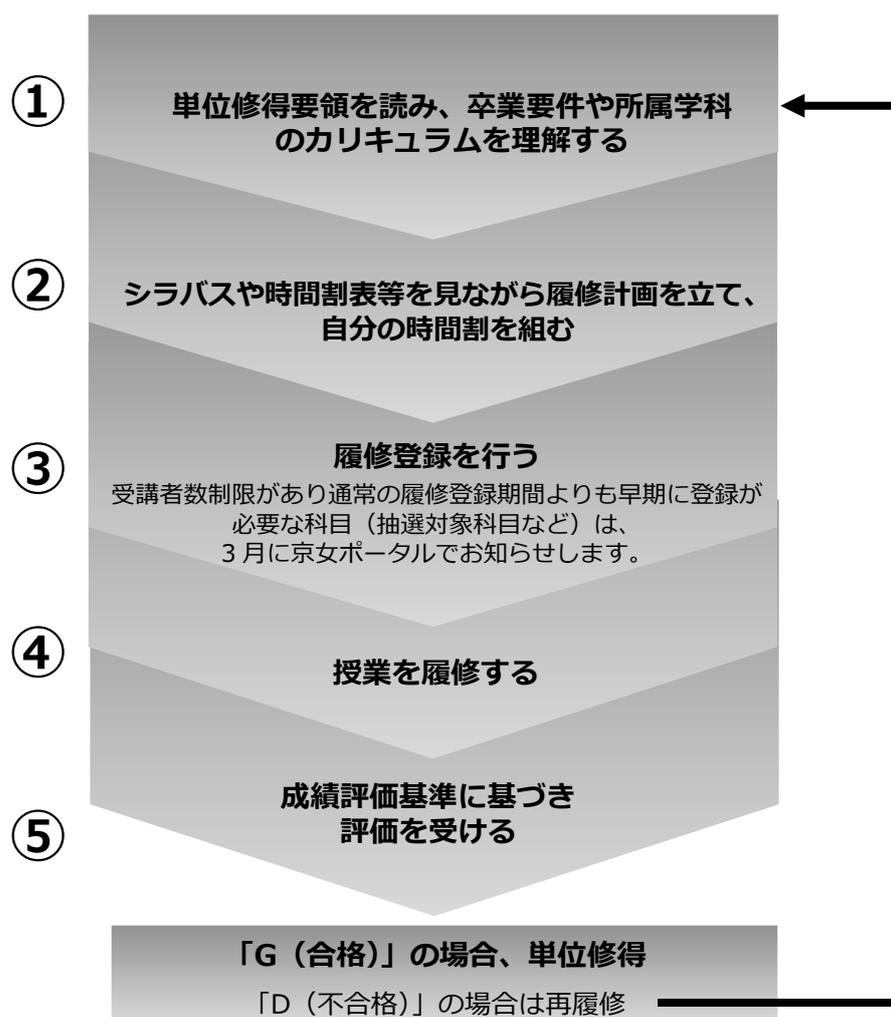
1. 履修登録とは

年度初めの指定された期間に、1年間に履修する科目（前期・後期とも）を届け出る手続きを履修登録と言います。履修登録していない科目は授業を受けても単位認定されません。

◆履修登録の原則

- ・履修登録期間、履修取消期間は必ず守ってください。期間外の登録や削除は認められません。
- ・履修登録をしていない授業科目の受講は認められません。未登録の場合、授業に出席していても単位を修得することはできません。
- ・一度修得した単位（合格した科目）を再度履修することはできません。
- ・同じ曜日・講時に履修できるのは1科目のみです。同一曜日・講時に複数の科目を履修することはできません。
- ・不合格になった科目は再度履修することができます。
- ・1年間に登録できる単位数には上限があります。（P.8 参照）
- ・履修登録者数が適正な範囲を超過した授業科目は、抽選を行うことがあります。

2. 履修登録から単位修得までの流れ



3. 学修時間と登録上限（CAP 制）について

（1）学修時間

全ての科目には単位数が設定されています。単位とは「学修時間」を数字で表したもので、「1 単位の科目」は「45 時間の学修を必要とする内容」をもって構成されます。

◆「45 時間の学修」とは

- ・45 時間の学修には、大学で行われる授業だけでなく、予習・復習等の自己学習も含まれます。自己学習の内容についてはシラバスに記載しています。
- ・また、1 回の授業は 90 分ですが、これを **2 時間の学修**とみなします。

$$1 \text{ 単位} = \text{授業時間} + \text{予習・復習 課題への取り組み} = 45 \text{ 時間}$$

2 単位の授業 1 科目に必要な学修時間の内訳

2 単位の学修時間…45 時間×2 単位 = 90 時間

授業 1 回分あたりの学修時間…90 時間÷15 回 = 6 時間

▶6 時間のうち、2 時間（実質 90 分）は大学で受講する授業での学修となるため、4 時間の自己学習が必要となる。

（2）登録上限（CAP 制）

本学では、1 年間に登録できる単位数に上限を設けています。（これを CAP 制と呼びます。）

◆CAP 制の原則

- ・卒業要件として修得すべき単位のうち、1 年間に登録できる単位数の上限は **48 単位**です。ただし、校外実習科目等については、上限を超えて登録することができます。（表 1）
- ・登録上限単位数について半期ごとの上限は設けていませんが、**前期・後期の登録単位数がそれぞれ 24 単位以下となるように履修計画を立ててください。**
- ・登録上限単位数は「登録単位数の合計」であり、「修得単位数の合計」ではありません。（前期成績の結果により 1 年間の登録単位数の上限が変動することはありません。）
- ・諸課程履修科目は卒業に必要な単位に含められないため、CAP 制の対象外です。

（表 1）CAP 制対象外科目一覧（卒業に必要な単位としてカウントできる科目のうち、CAP 制から除外される科目）

	科目区分	科目名（CAP 制の対象外）
共通科目群	ジェンダー科目	職業体験実習
	国際理解科目	語学・文化研修(A1～A5、B1～B5)、国際理解実習
専門科目群	教育学科	教育実習(幼・小)、教育実習論(幼・小)
		中学校教育実習、教育実習、教育実習論(中高)
		特別支援学校教育実習、特別支援学校教育実習論
		社会教育基礎実習、社会教育実習
		保育実習 I A、保育実習 I B、保育実習指導 I A、保育実習指導 I B
		保育実習 II、保育実習指導 II
		保育実習 III、保育実習指導 III
	心理共生学科	心理実習
		ソーシャルワーク実習 I、ソーシャルワーク実習指導 I
		ソーシャルワーク実習 II、ソーシャルワーク実習指導 II
		スクールソーシャルワーク実習、スクールソーシャルワーク実習指導
	食物栄養学科	看護臨床実習、看護臨床実習指導
		給食運営校外実習、給食運営校外実習事前事後指導
		臨地実習(臨床栄養学 I・II・III、公衆栄養学、給食経営管理論)
	生活造形学科	臨地実習事前事後指導
テキスタイルアドバイザー実習		
現代社会学科	多文化理解実習	
	短期英語研修 A、短期英語研修 B	

4. CAP 制の緩和について（2 回生以上に適用）

前年度の年間 GPA が 3.0 以上の学生は、当該年度の登録単位数の上限が 6 単位緩和され、1 年間に登録できる単位数の上限が合計 54 単位になります。この措置は、当該年度（1 年間）のみ有効です。

▶GPA については P.11 参照

授業について

1. 休講・補講について

◆休講

教員の都合等により授業が行われないことを休講といいます。
休講になる場合、京女ポータル等を通じて事前にお知らせがあります。

◆補講

休講になった授業内容や授業回数を補うために行われる授業のことを補講といいます。
休講になった授業は必ず補講を行います。日程や補講の実施方法については担当教員から連絡があります。

2. 授業を欠席した場合の取扱いについて

授業を欠席した場合、通常は欠席扱いとして成績評価に反映されます。
また、欠席回数が授業回数の3分の1（実験・実習・実技にあたっては5分の1）を超える履修科目は原則として「不合格」となり、単位認定を行いません。（履修規則第18条）

ただし、各種校外実習、傷病や公共交通機関の遅れ等、やむを得ない事由により授業を欠席した場合は、授業担当教員に欠席した授業の代替措置を申請することができます。
代替措置を申請する場合は、「欠席届」を授業担当教員に提出してください。
▶「欠席届」は京女ポータルよりダウンロードできます。

なお、代替措置の方法は授業により異なります。例えば、所定の期間内に課題等の提出を求められた場合、提出された課題を授業担当教員が評価し、相応の学習成果を確認できたことをもって「出席」の扱いになります。

やむを得ない事由により欠席した場合でも、授業担当教員に連絡をしない（無断欠席）、また欠席理由を証明する書類等の提出が無い場合は欠席扱いとなります。

3. 台風、地震等の自然災害や交通機関の運休等による対面授業の中止について

以下（1）（2）のいずれかに該当する場合、対面授業を中止します。
対面授業を中止した場合は、授業担当者の判断により補講又は代替措置を実施します。
また、学長の判断により、授業を可能な限りオンライン等で実施するよう授業担当者に要請することがあります。
対面授業の中止・再開、課外活動や登校の制限・解除については、その都度京女ポータルでお知らせします。

（1）自然災害

①気象警報の発令

<対象となる警報>

暴風警報、暴風雪警報、特別警報

<警報発令の対象地域>

京都府南部(京都市、亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町、南丹市、京丹波町、宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町、木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村)

<対面授業の中止の基準>

基準時刻	条件	対面授業中止の措置
午前 6 時 30 分 時点	警報が解除されている	平常通り授業実施
	警報が解除されていない	1・2 講時の対面授業中止
午前 10 時 時点	警報が解除されている	3 講時以降の授業は平常通り実施
	警報が解除されていない	3・4 講時の対面授業中止
午後 2 時 時点	警報が解除されている	5 講時以降の授業は平常通り実施
	警報が解除されていない	対面授業を終日中止

※授業中に警報が発令された場合、気象の状況等を考慮のうえ、学長が対面授業中止の時刻を判断する。

②地震の発生

<震度>

震度 5 弱以上

<地震の発生地域>

京都市東山区とその周辺地域とし、本学校舎への影響に応じてその都度学長が判断する。

<対面授業の中止の基準>

地震発生日	対面授業中止の措置
当日	対面授業を全日中止する。
地震発生翌日以降	震災の状況等を考慮の上、学長が対面授業の実施の可否を判断する。
授業中に地震発生	即時、対面授業を中止する。

③土砂災害及び水害などによる避難情報の発表

<避難情報の種類>

「避難指示」(警戒レベル 4)

<避難情報の対象地域>

京都市東山区内における本学周辺地域を基本とし、その都度学長が判断する。

<対面授業の中止の基準>

基準時刻	条件	対面授業中止の措置
午前 6 時 30 分 時点	避難情報が解除されている	平常通り授業実施
	避難情報が解除されていない	1・2 講時の対面授業中止
午前 10 時 時点	避難情報が解除されている	3 講時以降の授業は平常通り実施
	避難情報が解除されていない	3・4 講時の対面授業中止
午後 2 時 時点	避難情報が解除されている	5 講時以降の授業は平常通り実施
	避難情報が解除されていない	対面授業を終日中止

※授業中に避難情報が発令された場合、災害の状況等を考慮のうえ、学長が対面授業中止の時刻を判断する。

▶①～③に基づき対面授業を中止する場合、学生の安全確保を考慮のうえ、必要に応じて学生の課外活動、及び本学への登校を制限する場合があります。

(2) 交通機関の不通

<交通機関の状況>

次のいずれかの交通機関のうち、2 つ以上の交通機関が「運転見合わせ」となった場合、対面授業は中止する。なお、各交通機関に定める区間は、全面的または部分的を問わない。

ただし、**一時的な「運転見合わせ」は中止の対象としない。**

交通機関	区間
西日本旅客鉄道	大阪～草津
京都市営バス・京都市営地下鉄	全区間
京阪電車	出町柳～淀屋橋・中之島
阪急電車	京都河原町～大阪梅田
近鉄電車	京都～大和西大寺

<対面授業の中止の基準>

基準時刻	条件	対面授業中止の措置
午前 6 時 30 分 時点	運転が再開されている	平常通り授業実施
	運転が再開されていない	1・2 講時の対面授業中止
午前 10 時 時点	運転が再開されている	3 講時以降の授業は平常通り実施
	運転が再開されていない	3・4 講時の対面授業中止
午後 2 時 時点	運転が再開されている	5 講時以降の授業は平常通り実施
	運転が再開されていない	対面授業を終日中止

※授業中に運転見合わせとなった場合、対象路線や運休期間等の発表内容に基づき、学長が対面授業中止の時刻を判断する。

単位修得について

1. 成績評価について

履修登録を行った授業科目は、シラバスに示された方法及び成績評価基準により評価されます。

本学の成績評価の基準は下表のとおりです。

各科目の成績評価は学習の到達度に応じて「GP (Grade Point)」に割り当てて表されます。

種別	成績評価	GP	判定の基準
合格	SS	5	授業科目の目標を完全に達成し、特に秀でた成果を挙げている。(試験やレポート等の評価に加え、授業への参加態度や授業時間外の学修成果が極めて高いと認められる。)
	S	4	授業科目の目標をほぼ完全に達成している。
	A	3	授業科目の目標を相応に達成している。
	B	2	授業科目の目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。
	C	1	授業科目の目標の最低限を満たしている。
	G	—	GP 評価できない科目の合格。
不合格	D	0	授業科目の目標の最低限を満たしていない。
単位認定合格	N	—	他大学等で修得した単位。 本学入学前に修得した単位。

また、フィードバックの方法の一つとして、100点法で表す素点評価を表記する科目もあります。その場合は、成績通知書には GP と 100点法の評価が併記されます。

- (1)GP 評価 5 の場合、95～100 点
- (2)GP 評価 4 の場合、90～94 点
- (3)GP 評価 3 の場合、80～89 点
- (4)GP 評価 2 の場合、70～79 点
- (5)GP 評価 1 の場合、60～69 点

2. GPA について

各科目の GP の平均値を数値で表したものを GPA (Grade Point Average) といい、学習の到達度を客観的に評価するための指標として学期ごとの成績評価をもとに算出されます。

卒業するために必要な単位をただ修得するのではなく、学生が主体的に学び学習効果を上げることを目的としています。

GPA は以下の計算式で算出されます。

$$GPA = \frac{[(\text{登録科目の単位数}) \times (\text{登録科目で得た GP})] \text{ の総和}}{(\text{登録科目の単位数}) \text{ の総和}}$$

また、年間 GPA が 3.0 以上の場合、次年度 1 年間の登録上限単位数が緩和される制度があります。(P.8 参照)

3. 学修面談について

当該学期の GPA が各学科の定める基準を下回った者は、学科教員による面談を実施します。

他大学で修得した単位の認定について

大学コンソーシアム京都の単位互換制度を利用し、他大学又は短期大学で修得した単位を本学の科目に読み替えて単位を認定することができます。

卒業に必要な単位に含めることができる単位数の上限は、外国語検定試験により認定を受けた科目等の単位数と併せて 60 単位までです。

1. 大学コンソーシアム京都の単位互換制度について

大学コンソーシアム京都の単位互換包括協定に加盟している大学の学生が、他の加盟大学が開講する科目を履修でき、修得した単位が所属大学の単位として認定される制度です。この制度を利用して受講することができる科目を単位互換科目といいます。単位互換科目の受講は、2 回生及び 3 回生のみ可能です。

◆単位互換科目の受講に関する注意事項

- ・単位互換科目は、履修登録後に登録を取り消すことができません。
- ・単位互換科目の単位数も、CAP 制（1 年間に登録できる単位数の上限）に含まれます。（※）
- ・単位互換協定により他大学で開講される教職関連科目の単位を修得しても、本学における教員免許取得のための単位として扱うことはできません。

（※）外国語認定科目等の単位数と併せて 60 単位を超えるものについては、卒業に必要な単位に含まれない為 CAP 制の対象外となります。

2. 国内協定大学留学制度について

本学と協定を結んだ国内の大学に一年間又は半年間留学する制度を利用した場合、本学に学費を支払うことで留学先の学費が免除されます。

協定大学への留学期間は本学在学期間とみなされるため、休学することなく 4 年で卒業を目指すことができます。また、留学先での修得単位の一部（上限あり）は、授業内容に応じて本学における履修科目の単位として認定されます。

詳細については教務課に問い合わせてください。

3. 海外協定大学留学制度について

本学と協定を結んだ海外の大学に一年間又は半年間留学する「協定大学留学」には、留学期間中の本学の学費相当額が協定留学生奨学金として給付される「派遣留学」と、本学に学費を支払うことで留学先の学費が免除される「交換留学」の 2 種類があります。

協定大学への留学期間は本学在学期間とみなされるため、休学することなく 4 年で卒業を目指すことができます。また、留学先での修得単位の一部（上限あり）は、授業内容に応じて本学における履修科目の単位として認定されます。

詳細については国際交流課に問い合わせてください。

副専攻プログラムについて

副専攻プログラムとは、学部・学科等の専門領域以外の特定分野や特定課題について、授業科目を体系的に編成したプログラムであり、複眼的な視野を持って社会で活躍する人材を育成することを目的とした、全学共通のプログラムです。

2025年度入学生の副専攻プログラムは以下の4つのプログラムがあります。それぞれに定められた科目を履修し単位を修得することで、当該副専攻プログラムの「修了証」が授与されます。

- ◆仏教プログラム
- ◆グローバル英語プログラム
- ◆ジェンダー・スタディーズ・プログラム
- ◆女性地域リーダー養成プログラム

(1) 履修方法

各副専攻プログラムの修了に必要な科目は、全学生が履修することができます。また、修得した単位は卒業要件に含めることができます。

▶各副専攻プログラムの科目表はP.14～P.17に掲載しています。

※副専攻プログラムの履修は、申込みの必要はありません。また、履修にかかる費用等も発生しません。
各副専攻プログラムの科目表に従い、4年間で所定の科目を履修してください。

(2) 修了証の授与

副専攻プログラムを修了した学生に対して、その学修成果を認定し、京都女子大学副専攻プログラム修了証が学長より授与されます。修了証の発行を希望する者は、3回生又は4回生時に修了証の発行申請を行ってください。

※修了証は再発行できません。

※成績表に副専攻プログラム名は掲載されません。履修した科目は、副専攻プログラムとしてではなく、共通領域の科目として掲載されます。

※副専攻プログラムの修了を証明するものは「修了証」のみとなります。

※修了証の発行申請及び手続きの方法については京女ポータルでお知らせします。

京都女子大学副専攻 仏教プログラム

本学は親鸞聖人の体せられた仏教精神にもとづく教育を建学の精神に掲げています。その理念を達成するうえで、仏教学の学修は中核に位置づけられます。必修科目で学ぶ基礎的な知識をもとに、より発展的・実践的な科目群において学びを深め、体系的な学修を行うことで、自己と社会のあり方を深く洞察できる心豊かな人間を育成することを目的としています。

到達目標

必修科目である「仏教学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」において、釈尊と親鸞聖人の生涯及びその教えについて基礎的な知識を修得します。加えて、仏教の思想と文化、あるいは現代社会の諸問題を仏教的視点から考察する「教養科目 特定主題（仏教）」及び指定された科目を履修し、体系的な知識を修得することを目指します。これにより仏教を通じて自己と社会のあり方を問う視点を身につけます。

仏教プログラム 科目表

配当年次等は変更する可能性がありますので、履修年度の時間割表に従って履修してください。

卒業必修科目 8 単位を含めて合計 16 単位以上修得すること。

科目名	単位数	配当年次	科目区分	備考	
仏教学ⅠA	2	1-前	仏教学 卒業必修科目	8 単位必修	
仏教学ⅠB	2	1-後			
仏教学ⅡA	2	3-前			
仏教学ⅡB	2	3-後			
現代と仏教A	2	2-前	教養科目 特定主題 (仏教)	合計 8 単位以上 修得すること	
現代と仏教B	2	2-後			
仏教文学A	2	2-前			
仏教文学B	2	2-後			
仏教文化A	2	2-前			
仏教文化B	2	2-後			
仏教思想A	2	2-前			
仏教思想B	2	2-後			
外国語で読む仏教A	2	2-前			
外国語で読む仏教B	2	2-後			
地域と仏教演習	2	2-後			
社会と仏教特論	2	2-後			
日本文化特殊講義A	2	3-前			オープン科目 (国文学科提供)
日本文化特殊講義B	2	3-後			
合計 16 単位以上修得すること。					

京都女子大学副専攻 グローバル英語プログラム

留学を希望する学生や英語運用能力の向上を目指す学生が一定期間（1回生～3回生）集中的に履修できるように開設したプログラムです。1～2回生にかけて、まず、IELTSを中心に英語運用能力を高め、2～3回生時には、国際的な場で求められる、グローバルな問題意識と主体的な発言力を養い、異文化コミュニケーションや国際ビジネス等をテーマとしたグループディスカッションやゲストスピーカーによる授業を行う予定です。

到達目標

本プログラムではグローバルな問題意識と主体的な発言力を持ったグローバル人材を養成します。プログラム修了時の英語力の到達目標として、IELTS6.0以上を目指します。

グローバル英語プログラム 科目表

配当年次等は変更する可能性がありますので、履修年度の時間割表に従って履修してください。

正課外科目「IELTS 入門講座」(有料)受講後、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たしたうえで、合計 14 単位以上修得すること。

科目名	単位数	配当年次	科目区分	備考
IELTS 入門講座	(正課外科目)			(*1)
IELTS I	2	1-後	国際理解科目	(*2) 4 単位必修
IELTS II	2	2-前		
グローバルゼミ	2	2-前		
語学・文化研修 A1	2			(*3) (*4) 2 単位以上選択必修
語学・文化研修 A2	2			
語学・文化研修 A3	4			
語学・文化研修 A4	4			
語学・文化研修 A5	4			
英語実践ゼミ I	2	2-後		(*4) 認定科目 (留学) 4 単位必修
英語実践ゼミ II	2	3-前		2 単位必修
グローバルキャリアゼミ	2	3-後		
合計 14 単位以上修得すること				

- (*1) 開講時期や受講申し込み方法等は、4月上旬に京女ポータルにて連絡する。受講料 30,000 円が必要。一定の成績を修めた場合は言語コミュニケーション (英語 I A2 1 単位) の単位として認定する。
- (*2) 1 週間に 2 回開講する。2 回のうち 1 回はオンデマンドにて開講し、もう 1 回は対面にて開講する。詳細はシラバスを確認すること。
なお、「IELTS I」の履修は、正課外科目「IELTS 入門講座」を受講し要件を満たした者のうち、成績上位者 (最大 20 名程度) のみ受講できる。
- (*3) 「語学研修講座 (A1～A5)」のうち、本学が指定する研修に限り、グローバル英語プログラムの単位として取り扱う。
- (*4) 英語圏に留学した者については、留学先において修得した単位の一部を本授業科目の単位として認定する。

京都女子大学副専攻 ジェンダー・スタディーズ・プログラム

本学のグランドビジョンである「日本におけるジェンダー平等の実現に貢献できる女性の養成」を踏まえ、日本および世界の現状をジェンダーの視点から多角的・総合的に理解し、固定的なジェンダー規範を克服した社会・文化の実現にむけて積極的に行動するための知識と主体性を身に付けることを目的としたプログラムです。

到達目標

ジェンダー規範の束縛から解放され、時代や社会の変革に貢献できる知性と行動力を備えた人材となることを目指します。

ジェンダー・スタディーズ・プログラム 科目表

配当年次等は変更する可能性がありますので、履修年度の時間割表に従って履修してください。

配当年次の（ ）で示す科目は、学科により前期・後期の開講期間が異なります。

必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たしたうえで、合計 14 単位以上修得すること。

	科目名	単位数	配当年次	科目区分	備考
科基礎	ジェンダー研究入門	2	1-前	ジェンダー科目	4 単位必修
	運動と健康科学	2	1-前(後)	健康科学科目	
発展科目	ジェンダー研究発展	2	1-後	ジェンダー科目	選択 4 単位以上 修得すること
	歴史と女性	2	1-後		
	キャリア形成Ⅰ	2	1-後		
	キャリア形成Ⅱ	2	2-前		
	キャリア形成Ⅲ	2	2-後		
	ジェンダーと研究	2	2-後		
	女性の健康科学	2	2-前(後)		
	宗教とジェンダー	2	2-前(後)		
	文学と女性	2	2-前		
	男性学	2	2-前(後)		
関連科目	国文学史ⅠB	2	1・2-後	全学オープン科目(※1)	選択 4 単位以上 修得すること
	ジェンダー批評	2	3-前		
	日本史特殊講義 10	2	2-後		
	東洋史特殊講義 4	2	2-後		
	ジェンダーと教育	2	2-(前)後		
	家庭教育論	2	3-(前)後		
	文化と社会	2	3-前		
	家族社会学	2	2-前		
	国際結婚論	2	2-後		
	家族経済論	2	3-前		
	ジェンダーと法	2	3-前		
	民俗文化論	2	2-後		
	ジェンダー法Ⅴ	2	2-後		
	平和と女性	2	3-前		
	政治思想史	2	1-後		
	ジェンダー法Ⅱ	2	2-前		
	ジェンダー法Ⅳ	2	3-前		
	ジェンダー法Ⅵ	2	3-前		
家族と社会	2	2-前			
データから見る家族	2	2-後			
学科専門科目(※2)				法学科専門科目	
				データサイエンス学科専門科目	
科演習	ジェンダー課題演習(※3)	2	2-集中	ジェンダー科目	2 単位必修
合計 14 単位以上修得すること					

(※1) 各提供学科の所属学生は各提供学科の専門科目として履修すること。

(※2) 各学科専門科目は当該所属の学生のみ履修可、所属学科の専門科目として履修すること。

(※3) 受講定員を設けることから、希望者多数の場合は抽選等による調整を行うことがある。

京都女子大学副専攻 女性地域リーダー養成プログラム

女性地域リーダー養成プログラムは、各学科で修得した専門性に加えて、地域課題の発見能力、問題解決能力、実践力を備えた行動できる女性、地域のリーダーとなりうる女性の養成を目的としています。

到達目標

導入科目である「連携活動入門」では、大学・企業をはじめとして社会全体で連携活動が求められている背景、及び連携活動に従事するにあたって知っておくべき基礎知識を学びます。連携活動科目及び指定された科目の履修を通して、各種の連携活動に関する専門知識を修得します。

「連携課題研究 1」において、連携活動に求められる実践力を養います。連携活動を体系的に学ぶことによって、地域社会の担い手として、地域社会が抱える諸課題を考察し、その解決に対応できる科学的思考力を身につけます。

女性地域リーダー養成プログラム 科目表

配当年次等は変更する可能性がありますので、履修年度の時間割表に従って履修してください。

必修科目を含めて合計 12 単位以上修得すること。

科目名	単位数	配当年次	科目区分	備考
連携活動入門	2	1-後	連携活動科目	2 単位必修
地域連携講座 A 1	2	1-後		地域連携講座 1 科目、産学連携講座 1 科目を含む計 4 科目 8 単位以上修得すること
地域連携講座 A 2	2	1-後		
地域連携講座 A 3	2	1-後		
地域連携講座 B 1	2	2-前		
地域連携講座 B 2	2	2-前		
産学連携講座 A 1	2	1-後		
産学連携講座 A 2	2	1-後		
産学連携講座 B 1	2	2-前		
産学連携講座 B 2	2	2-前		
地域社会学	2	2-前	オープン科目 (現代社会学科提供)	
民俗文化論	2	2-後		
連携課題研究 1	2	2-通	連携活動科目	2 単位必修
合計 12 単位以上修得すること				

大学院科目「先取り履修」制度について

大学院科目の「先取り履修」制度とは、本学大学院への進学を希望する本学学生を対象に、大学院修士・博士前期課程科目の一部について大学在籍時から先取り履修を可能とし、大学院入学時に既修得単位として認定される制度のことです。

この制度は、大学院科目を早期に履修する機会を提供することで、大学院への興味・関心及び研究意欲を高め、大学院修学へのスムーズな接続をサポートすることを目的としています。本学大学院進学を検討されている方は、本制度を積極的に活用してください。

(1) 先取り履修の方法

大学院科目の先取り履修ができるのは、卒業回生の年度です。(1～3回生は履修できません。)

先取り履修の前年度である3回生時に、申込み手続き(出願)を行ってください。

先取り履修の対象となる科目一覧や募集要項は、3回生時に京女ポータルに掲載します。

(募集要項の掲載時期は9月頃を予定していますが、年度により変更する可能性があります。京女ポータルをこまめに確認してください。)

(2) 履修のルール

- ・先取り履修対象科目は大学院修士・博士前期課程1回生対象の科目に限ります。
- ・大学院各専攻が提供する先取り履修科目を履修できるのは、その基礎となる学部在籍している学生に限ります。(例えば、文学研究科国文学専攻が提供する科目は国文学科の学生以外は履修できません。)
- ・本制度による登録単位数は、大学におけるCAP制に含まれます。
- ・先取り履修科目は、大学では単位認定されず、大学の成績証明書にも記載されません。本制度で修得した科目の単位は、大学院入学後に手続きを行うことで大学院の既修得単位として認定されます。

(3) 注意事項

大学院生の履修者がいない科目は不開講となります。あらかじめ出願している科目であっても、不開講により先取り科目の履修ができない可能性があります。不開講科目については、大学院生の履修登録期間終了後の4月上旬に京女ポータルでお知らせします。

Ⅱ. 履修科目表・カリキュラムマップ

目 次

建学科目群（全学科共通の科目）	P.24
共通科目群（全学科共通の科目）	P.24
諸課程履修科目（全学科共通の科目）	P.32
専門科目群		
文学部	国文学科	P.37
	英語文化コミュニケーション学科	P.40
	史学科	P.43
発達教育学部	教育学科	P.48
心理共生学部	心理共生学科	P.54
家政学部	食物栄養学科	P.58
	生活造形学科	P.60
現代社会学部	現代社会学科	P.64
法学部	法学科	P.68
データサイエンス学部	データサイエンス学科	P.72
履修チェックシート	P.76

建学科目群 及び 共通科目群

全学共通

建学科目群

仏教学

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・スキル	汎用的判断力	思考力・協働性	対話・主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
A11311	仏教学 I A	必	2	2									◎				○
A11311	仏教学 I B	必	2		2								◎				○
A13311	仏教学 II A	必	2					2					◎				○
A13311	仏教学 II B	必	2						2				◎				○

共通科目群

言語コミュニケーション科目

「英語」と「ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語のうち一外国語」のそれぞれにつき、I A1、I A2、I B1、I B2の合計8科目8単位を修得しなければならない。

英語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・スキル	汎用的判断力	思考力・協働性	対話・主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
B12322	英語 I A1	必	1	1									○	◎		○	
B12322	英語 I A2	必	1	1									○	◎		○	
B12322	英語 I B1	必	1		1								○	◎		○	
B12322	英語 I B2	必	1		1								○	◎		○	
B13422	英語 II A1	選	1	(1)		1							○	◎		○	
B13422	英語 II A2	選	1	(1)		1							○	◎		○	
B13422	英語 II A3	選	1	(1)		1							○	◎		○	
B13422	英語 II A4	選	1	(1)		1							○	◎		○	
B13422	英語 II A5	選	1	(1)		1							○	◎		○	
B13422	英語 II A6	選	1	(1)		1							○	◎		○	
B13422	英語 II A7	選	1	(1)		1							○	◎		○	
B13422	英語 II A8	選	1	(1)		1							○	◎		○	
B13422	英語 II B1	選	1		(1)		1						○	◎		○	
B13422	英語 II B2	選	1		(1)		1						○	◎		○	
B13422	英語 II B3	選	1		(1)		1						○	◎		○	
B13422	英語 II B4	選	1		(1)		1						○	◎		○	
B13422	英語 II B5	選	1		(1)		1						○	◎		○	
B13422	英語 II B6	選	1		(1)		1						○	◎		○	
B13422	英語 II B7	選	1		(1)		1						○	◎		○	
B13422	英語 II B8	選	1		(1)		1						○	◎		○	
B14422	英語 III A1	選	1			(1)		1					○	◎		○	
B14422	英語 III A2	選	1			(1)		1					○	◎		○	
B14422	英語 III B1	選	1				(1)		1				○	◎		○	
B14422	英語 III B2	選	1				(1)		1				○	◎		○	

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

英語 II の科目は1回生から履修することができる。英語 III の科目は2回生から履修することができる。

ドイツ語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・スキル	汎用的判断力・思考力	対話・協働性	主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
B21322	ドイツ語 I A1	選	1	1								○	◎		○		
B21322	ドイツ語 I A2	選	1	1								○	◎		○		
B21322	ドイツ語 I B1	選	1		1							○	◎		○		
B21322	ドイツ語 I B2	選	1		1							○	◎		○		
B22422	ドイツ語 II A1	選	1	(1)		1						○	◎		○		
B22422	ドイツ語 II A2	選	1	(1)		1						○	◎		○		
B22422	ドイツ語 II A3	選	1	(1)		1						○	◎		○		
B22422	ドイツ語 II B1	選	1		(1)		1					○	◎		○		
B22422	ドイツ語 II B2	選	1		(1)		1					○	◎		○		
B22422	ドイツ語 II B3	選	1		(1)		1					○	◎		○		
B23422	ドイツ語 III A1	選	1			(1)		1				○	◎		○		
B23422	ドイツ語 III A2	選	1			(1)		1				○	◎		○		
B23422	ドイツ語 III B1	選	1				(1)		1			○	◎		○		
B23422	ドイツ語 III B2	選	1				(1)		1			○	◎		○		
B24422	ドイツ語 III A3	選	1					(1)		1		○	◎		○		
B24422	ドイツ語 III B3	選	1						(1)		1	○	◎		○		

ドイツ語を選択した者は必修

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ドイツ語Ⅲの単位を修得するためには、ドイツ語Ⅱ6科目のうち、ドイツ語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。

フランス語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・スキル	汎用的判断力・思考力	対話・協働性	主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
B31322	フランス語 I A1	選	1	1								○	◎		○		
B31322	フランス語 I A2	選	1	1								○	◎		○		
B31322	フランス語 I B1	選	1		1							○	◎		○		
B31322	フランス語 I B2	選	1		1							○	◎		○		
B32422	フランス語 II A1	選	1	(1)		1						○	◎		○		
B32422	フランス語 II A2	選	1	(1)		1						○	◎		○		
B32422	フランス語 II A3	選	1	(1)		1						○	◎		○		
B32422	フランス語 II B1	選	1		(1)		1					○	◎		○		
B32422	フランス語 II B2	選	1		(1)		1					○	◎		○		
B32422	フランス語 II B3	選	1		(1)		1					○	◎		○		
B33422	フランス語 III A1	選	1			(1)		1				○	◎		○		
B33422	フランス語 III A2	選	1			(1)		1				○	◎		○		
B33422	フランス語 III B1	選	1				(1)		1			○	◎		○		
B33422	フランス語 III B2	選	1				(1)		1			○	◎		○		
B34422	フランス語 III A3	選	1					(1)		1		○	◎		○		
B34422	フランス語 III B3	選	1						(1)		1	○	◎		○		

フランス語を選択した者は必修

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

フランス語Ⅲの単位を修得するためには、フランス語Ⅱ6科目のうち、フランス語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。

中国語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・スキル	汎用的判断力・思考力	対話・協働性	主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
B41322	中国語 I A1	選	1	1								○	◎		○		
B41322	中国語 I A2	選	1	1								○	◎		○		
B41322	中国語 I B1	選	1		1							○	◎		○		
B41322	中国語 I B2	選	1		1							○	◎		○		
B42422	中国語 II A1	選	1	(1)		1						○	◎		○		
B42422	中国語 II A2	選	1	(1)		1						○	◎		○		
B42422	中国語 II A3	選	1	(1)		1						○	◎		○		
B42422	中国語 II B1	選	1		(1)		1					○	◎		○		
B42422	中国語 II B2	選	1		(1)		1					○	◎		○		
B42422	中国語 II B3	選	1		(1)		1					○	◎		○		
B43422	中国語 III A1	選	1			(1)		1				○	◎		○		
B43422	中国語 III A2	選	1			(1)		1				○	◎		○		
B43422	中国語 III B1	選	1				(1)		1			○	◎		○		
B43422	中国語 III B2	選	1				(1)		1			○	◎		○		
B44422	中国語 III A3	選	1					(1)		1		○	◎		○		
B44422	中国語 III B3	選	1						(1)		1	○	◎		○		

中国語を選択した者は必修

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

中国語Ⅲの単位を修得するためには、中国語Ⅱ6科目のうち、中国語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。

コリア語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・スキル	汎用的判断力・思考力	協対話性・主体性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
B51322	コリア語 I A1	選	1	1							○	◎	○		コリア語を選択した者は必修		
B51322	コリア語 I A2	選	1	1							○	◎	○				
B51322	コリア語 I B1	選	1		1						○	◎	○				
B51322	コリア語 I B2	選	1		1						○	◎	○				
B52422	コリア語 II A1	選	1	(1)		1					○	◎	○		修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。 コリア語Ⅲの単位を修得するためには、コリア語Ⅱ6科目のうち、コリア語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。		
B52422	コリア語 II A2	選	1	(1)		1					○	◎	○				
B52422	コリア語 II A3	選	1	(1)		1					○	◎	○				
B52422	コリア語 II B1	選	1		(1)		1				○	◎	○				
B52422	コリア語 II B2	選	1		(1)		1				○	◎	○				
B52422	コリア語 II B3	選	1		(1)		1				○	◎	○				
B53422	コリア語 III A1	選	1			(1)		1			○	◎	○				
B53422	コリア語 III A2	選	1			(1)		1			○	◎	○				
B53422	コリア語 III B1	選	1				(1)		1		○	◎	○				
B53422	コリア語 III B2	選	1				(1)		1		○	◎	○				
B54422	コリア語 III A3	選	1					(1)		1	○	◎	○				
B54422	コリア語 III B3	選	1						(1)		1	○	◎	○			

日本語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・スキル	汎用的判断力・思考力	協対話性・主体性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
B62422	日本語 I A1	選	1	1							○	◎	○		日本語は外国人留学生に限り履修することができる。		
B62422	日本語 I A2	選	1	1							○	◎	○				
B62422	日本語 I B1	選	1		1						○	◎	○				
B62422	日本語 I B2	選	1		1						○	◎	○				

外国人留学生は、言語コミュニケーション科目として母語を履修することはできない。

英語を母語とする外国人留学生は、「ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語、日本語」より二外国語を選択し、それぞれにつき、I A1、I A2、I B1、I B2を修得して言語コミュニケーション科目の必修単位(合計8科目8単位)とすること。

情報基盤科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・スキル	汎用的判断力・思考力	協対話性・主体性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
C11322	情報リテラシー	必	2	2							○	◎					
C11322	データ・AIリテラシー(*)	必	2	(2)	2						○	◎					
C12412	情報基礎A	選	2		2						○	◎					
C12412	情報基礎B	選	2		2						○	◎					
C12412	情報基礎C	選	2			2					○	◎					
C12412	情報基礎D	選	2			2					○	◎					
C12422	データ・AI基礎A	選	2			2					○	◎					
C12422	データ・AI基礎B	選	2				2				○	◎					
C12422	データ・AI基礎C	選	2			2					○	◎					
C12422	データ・AI基礎D	選	2				2				○	◎					

(*)データサイエンス学部のみ、1回生前期開講

健康科学科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・スキル	汎用的判断力・思考力	協対話性・主体性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
D11315	運動と健康科学	必	2	2	(2)						○				◎		
D11435	スポーツ実践	選	1	1	(1)										◎		

ジェンダー科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・スキル	汎用的	思考力・判断力	対話・協働性	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
E11411	ジェンダー研究入門	選	2	2							◎			○	○		
E12413	ジェンダー研究発展	選	2	2							○	○	◎				
E12411	歴史と女性	選	2	2							◎			○			
E12415	キャリア形成 I	選	2	2							○				○	◎	
E13415	キャリア形成 II	選	2		2								○			◎	
E13415	キャリア形成 III	選	2			2					○					◎	
E13411	女性の健康科学	選	2		2	(2)					◎					○	
E13411	宗教とジェンダー	選	2		2	(2)					◎					○	
E13411	文学と女性	選	2		2						◎					○	
E13411	男性学	選	2		2	(2)					◎					○	
E13415	ジェンダーと研究	選	2		2						○					◎	
E14425	ジェンダー課題演習	選	2				2									◎	
E14445	職業体験実習	選	2					2					○			◎	

連携活動科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・スキル	汎用的	思考力・判断力	対話・協働性	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
F11415	連携活動入門	選	2	2							○						◎
F19415	地域連携講座A1	選	2	2							○						◎
F19415	地域連携講座A2	選	2	2							○						◎
F19415	地域連携講座A3	選	2	2							○						◎
F19415	地域連携講座B1	選	2		2						○						◎
F19415	地域連携講座B2	選	2		2						○						◎
F19415	地域連携講座B3	選	2		2						○						◎
F19415	産学連携講座A1	選	2	2							○						◎
F19415	産学連携講座A2	選	2	2							○						◎
F19415	産学連携講座B1	選	2		2						○		○	○			◎
F19415	産学連携講座B2	選	2		2						○						◎
F19425	連携課題研究1	選	2		2												◎
F19425	連携課題研究2	選	2		2												◎

国際理解科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・スキル	汎用的	思考力・判断力	対話・協働性	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
G11411	言語と文化A1	選	2	2							◎						
G11411	言語と文化A2	選	2	2							◎						
G11411	言語と文化B1	選	2		2						◎						
G11411	言語と文化B2	選	2		2						◎						
G11411	英語で京都を学ぶ	選	2		2						◎						
G19422	国際理解実習	選	2		2						○	◎			○		
G19422	語学・文化研修A1	選	2			2					○	◎			○		
G19422	語学・文化研修A2	選	2			2					○	◎			○		
G19422	語学・文化研修A3	選	4			4					○	◎			○		
G19422	語学・文化研修A4	選	4			4					○	◎			○		
G19422	語学・文化研修A5	選	4			4					○	◎			○		
G19422	語学・文化研修B1	選	2			2					○	◎			○		
G19422	語学・文化研修B2	選	2			2					○	◎			○		
G19422	語学・文化研修B3	選	4			4					○	◎			○		
G19422	語学・文化研修B4	選	4			4					○	◎			○		
G19422	語学・文化研修B5	選	4			4					○	◎			○		
G11422	IELTS I	選	2		2							◎					
G12422	IELTS II	選	2		2							◎					
G13425	グローバルゼミ	選	2		2						○			○	○	◎	
G13424	英語実践ゼミ I	選	2		2						○			○	◎		
G13424	英語実践ゼミ II	選	2		2						○			○	◎		
G14425	グローバルキャリアゼミ	選	2				2				○			○	○	◎	

*「語学・文化研修」は協定大学留学における認定科目(単位)とすることができる。

教養科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・スキル	汎用的判断力	思考力・協働性	主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
H11411	教養科目A(文学と思想1)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(文学と思想2)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(芸術と表現1)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(芸術と表現2)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(市民と社会1)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(市民と社会2)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(福祉とくらし1)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(福祉とくらし2)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(心とからだ1)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(心とからだ2)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(環境と生命1)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(環境と生命2)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(数と情報1)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目A(数と情報2)	選	2		2						◎						
H11411	教養科目B(文学と思想3)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(文学と思想4)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(芸術と表現3)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(芸術と表現4)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(市民と社会3)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(市民と社会4)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(福祉とくらし3)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(福祉とくらし4)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(心とからだ3)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(心とからだ4)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(環境と生命3)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(環境と生命4)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(数と情報3)	選	2			2					◎						
H11411	教養科目B(数と情報4)	選	2			2					◎						
H11411	特定主題(京都) 京都の文学	選	2		2						◎						
H11411	特定主題(京都) 京都と芸能	選	2		2						◎						
H11411	特定主題(京都) 京都の歴史	選	2			2					◎						
H11411	特定主題(京都) 京都の文化と産業	選	2				2				◎						
H12413	現代と仏教A	選	2			2						◎				○	
H12413	現代と仏教B	選	2				2						◎				○
H12411	特定主題(仏教) 仏教文学A	選	2			2					◎		○				
H12411	特定主題(仏教) 仏教文学B	選	2				2				◎		○				
H12411	特定主題(仏教) 仏教文化A	選	2			2					◎		○				
H12411	特定主題(仏教) 仏教文化B	選	2				2				◎		○				
H12411	特定主題(仏教) 仏教思想A	選	2			2					◎		○				
H12411	特定主題(仏教) 仏教思想B	選	2				2				◎		○				
H12411	特定主題(仏教) 外国語で読む仏教A	選	2			2					◎	○					
H12411	特定主題(仏教) 外国語で読む仏教B	選	2				2				◎	○					
H12421	地域と仏教演習	選	2				2				◎				○		
H12415	社会と仏教特論	選	2				2				○						◎

オープン科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・応用的	判断力・思考力・協働性・対話性・主体性	◎	○	○	○	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
L32211	東アジア史A	選	2		2						◎	○	○				文学部共通専門科目	
L32211	東アジア史B	選	2			2					◎	○	○					
L32211	ヨーロッパ史A	選	2		2						◎	○	○					
L32211	ヨーロッパ史B	選	2			2					◎	○	○					
L32211	20世紀史A	選	2		2						◎	○	○					
L32211	20世紀史B	選	2			2					◎	○	○					
L31212	漢文A	選	2	2							○	◎	○					
L31212	漢文B	選	2		2						○	◎	○					
L32212	ラテン語A	選	2		2						○	◎	○					
L32212	ラテン語B	選	2			2					○	◎	○					
L32211	日本美術史A	選	2		2						◎	○	○					
L32211	日本美術史B	選	2			2					◎	○	○					
L32211	東洋美術史	選	2			2					◎	○	○					
L32211	西洋美術史	選	2		2						◎	○	○					
L02211	ことばとコミュニケーション	選	2		2						◎					○		
L03211	中国文学史A	選	2		2						◎		○					
L03211	中国文学史B	選	2			2					◎		○					
L04211	近代フランス文学論	選	2			2					◎		○					
L04211	朝鮮語史概論	選	2			2					◎		○					
L04211	ドイツ文学論	選	2			2					◎		○					
L02222	観光ドイツ語	選	2			2					○	◎				○		
L02222	観光フランス語	選	2			2					○	◎				○		
L03222	観光中国語	選	2			2					○	◎				○		
L03222	観光コリア語	選	2			2					○	◎				○		
L12211	国文学史1B	選	2	2							◎		○				国文学科	
L12211	国文学史2A	選	2		2						◎		○					
L12211	国文学史2B	選	2			2					◎		○					
L12211	国語史A	選	2		2						◎		○					
L12211	国語史B	選	2			2					◎		○					
L13213	日本文化特殊講義A	選	2				2				○	○	◎					
L13213	日本文化特殊講義B	選	2					2			○	○	◎					
L22211	英語学基礎講義	選	2	2							◎		○				英語文化コミュニケーション学科	
L23213	ジェンダー批評	選	2			2					○		◎					
L33222	日本古文書ⅡA	選	2				2				○	◎	○				史学科	
L33222	日本古文書ⅡB	選	2					2			○	◎	○					
L34222	日本古文書ⅡC	選	2						2		○	◎	○					
L34222	日本古文書ⅡD	選	2							2	○	◎	○					
L32211	日本史特殊講義10	選	2			2					◎	○	○					
L32211	東洋史特殊講義4	選	2			2					◎	○	○					
M63214	多文化教育論	選	2					2					○	◎			教育学科	
M63215	ジェンダーと教育	選	2			2							○		◎			
M63213	家庭教育論	選	2				(2)	2			○		◎	○				
M63211	音楽心理学	選	2					2			◎			○				
Y13211	公衆衛生学	選	2			2					◎						心理共生学科	
Y11211	生命倫理学	選	2	2							◎		○			○		
Y13213	発達障害児の心理と教育	選	2			2					○		◎	○				
N13211	食空間プロデュース論	選	2						2		◎						食物栄養学科	
N13211	フードコーディネーター論	選	2						2		◎							
N22213	西洋服飾史	選	2			2					○		◎				生活造形学科	
N23213	ファッション文化論	選	2					2			○		◎					
P13211	ジェンダーと法	選	2				2				◎	○	○				現代社会学科	
P12215	倫理学	選	2		2						○		○			◎		
P12211	自然環境と生態系	選	2		2						◎	○	○					
P12211	家族社会学	選	2		2						◎		○			○		
P12211	国際結婚論	選	2			2					◎	○			○			
P12211	文化と社会	選	2			2					◎	○	○					
P13213	家族経済論	選	2				2				○		◎					
P12211	環境政策論	選	2		2						◎	○	○					
P12211	生命倫理学	選	2			2					◎		○			○		
P12211	生命の起源と進化	選	2			2					◎		○					
P12211	多様性の生物学	選	2		2						◎	○						
P13212	環境開発論	選	2				2				○	◎						

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

V. 京都女子大学の教育目標

—共通科目群—

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・	スキルの	汎用的	判断力・	思考力・		協働性・	対話性・	主体性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
P13213	応用倫理学	選	2						2					○	○	◎		○		
P12212	エネルギーと環境	選	2				2							○	◎					
P13213	環境社会学	選	2						2					○		◎				
P12211	地域社会学	選	2			2								◎		○		○		
P12212	民俗文化論	選	2				2							○	◎					
P12211	イスラーム地域研究	選	2				2							◎		○				
Q13213	ジェンダー法V	選	2				2							○		◎	○	法学科		
Q14211	平和と女性	選	2					2						◎			○	○		

諸課程履修科目

※修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができません。

諸課程履修科目

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができない。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
V11519	教職論	選	2	2	(2)							中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭及び栄養教諭の免許状取得の所要資格を得るための「教職課程に関する科目」 ・教育職員免許状取得の所要資格を得るために必要な科目、単位及び必選の別については、別に定める免許状取得要領に従い履修すること。 ・発達教育学部における「教職課程に関する科目」は、各学科の専門科目を履修すること。 ・心理共生学部における「教育心理学」は、学科の専門科目を履修すること。 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法) (生徒指導と教育相談)
V11519	教育原論	選	2	2	(2)							
V11519	教育心理学	選	2	2	(2)							
V13519	教育行政学	選	2					2	(2)			
V12519	教育課程論	選	2			2	(2)					
V12519	特別支援教育論	選	1			1	(1)					
V12519	道徳教育論	選	2			2	(2)					
V12519	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	選	2					2	(2)			
V12519	教育方法論	選	2			2	(2)					
V13519	生徒指導論	選	2					2	(2)			
V13519	進路指導論	選	2					2	(2)			
V14519	教育実習論	選	1							1		
V14549	教育実習	選	2							2		
V14549	中学校教育実習	選	2							2		
V14529	教職実践演習(中・高)	選	2							2		
V12519	人権教育論	選	1			1	(1)					
V12519	日本国憲法	選	2			2	(2)					
V14519	養護教育実習論	選	1							1		
V14549	養護教育実習	選	4							4		
V14529	教職実践演習(養護教諭)	選	2							2		
V14529	栄養教育実習指導	選	1							1		
V14549	栄養教育実習	選	1							1		
V14529	教職実践演習(栄養教諭)	選	2							2		
V21519	生涯学習概論	選	2	2	(2)							
V22519	博物館概論	選	2			2						
V22519	博物館経営論	選	2			2						
V22519	博物館資料論	選	2			2						
V23519	博物館資料保存論	選	2			2						
V23519	博物館展示論	選	2			2						
V22519	博物館情報論	選	1			1						
V22519	視聴覚教育メディア論	選	1			1	(1)					
V22519	博物館教育論	選	2			2						
V23549	博物館実習 I	選	2					2				
V24549	博物館実習 II	選	2							2		
V31519	生涯学習概論	選	2	2	(2)							
V31519	図書館概論	選	2	2	(2)							
V32519	図書館制度・経営論	選	2			2	(2)					
V32519	図書館情報技術論	選	2			2	(2)					
V31519	図書館サービス概論	選	2	2	(2)							
V31519	情報サービス論	選	2	2	(2)							
V31519	児童サービス論	選	2	2	(2)							
V32529	情報サービス演習	選	2			2	(2)					
V31519	図書館情報資源概論	選	2	2	(2)							
V31519	情報資源組織論	選	2	2	(2)							
V32529	情報資源組織演習 I	選	1			1	(1)					
V32529	情報資源組織演習 II	選	1			1	(1)					
V32519	図書館基礎特論	選	2			2	(2)					
V32519	図書館サービス特論	選	2			2	(2)					
V32519	図書館情報資源特論	選	2			2	(2)					
V32519	図書・図書館史	選	2			2	(2)					
V32519	図書館施設論	選	2			2	(2)					
V33529	図書館総合演習	選	2					2	(2)			
V34549	図書館実習	選	2							2		
V31519	学校経営と学校図書館	選	2	2	(2)							
V31519	学校図書館メディアの構成	選	2	2	(2)							
V31519	学習指導と学校図書館	選	2	2	(2)							
V31519	読書と豊かな人間性	選	2	2	(2)							
V31519	情報メディアの活用	選	2	2	(2)							
V32519	学校図書館サービス論	選	2			2	(2)					

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
V41519	日本語教育入門	選	2	2	(2)								日本語教師課程の修了認定を受けるために必要な科目 (事前・事後指導を含む。)
V41519	言語と社会	選	2	2	(2)								
V41519	言語と心理	選	2	2	(2)								
V41519	言語と教育	選	2			2	(2)						
V41519	日本語の構造	選	2	2	(2)								
V43549	日本語教育実習	選	2					2		(2)			

専門科目群

文学部

文学部共通専門科目

- ◆修得した単位は所属する学科の専門科目の単位に含めることができる。
- ◆「オープン科目」に該当する科目も、文学部共通専門科目として扱う。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・スキル	判断力・思考力	対話・協働性	主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
L13212	民俗学	選	2		2							○	◎		○	国文学科提供科目		
L13212	風俗文化史A	選	2		2							○	◎		○			
L13212	風俗文化史B	選	2			2						○	◎		○			
L13213	東洋思想史A	選	2				2					○	○	◎				
L13213	東洋思想史B	選	2					2				○	○	◎				
L23211	英語圏研究1	選	2		2							◎		○		英語文化コミュニケーション学科提供科目		
L23211	英語圏研究2	選	2			2						◎		○				
L23211	英語圏研究3	選	2			2						◎		○				
L32222	日本古文書 I A	選	2		2							○	◎	○		史学科提供科目		
L32222	日本古文書 I B	選	2			2						○	◎	○				
L31211	くずし字入門	選	2	2								◎	○	○				
L32211	東アジア史A	選	2		2							◎	○	○				
L32211	東アジア史B	選	2			2						◎	○	○				
L32211	ヨーロッパ史A	選	2		2							◎	○	○				
L32211	ヨーロッパ史B	選	2			2						◎	○	○				
L32211	20世紀史A	選	2		2							◎	○	○				
L32211	20世紀史B	選	2			2						◎	○	○				
L31212	漢文A	選	2	2								○	◎	○				
L31212	漢文B	選	2		2							○	◎	○				
L32212	ラテン語A	選	2		2							○	◎	○				
L32212	ラテン語B	選	2			2						○	◎	○				
L33212	ギリシア語A	選	2				2					○	◎	○				
L33212	ギリシア語B	選	2					2				○	◎	○				
L32211	日本美術史A	選	2		2							◎	○	○				
L32211	日本美術史B	選	2			2						◎	○	○				
L32211	東洋美術史	選	2			2						◎	○	○				
L32211	西洋美術史	選	2		2							◎	○	○				
L02211	ことばとコミュニケーション	選	2		2							◎			○			
L03211	中国文学史A	選	2		2						○	◎		○				
L03211	中国文学史B	選	2			2					○	◎		○				
L04211	近代フランス文学論	選	2			2						◎		○				
L04211	朝鮮語史概論	選	2			2						◎		○				
L04211	ドイツ文学論	選	2			2						◎		○				
L02222	観光ドイツ語	選	2			2						○	◎		○			
L02222	観光フランス語	選	2			2						○	◎		○			
L03222	観光中国語	選	2			2						○	◎		○			
L03222	観光コリア語	選	2			2						○	◎		○			

文学部国文学科

国文学科専門科目

◆「国文学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。

72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

◆別掲の「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・スキル	判断力・思考力	協働性	主体性					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
L11111	国文学基礎講座A	必	2	2								○	◎	○						(音声言語及び文章表現を含む)	
L11111	国文学基礎講座B	必	2		2							○	◎	○							
L11111	国語学概説A	必	2	2								○	◎		○						
L11111	国語学概説B	必	2		2							○	◎		○						
L11121	入門演習A	必	2	2								○	◎	○			○				
L11121	入門演習B	必	2		2							○	◎	○			○				
L12122	基礎演習A	必	2			2						○	○	◎	○	○				合計8単位以上修得すること。	
L12122	基礎演習B	必	2				2					○	○	◎	○	○					
L12211	国文学史1A	選	2	2		2						○	◎		○						
L12211	国文学史1B	選	2		2		2					○	◎		○						
L12211	国文学史2A	選	2	2		2						○	◎		○						
L12211	国文学史2B	選	2		2		2					○	◎		○						
L12211	国語史A	選	2	2		2						○	◎		○					合計20単位以上修得すること。	
L12211	国語史B	選	2		2		2					○	◎		○						
L12221	講読上代A	選	2	2		2							◎		○						
L12221	講読上代B	選	2		2		2							◎		○					
L12221	講読中古A	選	2	2		2								◎		○					
L12221	講読中古B	選	2		2		2								◎		○				
L12221	講読中世A	選	2	2		2									◎		○				
L12221	講読中世B	選	2		2		2									◎		○			
L12221	講読近世A	選	2	2		2										◎		○			
L12221	講読近世B	選	2		2		2										◎		○		
L12221	講読近代A	選	2	2		2											◎		○		
L12221	講読近代B	選	2		2		2											◎	○		
L12221	講読漢文A	選	2	2		2											◎		○		
L12221	講読漢文B	選	2		2		2											◎	○		
L12221	講読国語学A	選	2	2		2												◎	○		
L12221	講読国語学B	選	2		2		2												◎		
L13224	演習 I A(上代)	選	2				2					○	○		○	◎					8単位選択必修
L13224	演習 I B(上代)	選	2					2				○	○		○	◎					
L13224	演習 I A(中古)	選	2				2					○	○		○	◎					
L13224	演習 I B(中古)	選	2					2				○	○		○	◎					
L13224	演習 I A(中世)	選	2				2					○	○		○	◎					
L13224	演習 I B(中世)	選	2					2				○	○		○	◎					
L13224	演習 I A(近世)	選	2				2					○	○		○	◎					
L13224	演習 I B(近世)	選	2					2				○	○		○	◎					
L13224	演習 I A(近代)	選	2				2					○	○		○	◎					
L13224	演習 I B(近代)	選	2					2				○	○		○	◎					
L13224	演習 I A(漢文)	選	2				2					○	○		○	◎					
L13224	演習 I B(漢文)	選	2					2				○	○		○	◎					
L13224	演習 I A(国語学)	選	2				2					○	○		○	◎					
L13224	演習 I B(国語学)	選	2					2				○	○		○	◎					
L14125	演習 II A(注)	必	2							2		○			○	○	◎				
L14125	演習 II B(注)	必	2								2	○			○	○	◎				

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・	知識・	スキル	判断力・	協働性・		主体性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L13213	国文学特殊講義1A	選	2					2		2		○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義1B	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義2A	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義2B	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義3A	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義3B	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義4A	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義4B	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義5A	選	2					2		2		○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義5B	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義6A	選	2					2		2		○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義6B	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義7A	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義7B	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義8A	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義8B	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義9A	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義9B	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国語学特殊講義1A	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国語学特殊講義1B	選	2							2	2	○	○	○	◎				
L13213	国語学特殊講義2A	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	国語学特殊講義2B	選	2							2	2	○	○	○	◎				
L13213	日本文化特殊講義A	選	2						2		2	○	○	○	◎				
L13213	日本文化特殊講義B	選	2							2	2	○	○	○	◎				
L12232	書道A	選	2	2								○	◎		○		(書写を中心とする)		
L13232	書道B	選	2		2							○	◎		○				
L12212	漢文学A	選	2			2						○	○	◎		○			
L12212	漢文学B	選	2				2					○	○	◎		○			
L13212	民俗学	選	2			2						○	◎		○				
L13212	風俗文化史A	選	2			2						○	◎		○				
L13212	風俗文化史B	選	2				2					○	◎		○				
L13213	東洋思想史A	選	2					2		2		○	○	◎					
L13213	東洋思想史B	選	2						2		2	○	○	◎					
L19212	国語科教育法1	選	2			2						○	◎		○				
L19212	国語科教育法2	選	2				2					○	◎		○				
L19212	国語科教育法3	選	2					2				○	◎		○				
L19212	国語科教育方法論(小中)	選	2						2			○	◎		○				
L14155	卒業論文(注)	必	6							6		○			○	○	◎		

(注) 演習ⅡA、演習ⅡB及び卒業論文は、演習ⅠAのうち1科目2単位以上、演習ⅠBのうち1科目2単位以上、計2科目4単位以上修得しなければ履修できない。

文学部共通専門科目

◆「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・スキル	判断力・思考力・協働性	主体性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
L23211	英語圏研究1	選	2		2						◎		○		英語文化コミュニケーション学科提供科目			
L23211	英語圏研究2	選	2			2					◎		○					
L23211	英語圏研究3	選	2			2					◎		○					
L32222	日本古文書 I A	選	2		2						◎	◎	○		史学科提供科目			
L32222	日本古文書 I B	選	2		2						◎	◎	○					
L31211	くずし字入門	選	2	2							◎	○	○					
L32211	東アジア史A	選	2		2						◎	○	○					
L32211	東アジア史B	選	2		2						◎	○	○					
L32211	ヨーロッパ史A	選	2		2						◎	○	○					
L32211	ヨーロッパ史B	選	2		2						◎	○	○					
L32211	20世紀史A	選	2		2						◎	○	○					
L32211	20世紀史B	選	2		2						◎	○	○					
L31212	漢文A	選	2	2							◎	◎	○					
L31212	漢文B	選	2	2							◎	◎	○					
L32212	ラテン語A	選	2		2						◎	◎	○					
L32212	ラテン語B	選	2		2						◎	◎	○					
L33212	ギリシア語A	選	2				2				◎	◎	○					
L33212	ギリシア語B	選	2				2				◎	◎	○					
L32211	日本美術史A	選	2		2						◎	○	○					
L32211	日本美術史B	選	2		2						◎	○	○					
L32211	東洋美術史	選	2		2						◎	○	○					
L32211	西洋美術史	選	2		2						◎	○	○					
L02211	ことばとコミュニケーション	選	2		2						◎			○				
L03211	中国文学史A	選	2		2						◎	◎	○					
L03211	中国文学史B	選	2		2						◎	◎	○					
L04211	近代フランス文学論	選	2		2						◎		○					
L04211	朝鮮語史概論	選	2		2						◎		○					
L04211	ドイツ文学論	選	2		2						◎		○					
L02222	観光ドイツ語	選	2		2						◎	◎		○				
L02222	観光フランス語	選	2		2						◎	◎		○				
L03222	観光中国語	選	2		2						◎	◎		○				
L03222	観光コリア語	選	2		2						◎	◎		○				

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

V. 京都女子大学の教育目標

文学部英語文化コミュニケーション学科

英語文化コミュニケーション学科専門科目

◆「英語文化コミュニケーション学科専門科目」より、必修科目修得の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。

72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

◆別掲の「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・	知識的・	汎用的	判断力・	協対話性・	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L21111	英語文化コミュニケーション入門	必	2	2								○	◎		○	○		ガイダンス科目	
L22122	Oral Communication I	必	1	1								○		◎		○	○	スキル科目	
L22122	Oral Communication I Plus	必	1	1										◎		○	○		
L22112	Grammar & Expression	必	1			1						○	○	◎		○			
L22121	IELTS演習 I	必	2	2									◎	○					
L22122	Oral Communication II	必	1		1									◎		○	○		
L23122	Oral Communication II Plus	必	1		1									◎		○	○		
L22112	Reading & Writing	必	1		1						○	○	◎						
L23221	IELTS演習 II	選	2	2									◎	○					
L23221	IELTS演習 III	選	2	2									◎	○					
L22122	TOEIC演習 I	必	2	2									○	◎			○		
L23112	High-intermediate Oral Communication I	必	1		1									◎		○	○		
L22122	TOEIC演習 II	必	2		2								○	◎			○		
L23112	High-intermediate Oral Communication II	必	1			1								◎		○	○		
L23222	TOEIC演習 III	選	2			2							○	◎			○		
L23212	Speech & Presentation	選	2				2							◎		○	○		
L23212	Advanced Oral Communication I	選	2				2							◎		○	○		
L23212	Advanced Oral Communication II	選	2					2						◎		○	○		
L22221	Communication & Hospitality	選	2		2						○	◎	○	○					
L22211	異文化理解基礎講義	選	2	2							○	◎		○	○				
L22211	英語学基礎講義	選	2	2							○	◎		○					
L22213	英米映画研究1	選	2	2								○		◎					
L22211	イギリス文学基礎講義	選	2		2						○	◎		○					
L22211	アメリカ文学基礎講義	選	2		2						○	◎		○					
L22211	英語学研究	選	2		2							◎		○					
L23211	トランスレーション・スタディーズ	選	2			2						◎		○					
L23211	英語文法語法研究	選	2			2						◎		○					
L23213	英米文学研究1	選	2			2						○		◎					
L23211	英語圏研究1	選	2			2						◎		○					
L23213	英米映画研究2	選	2			2						○		◎					
L23211	英語音声学	選	2			2						◎		○					
L23211	言語習得論	選	2			2						◎		○					
L23211	認知言語学	選	2			2						◎		○					
L23213	英米文学研究2	選	2			2						○		◎					
L23211	英語圏研究2	選	2			2						◎		○					
L23225	観光ガイド演習	選	2			2							○		○	◎			
L23215	エアライン・スタディーズ I	選	2			2						○	○				◎		
L23215	エアライン・スタディーズ II	選	2				2					○	○				◎		
L23215	ツーリズム・スタディーズ I	選	2			2						○	○				◎		
L23213	エリア・スタディーズ 1	選	2			2						○		◎					
L23213	エリア・スタディーズ 2	選	2			2						○		◎					
L23225	ホテル業務実践	選	1			1								○	○	◎			
L23211	英語圏研究3	選	2			2						◎		○					
L22222	時事英語演習I	選	2			2						○	◎		○				
L22222	時事英語演習II	選	2			2						○	◎		○				
L23212	英語で読む京都	選	2				2					○	◎		○				
L23213	英米文学研究3	選	2				2					○		◎					
L23211	言語科学	選	2				2					◎		○					
L23213	ジェンダー批評	選	2				2				○	○		◎					
L23213	比較文化研究1	選	2				2					○		◎					
L23215	ビジネス英語演習 I	選	2				2						○		○	◎			
L23215	ツーリズム・スタディーズ II	選	2				2					○	○				◎		
L23211	英米児童文学研究	選	2					2				◎		○					
L23222	Advanced Reading I	選	2			2						○	◎	○					
L23222	Advanced Reading II	選	2				2					○	◎	○					
L23212	翻訳研究 I	選	2				2					○	◎	○					

文学部共通専門科目

◆「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・	スキル	判断力・	協働性・	主体性	
				前	後	前	後	前	後	前	後							
L13212	民俗学	選	2		2							○	◎		○		国文学科提供科目	
L13212	風俗文化史A	選	2		2							○	◎		○			
L13212	風俗文化史B	選	2			2						○	◎		○			
L13213	東洋思想史A	選	2				2					○	○	◎				
L13213	東洋思想史B	選	2					2				○	○	◎				
L32222	日本古文書ⅠA	選	2		2							○	◎	○			史学科提供科目	
L32222	日本古文書ⅠB	選	2			2						○	◎	○				
L31211	くずし字入門	選	2	2								◎	○	○				
L32211	東アジア史A	選	2		2							◎	○	○				
L32211	東アジア史B	選	2			2						◎	○	○				
L32211	ヨーロッパ史A	選	2		2							◎	○	○				
L32211	ヨーロッパ史B	選	2			2						◎	○	○				
L32211	20世紀史A	選	2		2							◎	○	○				
L32211	20世紀史B	選	2			2						◎	○	○				
L31212	漢文A	選	2	2								○	◎	○				
L31212	漢文B	選	2	2								○	◎	○				
L32212	ラテン語A	選	2		2							○	◎	○				
L32212	ラテン語B	選	2			2						○	◎	○				
L33212	ギリシア語A	選	2				2					○	◎	○				
L33212	ギリシア語B	選	2					2				○	◎	○				
L32211	日本美術史A	選	2		2							◎	○	○				
L32211	日本美術史B	選	2			2						◎	○	○				
L32211	東洋美術史	選	2			2						◎	○	○				
L32211	西洋美術史	選	2		2							◎	○	○				
L02211	ことばとコミュニケーション	選	2		2							◎			○			
L03211	中国文学史A	選	2		2					○	◎			○				
L03211	中国文学史B	選	2			2				○	◎			○				
L04211	近代フランス文学論	選	2			2						◎		○				
L04211	朝鮮語史概論	選	2			2						◎		○				
L04211	ドイツ文学論	選	2			2						◎		○				
L02222	観光ドイツ語	選	2			2						○	◎		○			
L02222	観光フランス語	選	2			2						○	◎		○			
L03222	観光中国語	選	2			2						○	◎		○			
L03222	観光コリア語	選	2			2						○	◎		○			

文学部史学科

史学科専門科目

◆「史学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

◆別掲の「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識	応用的スキル	判断力	思考力	協働性	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L31125	史学基礎演習A	必	2	2								○	○			○	◎		
L31125	史学基礎演習B	必	2		2							○	○			○	◎		
L31111	日本史概論A	必	2	2								○	◎	○	○				
L31111	日本史概論B	必	2		2							○	◎	○	○				
L31111	東洋史概論A	必	2	2								○	◎	○	○				
L31111	東洋史概論B	必	2		2							○	◎	○	○				
L31111	西洋史概論A	必	2	2								○	◎	○	○				
L31111	西洋史概論B	必	2		2							○	◎	○	○				
L32224	日本史入門演習A	選	2			2						○	○		○	◎			
L32224	日本史入門演習B	選	2				2					○	○		○	◎			
L33223	日本史演習ⅠA	選	2					2				○			◎	○	○		
L33223	日本史演習ⅠB	選	2						2			○			◎	○	○		
L34225	日本史演習ⅡA	選	2							2		○			○	◎			
L34225	日本史演習ⅡB	選	2								2	○			○	◎			
L32222	日本史講読ⅠA	選	2			2						○	◎	○					
L32222	日本史講読ⅠB	選	2				2					○	◎	○					
L33222	日本史講読ⅡA	選	2					2				○	◎	○					
L33222	日本史講読ⅡB	選	2						2			○	◎	○					
L34222	日本史講読ⅡC	選	2							2		○	◎	○					
L34222	日本史講読ⅡD	選	2								2	○	◎	○					
L32222	日本古文書ⅠA	選	2			2						○	◎	○					
L32222	日本古文書ⅠB	選	2				2					○	◎	○					
L33222	日本古文書ⅡA	選	2					2				○	◎	○					
L33222	日本古文書ⅡB	選	2						2			○	◎	○					
L34222	日本古文書ⅡC	選	2							2		○	◎	○					
L34222	日本古文書ⅡD	選	2								2	○	◎	○					
L32211	日本史特殊講義1	選	2			2						◎	○	○					
L32211	日本史特殊講義2	選	2				2					◎	○	○					
L32211	日本史特殊講義3	選	2			2						◎	○	○					
L32211	日本史特殊講義4	選	2				2					◎	○	○					
L32211	日本史特殊講義5	選	2			2						◎	○	○					
L32211	日本史特殊講義6	選	2				2					◎	○	○					
L32211	日本史特殊講義7	選	2			2						◎	○	○					
L32211	日本史特殊講義8	選	2				2					◎	○	○					
L32211	日本史特殊講義9	選	2			2						◎	○	○					
L32211	日本史特殊講義10	選	2				2					◎	○	○					

日本史コース履修者は必修

演習ⅡA及びⅡBは、演習ⅠA又はⅠBのいずれか2単位を修得しなければ履修できない。

日本史コース履修者は、この枠内の科目と、東洋史・西洋史の特殊講義科目から16単位以上を修得すること。ただし、日本古文書ⅠA～ⅠB、日本古文書ⅡA～ⅡB、日本史特殊講義1～10から、8単位以上を必ず含めること。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識	スキル	判断力・思考力	協働性	主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L32224	東洋史入門演習A	選	2		2						○	○	○	◎		東洋史コース履修者は必修 演習ⅡA及びⅡBは、演習ⅠA又はⅠBのいずれか2単位を修得しなければ履修できない。			
L32224	東洋史入門演習B	選	2		2					○	○	○	◎						
L33223	東洋史演習ⅠA	選	2			2				○		◎	○	○					
L33223	東洋史演習ⅠB	選	2			2				○		◎	○	○					
L34225	東洋史演習ⅡA	選	2				2			○		○	○	◎					
L34225	東洋史演習ⅡB	選	2				2	2		○		○	○	◎					
L32222	東洋史講読ⅠA	選	2		2					○	◎	○			東洋史コース履修者は、東洋史講読ⅠA・ⅠBまたは史学外書講読ⅠA・ⅠBから、4単位以上修得すること。				
L32222	東洋史講読ⅠB	選	2		2					○	◎	○							
L33222	東洋史講読ⅡA	選	2			2				○	◎	○			東洋史コース履修者は、東洋史講読ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB、ⅣA・ⅣB、または史学外書講読ⅡA・ⅡBから、4単位以上修得すること。				
L33222	東洋史講読ⅡB	選	2			2				○	◎	○							
L34222	東洋史講読ⅡC	選	2				2			○	◎	○							
L34222	東洋史講読ⅡD	選	2					2		○	◎	○							
L33222	東洋史講読ⅢA	選	2			2				○	◎	○							
L33222	東洋史講読ⅢB	選	2				2			○	◎	○							
L34222	東洋史講読ⅢC	選	2					2		○	◎	○							
L34222	東洋史講読ⅢD	選	2						2	○	◎	○							
L33222	東洋史講読ⅣA	選	2			2				○	◎	○							
L33222	東洋史講読ⅣB	選	2				2			○	◎	○							
L34222	東洋史講読ⅣC	選	2					2		○	◎	○							
L34222	東洋史講読ⅣD	選	2						2	○	◎	○							
L32211	東洋史特殊講義1	選	2		2					◎	○	○			東洋史コース履修者は、東洋史・日本史・西洋史の特殊講義科目から、16単位を修得すること。ただし、東洋史特殊講義1～8から、8単位以上を必ず含めること。				
L32211	東洋史特殊講義2	選	2			2				◎	○	○							
L32211	東洋史特殊講義3	選	2		2					◎	○	○							
L32211	東洋史特殊講義4	選	2			2				◎	○	○							
L32211	東洋史特殊講義5	選	2		2					◎	○	○							
L32211	東洋史特殊講義6	選	2			2				◎	○	○							
L32211	東洋史特殊講義7	選	2		2					◎	○	○							
L32211	東洋史特殊講義8	選	2			2				◎	○	○							
L32224	西洋史入門演習A	選	2		2					○	○	○	◎		西洋史コース履修者は必修 演習ⅡA及びⅡBは、演習ⅠA又はⅠBのいずれか2単位を修得しなければ履修できない。				
L32224	西洋史入門演習B	選	2		2					○	○	○	◎						
L33223	西洋史演習ⅠA	選	2			2				○		◎	○	○					
L33223	西洋史演習ⅠB	選	2			2				○		◎	○	○					
L34225	西洋史演習ⅡA	選	2				2			○		○	○	◎					
L34225	西洋史演習ⅡB	選	2					2		○		○	○	◎					
L32222	西洋史講読ⅠA	選	2		2					○	◎	○			西洋史コース履修者は、西洋史講読ⅠA・ⅠBまたは史学外書講読ⅠA・ⅠBから、4単位以上修得すること。				
L32222	西洋史講読ⅠB	選	2			2				○	◎	○							
L33222	西洋史講読ⅡA	選	2			2				○	◎	○			西洋史コース履修者は、西洋史講読ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢBから、4単位以上修得すること。				
L33222	西洋史講読ⅡB	選	2			2				○	◎	○							
L34222	西洋史講読ⅡC	選	2				2			○	◎	○							
L34222	西洋史講読ⅡD	選	2					2		○	◎	○							
L33222	西洋史講読ⅢA	選	2			2				○	◎	○							
L33222	西洋史講読ⅢB	選	2				2			○	◎	○							
L34222	西洋史講読ⅢC	選	2					2		○	◎	○							
L34222	西洋史講読ⅢD	選	2						2	○	◎	○							
L32211	西洋史特殊講義1	選	2		2					◎	○	○							
L32211	西洋史特殊講義2	選	2			2				◎	○	○							
L32211	西洋史特殊講義3	選	2		2					◎	○	○							
L32211	西洋史特殊講義4	選	2			2				◎	○	○							
L32211	西洋史特殊講義5	選	2		2					◎	○	○							
L32211	西洋史特殊講義6	選	2			2				◎	○	○							
L32211	西洋史特殊講義7	選	2		2					◎	○	○							
L32211	西洋史特殊講義8	選	2			2				◎	○	○							

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ						備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・	知識・	スキル	判断力・	思考力・	協働性・		主体性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
L32222	史学外書講読ⅠA	選	2			2						○	◎	○				東洋史コース履修者は、東洋史講読ⅠA・ⅠBまたは史学外書講読ⅠA・ⅠBから、4単位以上および東洋史講読ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB、ⅣA・ⅣBまたは史学外書講読ⅡA・ⅡBから、4単位以上修得すること。日本史コースおよび西洋史コース履修者は、選択科目として卒業に必要な単位に含めることができる。		
L32222	史学外書講読ⅠB	選	2			2						○	◎	○						
L33222	史学外書講読ⅡA	選	2				2					○	◎	○						
L33222	史学外書講読ⅡB	選	2					2				○	◎	○						
L34222	史学外書講読ⅡC	選	2						2			○	◎	○						
L34222	史学外書講読ⅡD	選	2							2		○	◎	○						
L31211	くずし字入門	選	2	2								◎	○	○						
L32211	東アジア史A	選	2		2							◎	○	○						
L32211	東アジア史B	選	2			2						◎	○	○						
L32211	ヨーロッパ史A	選	2		2							◎	○	○						
L32211	ヨーロッパ史B	選	2			2						◎	○	○						
L32211	20世紀史A	選	2		2							◎	○	○						
L32211	20世紀史B	選	2			2						◎	○	○						
L31212	漢文A	選	2	2								○	◎	○						
L31212	漢文B	選	2	2								○	◎	○						
L32212	ラテン語A	選	2		2							○	◎	○						
L32212	ラテン語B	選	2			2						○	◎	○						
L33212	ギリシア語A	選	2				2					○	◎	○						
L33212	ギリシア語B	選	2					2				○	◎	○						
L32211	日本美術史A	選	2		2							◎	○	○						
L32211	日本美術史B	選	2			2						◎	○	○						
L32211	東洋美術史	選	2			2						◎	○	○						
L32211	西洋美術史	選	2		2							◎	○	○						
L32211	歴史地理学概論	選	2		2	(2)						◎	○	○						
L32211	人文地理学概論	選	2		2	(2)						◎	○	○						
L32211	地誌	選	2			2						◎	○	○						
L32211	自然地理学	選	2					2				◎	○	○						
L31211	法律学研究	選	2	2	(2)							◎	○	○						
L32211	経済学研究	選	2		2	(2)						◎	○	○						
L32211	哲学研究	選	2		2	(2)						◎	○	○						
L32211	宗教学研究	選	2		2	(2)						◎	○	○						
L31211	考古学A	選	2	2								◎	○	○						
L31211	考古学B	選	2		2							◎	○	○						
L32211	社会科教育法(地理歴史分野)	選	2		2	(2)						◎	○	○						
L32211	社会科教育法(公民分野)	選	2		2	(2)						◎	○	○						
L33211	地理歴史科教育法	選	2				2	(2)				◎	○	○						
L33211	公民科教育法	選	2				2	(2)				◎	○	○						
L34155	卒業論文	必	6						6			○	○				◎			

日本史講読ⅡC・ⅡD、日本古文書ⅡC・ⅡD、東洋史講読ⅡC・ⅡD、東洋史講読ⅢC・ⅢD、東洋史講読ⅣC・ⅣD、西洋史講読ⅡC・ⅡD、西洋史講読ⅢC・ⅢD、史学外書講読ⅡC・ⅡDは、同一名科目のA・B、2科目4単位を修得しなければ履修できない。

文学部共通専門科目

◆「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・スキル	判断力・思考力・協働性	主体性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
L13212	民俗学	選	2		2							○	◎		○		国文学科提供科目	
L13212	風俗文化史A	選	2		2							○	◎		○			
L13212	風俗文化史B	選	2			2						○	◎		○			
L13213	東洋思想史A	選	2				2					○	○	◎				
L13213	東洋思想史B	選	2					2				○	○	◎				
L23211	英語圏研究1	選	2		2							◎		○			英語文化コミュニケーション学科提供科目	
L23211	英語圏研究2	選	2			2						◎		○				
L23211	英語圏研究3	選	2			2						◎		○				
L02211	ことばとコミュニケーション	選	2		2							◎			○			
L03211	中国文学史A	選	2		2						○	◎		○				
L03211	中国文学史B	選	2			2					○	◎		○				
L04211	近代フランス文学論	選	2			2						◎		○				
L04211	朝鮮語史概論	選	2			2						◎		○				
L04211	ドイツ文学論	選	2			2						◎		○				
L02222	観光ドイツ語	選	2			2						○	◎		○			
L02222	観光フランス語	選	2			2						○	◎		○			
L03222	観光中国語	選	2			2						○	◎		○			
L03222	観光コア語	選	2			2						○	◎		○			

専門科目群

発達教育学部

発達教育学部教育学科

教育学科専門科目

◆「教育学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・スキル	応用的	批判的・思考力	協対話・協働性	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
M61122	発達教育学入門演習	必	2	2								○	◎	○	○			
M61121	発達教育学演習Ⅰ	必	2		2							○	◎	○	○			
M61121	発達教育学演習Ⅱ	必	2		2							○	◎	○	○			
M62221	保育探究プログラム入門	選	2			2						○	◎	○			保育探究プログラム入門、児童文化プログラム入門、教育探究プログラム入門、授業探究プログラム入門、インクルーシブ教育プログラム入門、音楽探究プログラム入門、生涯教育プログラム入門より、1科目2単位以上修得すること。	
M62221	児童文化プログラム入門	選	2			2						○	◎	○				
M62221	教育探究プログラム入門	選	2			2						○	◎	○				
M62221	授業探究プログラム入門	選	2			2						○	◎	○				
M62221	インクルーシブ教育プログラム入門	選	2			2						○	◎	○				
M62221	音楽探究プログラム入門	選	2			2						○	◎	○				
M62221	生涯教育プログラム入門	選	2			2						○	◎	○				
M61111	教育原論	必	2	2	(2)							○	◎	○				
M61111	教職論	必	2	(2)	2							○	◎	○	○			
M62111	教育心理学	必	2	2	(2)							○	◎	○	○			
M62111	特別支援教育論	必	1	1	(1)							○	◎	○				
M62211	教育行政学	選	2			(2)	2						◎	○				
M62211	保育・幼児教育課程論	選	2			(2)	2					○	◎	○				
M62111	教育課程論	選	2			2	(2)					○	◎	○				
M62213	道徳教育論	選	2			2	(2)					○	○		◎			
M62211	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	選	2					2	(2)				◎	○				
M61212	教育方法論	選	2	(2)	2							○	○	◎	○	○	(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	
M63223	子ども理解と教育相談	選	2			(2)	2					○		◎			(生徒指導と教育相談)	
M63221	生徒指導論	選	2					2	(2)			◎	○	○				
M62211	進路指導論	選	2				(2)	2				◎	○	○				
M62211	教育実習論(幼・小)	選	2				2					◎	○		○			
M62211	教育実習論(中高)	選	1						1			◎	○		○			
M63245	教育実習(幼・小)	選	4				4								○	◎		
M63245	中学校教育実習	選	2						2						○	◎		
M63245	教育実習	選	2						2						○	◎		
M64225	保育・教職実践演習	選	2						2	○				○	○	◎		
M64225	教職実践演習	選	2						2	○				○	○	◎		
M62211	子どもと健康	選	1			1	(1)					○	◎	○		○		
M62211	子どもと人間関係	選	1			(1)	1					○	◎	○				
M62211	子どもと環境	選	1			(1)	1					○	◎	○				
M62211	子どもと言葉	選	1			1	(1)					○	◎	○				
M62211	子どもと表現	選	1	(1)	1							○	◎			○		
M63222	保育内容演習(健康)	選	2			(2)	2					○	○	◎	○			
M63221	保育内容演習(人間関係)	選	2					2	(2)			○	◎	○	○			
M63221	保育内容演習(環境)	選	2					2	(2)			○	◎	○	○			
M63221	保育内容演習(言葉)	選	2			(2)	2					○	◎	○	○			
M62223	保育内容演習(表現)	選	2			(2)	2					○	○	○	◎			
M61221	保育内容総論	選	1	(1)	1							○	◎	○	○			
M62211	保育原理	選	2			2	(2)					○	◎	○				
M62211	子ども家庭福祉	選	2			2	(2)					◎	○			○		
M62211	社会福祉	選	2			2	(2)					◎	○			○		
M62211	子ども家庭支援論	選	2			(2)	2					◎	○			○		
M62213	社会的養護Ⅰ	選	2			2	(2)					○		◎		○		
M62211	発達心理学	選	2			2	(2)					○	◎	○				
M63211	子ども家庭支援の心理学	選	2			2	(2)					◎	○			○		
M62211	子どもの保健	選	2			2	(2)					○	◎				○	
M62221	子どもの栄養	選	2			(2)	2					◎	○					
M62211	乳児保育Ⅰ	選	2			(2)	2					◎	○					
M63221	乳児保育Ⅱ	選	1					1	(1)			◎	○				○	
M63221	子ども保健学演習	選	1			(1)	1					◎	○				○	
M62221	障害児保育	選	2			2	(2)					◎	○					
M63224	社会的養護Ⅱ	選	1			(1)	1					○			◎		○	
M63224	子育て支援	選	1					1	(1)			○	○			◎	○	

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・スキルの	判断力・思考力	対話・協働性	主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
M63245	保育実習 I A	選	2				2											◎
M63245	保育実習 I B	選	2					2										◎
M63225	保育実習指導 I A	選	1				1											◎
M63225	保育実習指導 I B	選	1					1										◎
M62213	乳幼児の健康・運動あそび	選	2	(2)	2							○		◎				
M62213	乳幼児の科学・造形あそび	選	2			2						○		◎				
M63214	乳幼児の表現・音楽あそび	選	2					2					○		◎			
M61232	音楽実技 I	選	2	2								○	○	◎				
M62231	人形劇演習	選	2						2			○	◎					○
M62211	絵本論	選	2					2				◎	○					
M64245	保育実習 II	選	2							2					○	○		◎
M64245	保育実習 III	選	2							2						○	○	◎
M64225	保育実習指導 II	選	1						1			○			○	○		◎
M64225	保育実習指導 III	選	1						1						○	○		◎
M62211	国語科教育内容論	選	2		2							○	◎		○	○		
M62211	社会科教育内容論	選	2		2							○	◎		○	○		
M62211	算数科教育内容論	選	2	2								○	◎		○	○		
M62211	理科教育内容論	選	2			2						○	◎		○	○		
M62211	生活科教育内容論	選	2		2							○	◎			○		
M62211	音楽科教育内容論	選	2			2						○	◎		○	○		
M62211	図工科教育内容論	選	2			2						○	◎		○	○		
M62211	家庭科教育内容論	選	2			2						○	◎		○	○		
M62211	体育科教育内容論	選	2	2								○	◎		○	○		
M62211	外国語科教育内容論	選	2			2						◎		○	○			
M62213	国語科教育方法論(小中)	選	2			2						○		◎				
M62211	社会科教育方法論	選	2			2						◎		○	○			
M62211	算数科教育方法論	選	2		2							◎		○	○			
M62211	理科教育方法論	選	2				2					◎		○	○			
M62214	生活科教育方法論	選	2			2						○			○	◎		
M62211	音楽科教育方法論(小中)	選	2			2						◎		○	○			
M62211	図工科教育方法論	選	2			2						◎		○	○			
M62213	家庭科教育方法論	選	2			2						○		◎				
M62211	体育科教育方法論	選	2		2							◎		○	○			
M62211	外国語科教育方法論(小中)	選	2			2						◎		○	○			
M61211	人権教育論	選	1	1	(1)							○	◎		○			
M62211	児童文化学	選	2		2							○	◎		○	○		
M61211	子どもの感性と表現	選	2	2								○	◎		○	○		
M62232	児童文化学実習	選	2					2				○		◎			○	
M62211	児童文化活動論	選	2					2				◎						○
M63214	多文化教育論	選	2					(2)	2			○			○	◎		
M62232	ソルフェージュ	選	2		2							○	○	◎				
M62222	声楽基礎	選	2			2						○	○	◎				
M62234	合唱	選	2			2						○		○	○	◎		
M62222	器楽基礎	選	2			2						○	○	◎			○	
M62234	合奏	選	2			2						○	○	○		◎		
M63234	指揮法	選	2					2					○	○		◎		
M63221	作曲法	選	2						2				◎		○	○		
M61211	音楽史1(西洋)	選	2	2								○	◎					
M61211	音楽史2(日本及び民族)	選	2		2							◎						
M62211	音楽科教育法1	選	2			2						○	◎		○	○		
M63211	音楽科教育法2	選	2					2				◎			○	○		
M64211	音楽科教育法3	選	2						2			◎		○				○
M61221	音楽理論1	選	2	2								○	◎					
M62221	音楽理論2	選	2		2							◎		○				
M63221	音楽理論3	選	2			2						◎		○	○			
M64221	音楽理論4	選	2				2					◎		○	○			
M61231	声楽実技 I	選	1	1								○	◎		○	○		
M61231	声楽実技 II	選	1		1							◎		○	○			
M61232	ピアノ実技 I	選	1	1								○	○	◎		○		
M61232	ピアノ実技 II	選	1		1							○	◎		○			

(日本の伝統的な歌唱を含む)

(伴奏並びに和楽器を含む)

(編曲法を含む)

(西洋)

(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)

(楽典)

(和声1)

(和声2)

(対位法)

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

V. 京都女子大学の教育目標

—専門科目群 教育学科—

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・	スキルの	判断力・	協働性・	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
M62211	音楽文化特論1(西洋)	選	2		2						○	◎		○				
M62211	音楽文化特論2(日本及び民族)	選	2			2						◎		○				(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)
M63232	和楽器実技 I	選	1				1				○	○	◎		○			
M62211	特別支援教育総論	選	2		2						○	◎	○					
M62213	インクルーシブ教育論	選	2					2					○	◎	○			
M62211	知的障害者の心理・生理・病理	選	2			2					○	◎						
M62211	肢体不自由者の心理・生理・病理	選	2					2				◎	○					
M62211	病弱者の心理・生理・病理	選	2			2						◎	○					
M62211	知的障害教育論	選	2		2						○	◎	○					
M62211	肢体不自由教育論	選	2		2						○	◎	○					
M62211	病弱教育論	選	2			2					○	◎	○					
M62213	知的障害者の発達と教育	選	2					2 (2)					○	◎	○			
M62213	肢体不自由者の発達と教育	選	2						2				○	◎	○			
M62213	病弱者の発達と教育	選	2					2					○	◎	○			
M62211	重複障害者教育総論	選	1				1					◎	○					
M62211	発達障害者教育総論	選	2			2						◎	○					
M62211	聴覚障害者教育総論	選	1				1					◎	○					
M62211	視覚障害者教育総論	選	1					1				◎	○					
M64211	特別支援学校教育実習論	選	1						1			◎		○			○	
M64245	特別支援学校教育実習	選	2						2							○	◎	
M62211	生涯学習概論 I	選	2		2						○	◎		○				
M62211	生涯学習概論 II	選	2			2					○	◎		○				
M63223	生涯学習支援論 I	選	2				2					○		◎				
M63223	生涯学習支援論 II	選	2					2				○		◎				
M63223	社会教育経営論 I	選	2					2				○		◎				
M63223	社会教育経営論 II	選	2						2			○		◎				
M63215	ジェンダーと教育	選	2		(2)	2								○			◎	
M63213	家庭教育論	選	2				(2)	2				○		◎	○			
M62211	教育社会学	選	2		(2)	2						◎		○				
M61221	学校外教育論	選	2	(2)	2							◎			○			
M63245	社会教育実習	選	2						2							○	◎	
M64223	社会教育演習	選	2							2					◎	○		
M62245	社会教育基礎実習	選	2			2									○	◎		
M64223	社会教育課題研究	選	2							2					◎	○		
M63223	保育実践研究1	選	2				(2)	2					○	◎	○			
M63223	保育実践研究2	選	2					2 (2)					○	◎	○			
M63213	子どもの認知発達	選	2				(2)	2					○	○	◎			
M63211	パーソナリティ発達研究	選	2				(2)	2					◎	○	○			
M62211	子ども文化創造概論	選	2				2	(2)			○	◎	○	○				
M63224	子ども文化創造実践演習	選	2				(2)	2								◎	○	
M63213	教育哲学	選	2		(2)	2						○		◎				
M63211	教育史	選	2		2	(2)						◎		○				
M62213	比較・国際教育論	選	2		(2)	2						○		◎	○			
M63211	オルタナティブ教育概論	選	2					2 (2)				◎		○				
M64245	オルタナティブ教育インターンシップ	選	2						2						○		◎	
M63224	教育のリフレクション	選	2				(2)	2							○	◎		
M63213	自然体験型環境教育	選	2				(2)	2				○	○	◎				
M63223	授業実践演習1	選	2					2 (2)							◎	○	○	
M63223	授業実践演習2	選	2					(2)	2						◎	○	○	
M64244	海外教育フィールドワーク	選	2			2							○		◎	○		
M62212	ユニバーサルデザイン教育論	選	2					2 (2)					◎	○	○			
M62212	通常の学級の特別支援教育	選	2					2 (2)					◎	○	○			
M62212	幼児期の特別支援教育	選	2					(2)	2				◎	○	○			
M62232	ヴォイス・トレーニング	選	1			1	(1)				○	○	◎					
M63234	音楽アンサンブル	選	1					(1)	1					○		◎		
M63211	音楽社会学	選	2					2 (2)			○	◎						
M63211	音楽教育概論	選	2					2 (2)			○	◎						○
M63211	音楽心理学	選	2				(2)	2			○	◎				○		
M62211	児童文学論	選	2					2				◎		○	○			
M64214	おもちゃ研究	選	1							1			○		◎			

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・	スキルの	判断力・	協働性・	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
M61232	音楽実技2	選	1	1								○	◎		○			
M61234	合奏入門	選	2	2								○	○		◎			
M62222	音楽表現実技演習 I	選	1		1							○	◎		○			
M62222	音楽表現実技演習 II	選	1			1						○	◎		○			
M63221	鍵盤総合演習	選	2				2					◎	○					
M63232	和楽器実技 II	選	1					1				◎			○			
M63211	音楽療法	選	2				2					◎			○			
M63211	カルチュラルスタディーズ	選	2						2			◎	○					
M63222	音楽ICT演習	選	2					2				○	◎					
M63222	教育・発達研究法	選	2				2					○	◎	○				
M63222	教育・発達分析法	選	2					2				○	◎	○				
M64122	発達教育学研究 I	必	2				2				○		◎	○		○		
M64122	発達教育学研究 II	必	2					2			○		◎	○		○		
M64125	発達教育学研究 III	必	2						2		○		○	○		◎		
M64125	発達教育学研究 IV	必	2						2		○		○	○		◎		
M64155	卒業研究	必	6						6		○		○	○		◎		

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

V. 京都女子大学の教育目標

専門科目群

心理共生学部

心理共生学部心理共生学科

心理共生学科専門科目

◆「心理共生学科専門科目」より、必修科目修得の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・スキル	判断力・力	対話・協働性	主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
Y11122	心理共生入門	必	2		2						○	◎		○				
Y11111	心理学と心理的支援	必	2	2							○	◎		○				
Y11111	心理学概論	必	2	2							○	◎						
Y11111	臨床心理学概論	必	2	2							○	◎						
Y11111	ソーシャルワーク概論	必	2	2							○	◎						
Y11111	社会福祉原論	必	2	2							○	◎						
Y11111	学校保健概論	必	2	2							○	◎						
Y11111	臨床医学概論	必	2	2							○	◎						
Y11122	入門演習Ⅰ	必	2	2							○	◎		○				
Y11121	入門演習Ⅱ	必	2	2							○	◎		○				
Y11122	基礎演習Ⅰ	必	2		2						○	◎	◎	○				
Y11122	基礎演習Ⅱ	必	2			2					○	◎	◎	○				
Y11245	心理共生実践	選	2			2							○	○	◎			
Y11211	心理学研究法	選	2	2							○	◎	○	○				
Y11211	人体の構造と機能及び疾病	選	2	2							○	◎						
Y11211	心理統計法	選	2		2						○	◎	○	○				
Y11211	心理測定・評価	選	2		2						◎	○	○					
Y11211	教育心理学	選	2		2						◎							
Y11211	生命倫理学	選	2		2						◎		○		○			
Y12233	心理学実験	選	2		2						○	◎	○	◎		○		
Y12211	学習・言語心理学	選	2		2						○	◎						
Y12211	知覚・認知心理学	選	2		2						○	◎						
Y12211	教育・学校心理学	選	2		2						○	◎						
Y12211	社会・集団・家族心理学A	選	2		2						○	◎						
Y12211	産業・組織心理学	選	2		2						○	◎						
Y12211	発達心理学	選	2		2						○	◎						
Y12211	脳と行動	選	2		2						◎							
Y12213	推測統計	選	2		2						○	○	○	◎				
Y12211	社会学	選	2	2							◎							
Y12211	ソーシャルワークの基盤と専門職	選	2	2							○	◎		○				
Y12211	社会福祉政策論	選	2	2							○	◎		○				
Y12211	ソーシャルワーク論Ⅰ	選	2		2						○	◎						
Y12223	ソーシャルワーク演習Ⅰ	選	1		1						○			◎	○	○		
Y12211	地域福祉論Ⅰ	選	2		2						○	◎						
Y12211	児童・家庭福祉論	選	2		2						◎							
Y12211	解剖生理学	選	2	2							○	◎						
Y12211	養護概説	選	2		2						○	◎						
Y12211	人体生理学	選	2		2						○	◎						
Y12213	看護学Ⅰ	選	2		2						○	○		◎				
Y12211	微生物学	選	2		2						◎							
Y12211	免疫学	選	2		2						◎							
Y12213	学校保健	選	2		2						○	○	○	◎				
Y12213	保健科教育法1	選	2		2						○	○	○	◎		○		
Y12213	乳幼児心理学	選	2			2					○		◎					
Y12211	司法・犯罪心理学	選	2			2					○	◎						
Y12211	心理学的支援法	選	2			2					○	◎		○				
Y12213	障害者・障害児心理学	選	2			2					○	○		◎				
Y12221	心理的アセスメント	選	2			2					○	◎		○				
Y12211	感情・人格心理学	選	2			2					○	◎						
Y12211	精神疾患とその治療	選	2			2					○	◎						
Y12213	多変量解析	選	2			2					○	○		◎				
Y12233	上級心理学実験	選	2			2					○	○		◎				
Y12211	知覚心理学特論	選	2			2					◎							
Y12211	組織心理学特論	選	2			2					◎							
Y13223	上級心理的アセスメント	選	2				2				○		◎	○				

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・スキル	判断力	協働性	主体性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
Y13211	神経・生理心理学	選	2					2				○	◎						
Y13211	犯罪心理学	選	2					2					◎						
Y13211	認知心理学特論A	選	2					2					◎						
Y13224	カウンセリング演習	選	2					2				○		○	◎				
Y13213	心理調査法	選	2					2				○	○	◎					
Y13211	心理学的支援法特論	選	2					2					◎		○				
Y13211	学校心理学特論	選	2					2					◎						
Y13211	青年心理学	選	2					2					◎						
Y13211	ポジティブ心理学	選	2					2					◎						
Y13213	発達障害児の心理と教育	選	2					2				○		◎	○				
Y13211	健康・医療心理学	選	2					2				○	◎						
Y13211	福祉心理学	選	2					2				○	◎						
Y13224	心理演習	選	2					2				○		○	◎				
Y13211	社会・集団・家族心理学B	選	2					2				○	◎						
Y13211	関係行政論	選	2					2				○	◎						
Y13211	認知心理学特論B	選	2					2					◎						
Y13211	法と心理学	選	2					2					◎						
Y13223	認知行動療法演習	選	2					2				○		◎	○				
Y13223	心理学課題研究	選	2					2				○		◎	○				
Y13211	成人・老年心理学	選	2					2					◎						
Y13211	臨床社会心理学	選	2					2					◎						
Y13211	産業心理学特論	選	2					2					◎						
Y13221	こども発達支援演習	選	2					2					◎						
Y14213	公認心理師の職責	選	2						2			○		◎	○				
Y14244	心理実習	選	2							2				○	◎	○			
Y13211	ソーシャルワーク論Ⅱ	選	2				2					○	◎						
Y13223	ソーシャルワーク演習Ⅱ	選	1				1							◎	○	○			
Y13211	地域福祉論Ⅱ	選	2				2						◎						
Y13211	刑事司法と福祉	選	2				2						◎						
Y13211	障害者福祉論	選	2				2					○	◎						
Y13223	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	選	1				1					○		◎	○	○			
Y13243	ソーシャルワーク実習Ⅰ	選	1				1							◎	○	○			
Y13211	社会保障論Ⅰ	選	2					2					◎						
Y13211	ソーシャルワーク論Ⅲ	選	2					2				○	◎		○				
Y13223	ソーシャルワーク演習Ⅲ	選	1					1						◎	○	○			
Y13211	老人福祉論	選	2					2				○	◎						
Y13211	福祉サービスの組織と経営	選	2					2				○	◎						
Y13211	公的扶助論	選	2					2					◎						
Y13211	保健医療論	選	2					2					◎		○				
Y13211	スクールソーシャルワーク論	選	2					2				○	◎		○				
Y13211	社会保障論Ⅱ	選	2						2				◎						
Y13211	ソーシャルワーク論Ⅳ	選	2						2			○	◎		○				
Y13223	ソーシャルワーク演習Ⅳ	選	1						1					◎	○	○			
Y13211	法学	選	2						2				◎						
Y13223	ソーシャルワーク演習Ⅴ	選	1						1			○		◎	○	○			
Y13212	社会福祉調査	選	2						2			○	○	◎					
Y13223	スクールソーシャルワーク演習	選	1						1			○		◎	○	○			
Y13223	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	選	2						2			○		◎	○	○			
Y13243	ソーシャルワーク実習Ⅱ	選	3						3					◎	○	○			
Y14223	スクールソーシャルワーク実習指導	選	1							1		○		◎	○	○			
Y14243	スクールソーシャルワーク実習	選	2							2				◎	○	○			
Y13213	看護学Ⅱ	選	2					2				○	○	◎					
Y13223	救急処置及び看護法	選	2					2				○	○	◎					
Y13211	栄養学	選	2					2					◎						
Y13211	精神保健Ⅰ	選	2					2					◎						
Y13213	保健科教育法2	選	2					2				○	○	○	◎			○	
Y13223	看護技術Ⅰ	選	2						2			○	○	◎					
Y13223	看護技術Ⅱ	選	2						2			○	○	◎					
Y13211	精神保健Ⅱ	選	2					2					◎						
Y13223	保健科教育法3	選	2						2			○	○	○	◎			○	

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

V. 京都女子大学の教育目標

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・ スキル	判断力 思考力	対話性・ 協働性	主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
Y13223	学校救急処置	選	2					2				○	○		◎	○	○	
Y13211	公衆衛生学	選	2					2				○	◎					
Y13211	衛生学	選	2						2			○	◎					
Y13213	健康相談活動論	選	2						2			○	○		◎	○	○	
Y13211	薬理概論	選	2						2			◎						
Y13211	小児保健	選	2						2			◎						
Y13223	保健科教育法4	選	2						2			○	○	○	◎		○	
Y13223	看護臨床実習指導	選	1					1				○			◎	○	○	
Y13243	看護臨床実習	選	1					1							◎	○	○	
Y13123	心理共生演習Ⅰ	必	2						2			○			◎	○	○	
Y13123	心理共生演習Ⅱ	必	2							2		○			◎	○	○	
Y14123	心理共生演習Ⅲ	必	2								2	○			◎	○	○	
Y14123	心理共生演習Ⅳ	必	2									○			◎	○	○	
Y14155	卒業研究	必	6							6		○						◎

専門科目群

家政学部

家政学部食物栄養学科

食物栄養学科専門科目

◆「食物栄養学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・応用的	判断力・思考力	協働性・主体性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
N1111	基礎の生物学	必	2	2							○	◎						
N1111	基礎の有機化学	必	2	2							○	◎						
N1112	基礎の化学	必	2	2							○	◎						
N1112	食物栄養基礎演習	必	2	2							○	◎	○	○				
N1211	基礎調理学	必	2	2							○	◎	○	○				
N1211	解剖生理学	必	2	2							○	◎		○	○			
N1213	調理学実習Ⅰ	必	1	1							○	◎	○	○				
N1211	食物栄養の化学	必	2		2						○	◎		○				
N1211	生化学	必	2		2						○	◎		○	○			
N1221	応用調理学	選	2		2						○	◎		○				
N1212	科学英語A	必	2		2								◎				○	
N1213	基礎実験	必	1		1						○	◎						
N1223	食品加工学実習	選	1		1						○	◎		○	○			
N1213	調理学実習Ⅱ	必	1		1						○	◎	○	○				
N1221	臨床医学概論	選	2		2						○	◎		○	○			
N1221	応用生理学	選	2		2						○	◎		○	○			
N1211	食品学総論	必	2			2					○	◎		○	○			
N1211	食品学各論	必	2			2					○	◎		○	○			
N1311	基礎栄養学	必	2			2					○	◎		○	○			
N1321	ライフステージ別栄養学	選	2			2					○	◎	○	○				
N1321	運動栄養学	選	1			1					○	◎		○	○			
N1211	食品衛生学	必	2			2					○	◎		○	○			
N1321	栄養教育総論	選	2			2					○	◎					○	
N1321	給食運営論	選	2			2					○	◎					○	
N1321	栄養評価論	選	2			2					○	◎	○	○				
N1213	食品学実験	必	2			2					○	◎	○	○				
N1323	基礎栄養学実習	選	1			1					○	◎		○	○			
N1221	臨床病態学	選	2			2					○	◎		○	○			
N1221	微生物学	選	2			2					○	◎		○	○			
N1221	介護福祉概論	選	2				2				○	◎		○	○			
N1321	栄養教育各論	選	2				2				○	◎		○	○			
N1321	臨床栄養学	選	2				2				○	◎		○				
N1321	バイオテクノロジー	選	2				2					◎						
N1322	科学英語B	選	2				2						◎				○	
N1321	栄養機能論	選	1				1				○	◎		○	○			
N1321	病態栄養学	選	2				2				○	◎		○	○			
N1321	給食経営管理論	選	2				2				○	◎		○	○			
N1321	学校栄養指導論	選	2				2					◎					○	
N1213	生化学実験	必	1				1				○	◎		○	○			
N1213	食品衛生学実験	必	1				1				○	◎		○	○			
N1323	ライフステージ別栄養学実習	選	1				1				○	◎		○	○			
N1323	給食運営実習	選	1				1				○	○	○				◎	
N1323	臨床栄養学実習	選	1				1				○	○	◎	○				
N1211	公衆衛生学	必	2					2			○	◎		○	○			
N1321	公衆栄養学	選	2					2			○	◎	○		○			
N1321	栄養カウンセリング論	選	2					2			○			○	◎			
N1321	臨床栄養管理学	選	2					2			○	○		◎	○			
N1321	栄養薬理学	選	1					1			○	◎		○	○			
N1213	生理学実験	必	1					1			○	◎		○	○			
N1223	解剖生理学実験	選	1					1			○	◎		○	○			
N1223	バイオテクノロジー実験	選	1					1			○	◎		○	○			
N1323	臨床栄養管理学実習	選	1					1			○	○		◎	○			
N1323	栄養教育論実習	選	1					1			○	○		◎	○			
N1323	給食経営管理実習	選	1					1			○	○		◎	○			
N1221	健康環境論	選	2						2		○	◎		○	○			
N1221	分子栄養学	選	2							2	○	◎		○	○			
N1321	機器分析概論	選	2								◎							

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・	スキルの	判断力・	協働性・	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
N13211	公衆栄養活動論	選	1						1			○	◎		○	○		
N13211	栄養疫学	選	1						1			○	◎		○	○		
N13231	調理学実習Ⅲ	選	1						1			◎	○	○				
N13231	バイオサイエンス実験	選	1						1			◎						
N13232	公衆栄養学実習	選	1						1			○	○	◎		○		
N13214	チーム医療論	選	1						1			○	○		○	◎		
N13213	学校栄養実践論	選	2						2			○		◎	○			
N13211	臨床栄養実践論	選	2					2				◎		○	○		①臨床栄養系列 ②健康教育系列 ③研究開発系列	
N13211	食行動療法論	選	2					2				◎		○				①、②又は③のいずれか4単位修得すること。
N13211	健康教育実践論	選	2					2				◎		○	○			
N13213	スポーツ栄養学	選	2					2				○		◎	○			
N13213	バイオサイエンス	選	2					2				○		◎	○			
N13213	食品開発論	選	2					2				○		◎	○			
N13211	食空間プロデュース論	選	2						2			◎						
N13214	臨床心理学概論	選	2						2			○				◎		
N13211	食生活・食文化論	選	2						2			◎						
N13211	フードローディネート論	選	2						2			◎						
N14223	管理栄養士特別演習	選	2						2			○	○		◎			
N14125	食物栄養研究法Ⅰ	必	2						2			○		○	○		◎	
N14125	食物栄養研究法Ⅱ	必	2						2			○		○	○		◎	
N14125	食物栄養研究法Ⅲ	必	2						2			○		○	○		◎	
N14224	給食運営校外実習事前事後指導	選	1				1					○	○			◎		
N14244	給食運営校外実習	選	1				1					○			○	◎		
N14224	臨地実習事前事後指導	選	1				1					○	○			◎		
N14244	臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)	選	1				1					○	○			◎		
N14244	臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)	選	1				1					○	○			◎		
N14244	臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)	選	1				1					○	○			◎		
N14244	臨地実習(公衆栄養学)	選	1				1					○	○			◎		
N14244	臨地実習(給食経営管理論)	選	1				1					○	○			◎		
N13211	被服学概論	選	2		2	(2)						◎		○	○			
N13211	住居学概論	選	2		2	(2)						◎		○	○			
N13211	保育学	選	2		2	(2)						◎		○	○			
N13211	家庭経営学	選	2				2	(2)				◎		○	○			
N13231	衣服実習	選	2				2	(2)				◎		○	○			
N13211	家庭科教育法1	選	2		2	(2)						◎		○	○			
N13211	家庭科教育法2	選	2		2	(2)						◎		○	○			
N13211	家庭科教育法3	選	2				2	(2)				◎		○	○			
N13211	家庭科教育法4	選	2				2	(2)				◎		○	○			
N14155	卒業研究	必	6						6			○		○	○		◎	

管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者及び食品衛生監視員、栄養教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状「家庭」、高等学校教諭一種免許状「家庭」に関する履修は、別に定める履修科目表に従うこと。

家政学部生活造形学科

生活造形学科専門科目

◆「生活造形学科専門科目」より、必修科目修得の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・	汎用的	思考力・判断力・	協働性・	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
N21191	生活造形基礎演習	必	2	2							○	◎		○	○			
N21111	生活デザインベーシック	必	2	2							○	◎		○				
N21111	衣生活概論	必	2	2							○	◎		○			○	
N21111	建築一般構造	必	2	2							○	◎	○	○				
N22232	アパレル製作実習	選	2	2							○	○	◎	○				
N21232	建築設計製図実習	選	2	2							○	○	◎				○	
N21232	デザイン実習 I	選	2	2							○		◎	○	○			
N21221	生活文化学	選	2		2						○	◎		○	○			
N22211	色彩学	選	2		2							◎	○	○				
N22211	ファッションデザイン学	選	2		2							◎		○			○	
N22211	アパレル設計学	選	2		2						○	◎	○	○				
N22211	デザイン人間工学	選	2		2							◎		○			○	
N22211	住宅計画	選	2		2						○	◎		○	○			
N22212	構造計画	選	2		2							○	◎	○				
N22232	デザイン実習 II	選	2		2						○	○	◎	○				
N22233	ファッションデザイン学実習 I	選	2		2							○	○	◎				
N22231	アパレル設計製図実習	選	2		2							○	◎	○				
N22234	空間デザイン実習 I A(※1)	選	2		2									○	◎	○		
N22234	空間デザイン実習 I B(※1)	選	2		2									○	◎	○		
N22224	クリエイティブ・ライティング	選	2		2								○	○	◎			
N22211	デザイン材料論	選	2		2							◎	○					
N22213	World Art History 1	選	2		2						○			◎	○			
N22213	情報・UIデザイン学	選	2		2						○	○		◎				
N22211	アパレル材料学1	選	2		2						○	◎		○				
N22211	日本服飾史	選	2		2							◎		○				
N22211	アパレル体型学	選	2		2							◎	○	○				
N22211	ファッションブランド論	選	2		2						○	◎		○				
N22211	建築計画1	選	2		2						○	◎	○	○				
N22213	住宅再生論	選	2		2							○		◎			○	
N22211	インテリア計画	選	2		2						○	◎		○			○	
N22231	日本建築史	選	2		2						○	◎		○				
N22211	環境計画	選	2		2							◎		○			○	
N22232	デザイン実習 III	選	2		2							○	◎	○				
N23235	ファッションデザイン学実習 II	選	2		2							○		○			◎	
N23232	アパレルCAD実習(※2)	選	2		2								◎	○			○	
N22232	空間デザイン実習 II A(※3)	選	2		2								◎	○			○	
N22232	空間デザイン実習 II B(※3)	選	2		2								◎	○			○	
N22232	建築CAD実習A(※4)	選	2		2								◎	○			○	
N22232	建築CAD実習B(※4)	選	2		2								◎	○			○	
N22222	京都文化資料購読	選	2		2							○	◎	○				
N22231	構造力学 I	選	2		2							◎		○				
N22214	京都工芸論1	選	2			2						○			◎			
N23213	デザイン方法論1	選	2			2						○	○	◎				
N23214	World Art History 2	選	2			2					○		○		◎	○		
N23224	デザインマーケティング論	選	2			2						○	○			◎		
N22213	アパレル材料学2	選	2			2					○	○		◎				
N23213	アパレル染色学	選	2			2					○	○		◎				
N22213	西洋服飾史	選	2			2						○		◎				
N22213	ファッション社会学	選	2			2					○	○		◎				
N23212	アパレル造形学	選	2			2						○	◎	○				
N22213	ファッションビジネス論	選	2			2						○		◎			○	
N23213	建築計画2	選	2			2						○		◎			○	
N22213	インテリアエレメント	選	2			2					○	○		◎			○	
N22213	西洋建築史	選	2			2						○		◎				
N22213	建築環境工学	選	2			2						○	○	◎				
N23234	伝統技法演習	選	2			2						○		○		◎		
N23234	デザイン実習 IVA	選	2			2							○	○	◎			
N23234	デザイン実習 IVB	選	2			2							○	○	◎			
N23234	デザイン実習 IVC	選	2			2							○	◎	○			

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解	知識的	思考力・判断力	対話性・協働性	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
N23233	アパレル繊維・材料学実験 I	選	2				2						○	○	◎			
N23232	テキスタイルデザイン実習	選	2				2						○	◎			○	
N23234	アパレル生産実習	選	2				2						○	○	○	◎		
N22234	空間デザイン実習ⅢA(※5)	選	2				2						○		◎		○	
N23234	空間デザイン実習ⅢB(※5)	選	2				2						○		◎		○	
N23211	地域建築再生論	選	2				2						◎			○	○	
N23213	構造力学Ⅱ	選	2				2						○		◎			
N23214	デザイン文化論	選	2				2									◎	○	
N23215	デザイン方法論2	選	2				2						○	○			◎	
N23215	景観デザイン論	選	2				2						○		○		◎	
N23223	webデザイン演習	選	2				2						○		◎			
N24224	京都学	選	2				2						○			◎		
N23215	衣環境論	選	2				2						○	○		○	◎	
N23215	アパレル管理学	選	2				2						○	○		○	◎	
N23214	アパレル企画論	選	2				2						○	○		○	◎	
N23213	室内様式史	選	2				2						○	○	◎			
N23213	建築材料	選	2				2						○	○	◎			
N22224	外書講読	選	2				2						○		◎		○	
N24234	デザイン実習VA	選	2				2						○		○	◎		
N24234	デザイン実習VB	選	2				2						○		○	◎		
N23233	アパレル繊維・材料学実験Ⅱ	選	2				2						○	○	◎			
N23235	アパレル企画実習	選	2				2						○		○	○	◎	
N23235	工芸染色実習	選	2				2						○	○			◎	
N23244	テキスタイルアドバイザー実習(※6)	選	2				2						○		○	◎		
N23235	空間デザイン実習ⅣA(※7)	選	2				2						○		○	◎		
N23235	空間デザイン実習ⅣB(※7)	選	2				2						○		○	◎		
N23215	建築デザイン論	選	2				2						○		○		◎	
N24234	デザイン実習VC	選	2				2						○		○	◎	○	
N23213	消費生活論	選	2				2						○		◎		○	
N24224	アカデミック・ライティング	選	2				2						○	○	◎			
N24214	京都工芸論2	選	2				2						○			◎		
N23213	ファッション文化論	選	2				2						○		◎			
N23215	アパレル特殊講義	選	2				2						○				◎	
N23215	建築法規	選	2				2						○		○		◎	
N23213	建築設備	選	2				2						○	○	◎			
N23213	建築施工	選	2				2						○	○	◎			
N23235	アパレル染色整理学実験	選	2				2						○		○		◎	
N23235	アパレル造形実習	選	2				2						○		○		◎	
N23235	空間造形実習A(※8)	選	2				2						○		○		◎	
N23235	空間造形実習B(※8)	選	2				2						○		○		◎	
N23232	空間造形実習C(※8)	選	2				2						○	◎	○			
N24233	メディアデザイン	選	2				2						○	○		◎		
N23211	消費科学	選	2				2						◎				○	
N23125	生活造形学専門演習(※9)	必	2				2						○	○	○		◎	
N24125	生活造形学卒業研究演習Ⅰ	必	2							2			○	○		○	◎	
N24125	生活造形学卒業研究演習Ⅱ	必	2								2		○	○		○	◎	
N22211	食物栄養学概論	選	2			2							◎		○			
N22211	保育学	選	2			2							◎	○	○			
N22212	住居学概論	選	2			2							◎	○				
N23211	家庭経営学	選	2				2						◎		○		○	
N23232	調理実習	選	2				2						◎	○				
N22211	家庭科教育法1	選	2			2	(2)						◎		○		○	
N23211	家庭科教育法2	選	2			2	(2)						◎		○		○	
N23211	家庭科教育法3	選	2					2	(2)				◎		○		○	
N24212	家庭科教育法4	選	2					2	(2)				◎		○		○	
N24155	卒業研究	必	6							6			○		○	○	◎	

(家族関係学及び家庭経済学を含む)

- (※1) 空間デザイン実習Ⅰ(A,B)は、建築設計製図実習の単位を修得しなければ履修できない。また、A・Bどちらかしか履修できない。
 - (※2) アパレルCAD実習は、アパレル設計製図実習の単位を修得しなければ履修できない。
 - (※3) 空間デザイン実習Ⅱ(A,B)は、空間デザイン実習Ⅰ(A,B)の単位を修得しなければ履修できない。また、A・Bどちらかしか履修できない。
 - (※4) 建築CAD実習(A,B)は、空間デザイン実習Ⅰ(A,B)の単位を修得しなければ履修できない。また、A・Bどちらかしか履修できない。
 - (※5) 空間デザイン実習Ⅲ(A,B)は、空間デザイン実習Ⅱ(A,B)の単位を修得しなければ履修できない。また、A・Bどちらかしか履修できない。
 - (※6) テキスタイルアドバイザー実習は、衣料管理士(1級)の資格取得希望者以外は履修できない。
 - (※7) 空間デザイン実習Ⅳ(A,B)は、空間デザイン実習Ⅲ(A,B)の単位を修得しなければ履修できない。また、A・Bどちらかしか履修できない。
 - (※8) 空間造形実習A・空間造形実習B・空間造形実習Cは、空間デザイン実習Ⅳ(A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
 - (※9) 生活造形学専門演習は、生活造形基礎演習の単位を修得しなければ履修できない。
- 1級建築士及び2級・木造建築士並びに衣料管理士(1級)に関する履修は、別に定める履修科目表に従うこと。

専門科目群

現代社会学部

現代社会学部 現代社会学科

現代社会学科専門科目

◆「現代社会学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ						備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・スキル	批判的・思考力・判断力	対話・協働性	主体性					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
P11111	現代社会入門Ⅰ	必	2	2								○	◎							導入科目	
P11111	現代社会入門Ⅱ	必	2	2								○	◎								
P11115	ジェンダーと現代社会	必	2		2							○	○		○			◎			
P11211	哲学アプローチ	選	2	2								○	◎								アプローチ科目 5科目10単位以上修得すること
P11211	情報学アプローチ	選	2	2								○	◎	○	○						
P11211	法学アプローチ	選	2	2								○	◎								
P11211	経営学アプローチ	選	2	2								○	◎	○							
P11211	社会学アプローチ	選	2	2								○	◎		○						
P11211	心理学アプローチ	選	2		2							○	◎								
P11211	政治学アプローチ	選	2		2							○	◎		○						
P11211	経済学アプローチ	選	2		2							○	◎	○							
P11211	環境学アプローチ	選	2		2							○	◎								
P11211	社会思想アプローチ	選	2		2							○	◎		○						
P14241	短期英語研修A	選	4		4							◎	○			○				スキル科目 4科目8単位以上修得すること	
P14241	短期英語研修B	選	2		2							◎	○			○					
P12222	専門英語Ⅰ	選	2			2						○	◎			○					
P12222	専門英語Ⅱ	選	2				2					○	◎			○					
P13222	専門英語Ⅲ	選	2					2				○	◎			○					
P13222	専門英語Ⅳ	選	2						2			○	◎			○					
P11212	社会データ処理基礎	選	2		2							○		◎	○				○		
P12212	データ分析入門	選	2			2								◎	○						
P12212	調査科目 統計学基礎	選	2				2					○	○	◎	○						
P12212	量的調査法	選	2				2						○	◎	○						
P12212	質的調査法	選	2				2						○	◎	○						
P13235	社会調査実習Ⅰ	選	2					2						○	○				◎		
P13235	社会調査実習Ⅱ	選	2						2					○	○				◎		
P12211	情報科目 ネットワークⅠ	選	2			2						○	◎	○							
P12212	ネットワークⅡ	選	2				2						○	◎							
P12211	プログラミング	選	2				2					○	◎	○	○						
P12211	情報数学	選	2				2						◎	○	○						
P12511	教職・教科関連科目 日本史概論	選	2	2	(2)								◎								
P12511	東洋史概論	選	2	2	(2)								◎								
P12511	西洋史概論	選	2	2	(2)								◎								
P12511	歴史地理学概論	選	2			2	(2)						◎								
P12511	人文地理学概論	選	2			2	(2)						◎								
P12511	地誌学概論	選	2					2	(2)				◎								
P12511	自然地理学概論	選	2					2	(2)				◎								
P12511	社会科教育法(地理歴史分野)	選	2			2	(2)						◎								
P12511	社会科教育法(公民分野)	選	2			2	(2)						◎								
P12511	地理歴史科教育法	選	2					2	(2)				◎								
P12511	公民科教育法	選	2					2	(2)				◎								
P12212	簿記Ⅰ	選	2		2							○	○	◎	○						
P12211	データ構造とアルゴリズム	選	2			2							◎	○							
P12211	日本国憲法	選	2			2							◎	○	○						
P12211	自然環境と生態系	選	2			2							◎	○	○						
P12211	セキュアリティと身体	選	2			2							◎	○	○				○		
P12212	簿記Ⅱ	選	2			2							○	◎	○						
P12211	Japan Studies 1	選	2			2						○	◎	○		○					
P12211	家族法	選	2				2						◎	○							
P12213	国際法	選	2				2						○		◎						
P12211	生命の起源と進化	選	2				2						◎		○						

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・スキル	汎用的判断力・思考力・協働性・主体性	◎	○	○	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
P12211	社会学史	選	2				2						◎		○	○		現代社会専門共通科目
P12212	簿記Ⅲ	選	2				2						○	◎	○			
P12211	Japan Studies 2	選	2				2						◎	○		○		
P14244	多文化理解実習	選	2				2								○	◎		
P13211	情報ネットワーク	選	2							2			◎		○			
P13211	情報セキュリティ	選	2							2			◎		○	○		
P13211	情報文明論	選	2							2			◎		○	○		
P13211	ジェンダーと法	選	2							2			◎	○	○			
P13212	統計学	選	2							2			○	◎				
P13212	簿記Ⅳ	選	2							2			○	◎	○			
P13211	Webプログラミング	選	2							2			◎	○				
P13211	情報技術者の社会的責任	選	2							2			◎		○		○	
P13211	ロボット社会論	選	2							2			◎	○				○
P13212	簿記Ⅴ	選	2							2			○	◎	○			
P14211	特講A	選	2				2						◎					
P14211	特講B	選	2				2						◎					
P14211	特講C	選	2							2			◎					
P14211	特講D	選	2							2			◎					
P12215	倫理学	選	2				2						○	○		○	◎	
P12211	人間学	選	2				2						○	◎			○	
P12211	臨床心理学	選	2				2						◎		○			
P12211	パーソナリティ心理学	選	2				2						◎		○			
P12211	生命倫理学	選	2				2						○	◎		○	○	
P12211	ニューロサイエンス概論	選	2				2						○	◎				
P12211	社会心理学	選	2				2						◎				○	
P13211	現代人権論	選	2							2			◎	○				○
P13211	精神医学概論	選	2							2			◎					
P13213	応用倫理学	選	2							2			○	○	◎			○
P13214	人間関係の心理学	選	2				2			2			○	○		◎		
P13211	比較文化精神医学	選	2							2			◎		○			
P13211	現代宗教論	選	2							2			◎			○		
P12211	地域社会学	選	2				2						◎		○		○	
P12211	家族社会学	選	2				2						◎		○		○	
P12211	福祉と家族	選	2				2						◎	○	○			
P12214	文化人類学	選	2				2						○	○		◎		
P12211	市民活動論	選	2				2						○	◎		○		
P12211	国際結婚論	選	2				2						○	◎	○		○	
P12212	労働の社会学	選	2				2						○	◎				
P12212	民俗文化論	選	2				2						○	◎				
P12211	文化と社会	選	2				2						○	◎	○	○		
P13211	観光とまちづくり	選	2							2			◎	○	○			
P13211	スポーツ社会学	選	2							2			◎	○	○			
P13214	比較家族史	選	2				2			2			○	○		◎	○	
P13212	メディア文化論	選	2				2						○	◎				
P13211	ジェンダーの社会学	選	2							2			◎	○	○			
P13214	家族の人類学	選	2							2			○			◎		
P12213	マクロ経済学	選	2				2						○	○	○	◎		
P12213	ミクロ経済学	選	2				2						○	○		◎		
P12211	経営戦略論	選	2				2						○	◎	○	○		
P12213	日本経済史	選	2				2						○	○	◎			
P12213	金融論	選	2				2						○	○	◎			
P12213	財政学	選	2				2						○	○	◎			
P12211	組織マネジメント論	選	2				2						◎	○	○			
P12211	マーケティング論	選	2				2						◎	○	○			
P13213	家族経済論	選	2							2			○		◎			
P13213	国際経営論	選	2							2			○		◎			
P13211	会計学	選	2							2			◎	○	○			
P13213	国際経済学	選	2							2			○	○	◎			
P13213	教育経済学	選	2							2			○	◎				
P13211	サービス経営特論	選	2				2			2			◎		○	○		
P13213	現代世界経済論	選	2							2			○	○	◎			

コース科目
いずれか一つのコース科目を
10科目20単位以上修得すること

(文化・心理コースとしても履修可能)
(環境・公共コースとしても履修可能)

(文化・心理コースとしても履修可能)

(文化・心理コースとしても履修可能)

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

V. 京都女子大学の教育目標

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・スキル	汎用的判断力・思考力・協働性・主体性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
P12211	環境政策論	選	2		2						○	◎	○	○				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> コース科目 いずれか一つのコース科目を 10科目20単位以上修得すること </div>
P12211	多様性の生物学	選	2		2						○	◎	○					
P12211	マイノリティと法	選	2		2						◎		○					
P12211	食と環境	選	2		2						◎					○		
P12211	法社会学	選	2			2					○	◎		○				
P12212	エネルギーと環境	選	2			2					○	◎						
P12211	生活と法	選	2			2					◎	○	○					
P12211	公共政策分析論	選	2			2					◎	○	○					
P13212	環境開発論	選	2				2				○	◎						
P13211	都市政策論	選	2				2				◎	○						
P13211	行政と法	選	2				2				◎	○	○					
P13212	社会福祉論	選	2				2				○	◎						
P13211	労働と法	選	2					2			◎	○	○					
P13213	環境社会学	選	2					2			○		◎					
P12211	現代政治論	選	2		2						○	◎	○	○				
P12211	ヨーロッパ地域研究	選	2		2						◎		○	○				
P12211	北米地域研究	選	2		2						◎		○	○				
P12211	現代国際社会論	選	2		2						○	◎				○		
P12212	現代日本政治論	選	2			2					○	◎	○					
P12211	アフリカ地域研究	選	2			2					◎		○	○				
P12211	アジア地域研究	選	2			2					◎		○	○				
P12211	イスラーム地域研究	選	2			2					◎		○	○				
P12211	国際関係論	選	2			2				○	◎		○					
P12213	国際協力論	選	2			2					○		◎	○				
P13212	行政学	選	2				2				○	◎	○					
P13211	日本政治史	選	2				2				◎		○					
P13211	国際関係史	選	2				2				◎		○					
P13211	地方自治論	選	2					2			◎	○	○					
P13214	多文化社会論	選	2					2					○	◎				
P14241	Study Abroad A I	選	4			4					◎	○		○			いずれのコース科目群においても、 選択したコース内の単位としてカウント することができる。	
P14241	Study Abroad A II	選	4			4					◎	○		○				
P14241	Study Abroad A III	選	4			4					◎	○		○				
P14241	Study Abroad A IV	選	4			4					◎	○		○				
P14241	Study Abroad A V	選	4				4				◎	○		○				
P14241	Study Abroad A VI	選	4				4				◎	○		○				
P14241	Study Abroad A VII	選	4				4				◎	○		○				
P14241	Study Abroad A VIII	選	4				4				◎	○		○				
P14241	Study Abroad B I	選	2			2					◎	○		○				
P14241	Study Abroad B II	選	2				2				◎	○		○				
P11125	基礎演習 I	必	2	2							○			○	○	◎	演習科目	
P11125	基礎演習 II	必	2		2						○			○	○	◎		
P12125	演習 I	必	2		2						○			○	○	◎		
P12125	演習 II	必	2			2					○			○	○	◎		
P13125	演習 III	必	2				2				○			○	○	◎		
P13125	演習 IV	必	2					2			○			○	○	◎		
P14125	演習 V	必	2						2		○			○	○	◎		
P14125	演習 VI	必	2							2	○			○	○	◎		
P14155	卒業論文	必	4							4	○	○		○		◎		卒業論文

(注1)「多文化理解実習」「短期英語研修A」「短期英語研修B」は、履修要項第4条第4項に定める「1年間に登録できる授業科目の単位数」に含めない。

(注2)「Study Abroad A I」～「Study Abroad A VIII」、「Study Abroad B I」及び「Study Abroad B II」は半期・通年の留学の読み替え科目。(単位登録、単位の認定等必要な事項は別に定める。)

(注3)「Study Abroad A I」～「Study Abroad A VIII」、「Study Abroad B I」及び「Study Abroad B II」は5科目10単位を上限として所属コースの単位として認定される

(注4)「演習 V」、「演習 VI」及び「卒業論文」は、「基礎演習 I」、「基礎演習 II」、「演習 I」、「演習 II」、「演習 III」及び「演習 IV」の6科目(12単位)中、4科目(8単位)以上修得しなければ履修できない。

専門科目群

法学部

法学部法学科

法学科専門科目

◆「法学科専門科目より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位として含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・	知識・	判断力・	協働性・	主体性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
Q11211	法学入門	選	2	2								◎	○	○				
Q11211	司法制度入門	選	2	2							○	◎	○	○				
Q11222	導入演習	必	2	2							○		◎		○	○		
Q12211	日本法制史	選	2	2								◎		○				
Q12211	西洋法制史	選	2		2							◎		○				
Q13211	法社会学	選	2			2					○	◎		○				
Q13213	法哲学	選	2					2				○		◎				
Q13213	英米法 I	選	2					2			○	○		◎				
Q13213	英米法 II	選	2					2			○	○		◎				
Q12111	憲法 I A(人権)	必	2	2							○	◎		○				
Q12211	憲法 I B(人権)	選	2	2							○	◎		○				
Q12211	憲法 II A(統治)	選	2		2						○	◎		○				
Q12211	憲法 II B(統治)	選	2		2						○	◎		○				
Q12211	行政法総論 I	選	2			2					○	◎		○				
Q12211	行政法総論 II	選	2			2					○	◎		○				
Q12213	行政救済法	選	2				2				○	○		◎				
Q12211	地方自治法	選	2					2				◎		○				
Q12111	民法 I A(総則)	必	2	2							○	◎		○				
Q12211	民法 I B(総則)	選	2	2							○	◎		○				
Q12211	民法 II(物権)	選	2		2						○	◎		○				
Q12211	民法 III(担保物権)	選	2			2					○	◎		○				
Q12211	民法 IV A(債権総論)	選	2			2					○	◎		○				
Q12211	民法 IV B(債権総論)	選	2			2					○	◎		○				
Q12211	民法 VA(債権各論)	選	2		2						○	◎		○				
Q12211	民法 VB(債権各論)	選	2			2					○	◎		○				
Q12211	民法 VIA(親族・相続)	選	2		2						○	◎		○				
Q12211	民法 VIB(親族・相続)	選	2			2					○	◎		○				
Q13213	民事訴訟法 I	選	2					2			○	○		◎				
Q13213	民事訴訟法 II	選	2						2		○	○		◎				
Q13213	民事執行法・民事保全法	選	2						2			○		◎				
Q13213	破産法	選	2						2			○		◎				
Q12111	企業法総論	必	2			2					○	◎		○				
Q12211	商取引法	選	2			2					○	◎		○				
Q12211	会社法 I(ガバナンス)	選	2				2				○	◎		○				
Q12211	会社法 II(ファイナンス)	選	2				2				○	◎		○				
Q13213	保険法	選	2					2			○	○		◎				
Q13213	支払決済法	選	2						2		○	○		◎				
Q12111	刑法 I A(総論)	必	2	2							○	◎		○				
Q12211	刑法 I B(総論)	選	2	2							○	◎		○				
Q12211	刑法 II A(各論)	選	2		2						○	◎		○				
Q12211	刑法 II B(各論)	選	2		2						○	◎		○				
Q12211	刑事訴訟法 I	選	2			2					○	◎		○				
Q12211	刑事訴訟法 II	選	2				2				○	◎		○				
Q13213	刑事政策 I(犯罪原因)	選	2						2			○		◎		○		
Q13213	刑事政策 II(犯罪対策)	選	2						2			○		◎		○		
Q13213	少年法	選	2						2		○	○		◎		○		
Q12211	租税法	選	2			2					○	◎		○				
Q12211	生命倫理法	選	2				2					◎		○				
Q12211	法と心理	選	2				2					◎		○				
Q12211	労働法 I	選	2			2					○	◎		○				
Q12211	労働法 II	選	2				2				○	◎		○				
Q13213	社会保障法	選	2					2			○	○		◎		○		
Q13213	知的財産法 I	選	2					2				○		◎				
Q13213	知的財産法 II	選	2					2				○		◎				
Q13213	消費者法	選	2						2		○	○		◎				
Q13213	経済法	選	2						2			○		◎				
Q14223	模擬裁判	選	2							2			○	◎			○	

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・ 知識・ スキル	判断力・ 思考力・ 協働性・ 主体性	◎	○	◎		○
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
Q12211	国際機構論	選	2		2							○	◎		○				
Q12211	国際法ⅠA	選	2			2						○	◎		○				
Q12211	国際法ⅠB	選	2			2						○	◎		○				
Q12211	国際法Ⅱ	選	2				2					○	◎		○				
Q13213	国際法Ⅲ	選	2					2				○	◎		○				
Q13213	国際私法ⅠA	選	2					2				○	◎		○				
Q13213	国際私法ⅡA	選	2					2				○	◎		○				
Q13213	国際私法ⅠB	選	2						2			○	◎		○				
Q13213	国際私法ⅡB	選	2						2			○	◎		○				
Q11211	政治学	選	2	2								◎			○				
Q12211	政治思想史	選	2		2							◎			○				
Q12211	現代政治論	選	2			2						◎			○				
Q12211	行政学	選	2					2				◎			○				
Q12211	財政学	選	2				2					◎			○				
Q13211	政策学	選	2					2				◎			○	○			
Q13211	地方自治論	選	2					2				◎			○				
Q12211	国際社会と日本	選	2	2								◎			○				
Q12211	国際人権論	選	2		2							◎			○				
Q12211	国際関係論	選	2			2						◎			○				
Q12211	グローバル社会論	選	2			2						◎			○				
Q12211	平和研究Ⅰ	選	2				2					○	◎		○	○			
Q13211	平和研究Ⅱ	選	2					2				○	◎		○	○			
Q12211	国際関係史	選	2					2				◎			○				
Q12211	ミクロ経済学	選	2		2							◎			○				
Q12211	マクロ経済学	選	2			2						◎			○				
Q13211	国際経済学	選	2					2				◎			○				
Q13211	会計学	選	2					2				◎			○				
Q12111	ジェンダー法Ⅰ	必	2		2							○	◎		○	○			
Q12235	ジェンダー法実習A (アサーティブネス・トレーニング)	選	2			2						○	○			○	◎		
Q12235	ジェンダー法実習B (自尊安全術クラス)	選	2			2						○	○			○	◎		
Q13213	ジェンダー法Ⅱ	選	2			2						○	○		◎	○			
Q13213	ジェンダー法Ⅲ	選	2					2				○	○		◎	○			
Q13213	ジェンダー法Ⅳ	選	2					2				○	○		◎	○			
Q13213	ジェンダー法Ⅴ	選	2						2			○	○		◎	○			
Q13213	ジェンダー法Ⅵ	選	2						2			○	○		◎	○	○		
Q12213	生命と法	選	2			2						○	○		◎	○			
Q14211	平和と女性	選	2					2				○	◎			○	○		
Q12211	実務法学基礎Ⅰ	選	2	2								◎	○		○				
Q11211	実務法学基礎Ⅱ	選	2	2								◎	○		○				
Q12211	実務法学基礎Ⅲ	選	2		2							◎	○		○				
Q12212	実務法学Ⅰ	選	2			2						○	◎		○				
Q12212	実務法学Ⅱ	選	2			2						○	◎		○				
Q12213	法律アクティブ・リサーチⅠ	選	2				2						○	◎		○			
Q13213	法律アクティブ・リサーチⅡ	選	2					2					○	◎		○			
Q14215	特別講義Ⅰ	選	2					2							○	○	◎		
Q14225	特別講義Ⅱ	選	2						2						○	○	◎		
Q13222	外国語文献講読Ⅰ(英)	選	2					2					○	◎		○			
Q13222	外国語文献講読Ⅰ(仏)	選	2					2					○	◎		○			
Q13222	外国語文献講読Ⅰ(独)	選	2					2					○	◎		○			
Q13222	外国語文献講読Ⅱ(英)	選	2						2				○	◎		○			
Q12122	基礎演習	必	2		2							○		◎		○	○		
Q12125	専門入門演習Ⅰ	必	2			2						○	○			○	◎		
Q12125	専門入門演習Ⅱ	必	2				2					○	○			○	◎		
Q13125	事例演習Ⅰ	必	2					2				○		○		○	◎		
Q13125	事例演習Ⅱ	必	2						2			○		○		○	◎		
Q14125	専門演習Ⅰ	必	2							2		○		○		○	◎		
Q14125	専門演習Ⅱ	必	2								2	○		○		○	◎		
Q14221	法学文献講読	選	2								2	◎			○		○		

6単位選択必修
(「ジェンダー法Ⅰ」を除く9科目から3科目
選択)

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

V. 京都女子大学の教育目標

一専門科目群 法学科一

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・スキル	汎用的判断力	思考力・協働性	主体性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
Q11211	日本史概論	選	2	2	(2)							◎		○				
Q11211	東洋史概論	選	2	2	(2)							◎		○				
Q11211	西洋史概論	選	2	2	(2)							◎		○				
Q11211	心理学アプローチ	選	2		2							◎		○				
Q12211	倫理学	選	2			2						◎		○				
Q12211	歴史地理学概論	選	2			2	(2)					◎		○				
Q12211	人文地理学概論	選	2			2	(2)					◎		○				
Q13211	地誌学概論	選	2					2	(2)			◎		○				
Q13211	自然地理学概論	選	2					2	(2)			◎		○				
Q13211	生命倫理学	選	2						2			◎		○				
Q12211	社会科教育法(地理歴史分野)	選	2			2	(2)					◎		○				
Q12211	社会科教育法(公民分野)	選	2			2	(2)					◎		○				
Q13211	地理歴史科教育法	選	2					2	(2)			◎		○				
Q13211	公民科教育法	選	2					2	(2)			◎		○				
Q14155	卒業研究	必	2							2		○	○	○			◎	

(注)事例演習Ⅰ、事例演習Ⅱは、導入演習、基礎演習、専門入門演習Ⅰ、専門入門演習Ⅱの4科目8単位中、2科目4単位以上修得し、かつ憲法ⅠA(人権)、民法ⅠA(総則)、刑法ⅠA(総論)の単位を修得しなければ履修できない。

(注)専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、法学文献講読及び卒業研究は、導入演習、基礎演習、専門入門演習Ⅰ、専門入門演習Ⅱ、事例演習Ⅰ、事例演習Ⅱの6科目12単位中、4科目8単位以上修得しなければ履修できない。

専門科目群

データサイエンス学部

データサイエンス学部 データサイエンス学科

データサイエンス学科専門科目

◆「データサイエンス学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・スキル	思考力・判断力	協働性・対話性	主体性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
R11111	価値創造への招待	必	2	2								○	◎						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 専門基礎科目 価値創造への招待、数学への招待、確率・統計への招待、プログラミングへの招待を除く専門基礎科目から、 「社会ソリューション基礎科目」3科目6単位以上 「数理・統計系基礎科目」3科目6単位以上 「情報系基礎科目」2科目4単位以上を修得すること。 </div>
R11211	経済学概論	選	2		2							○	◎						
R11211	経営学概論	選	2		2							○	◎						
R11211	社会学概論	選	2		2							○	◎						
R12211	計量経済学	選	2		2							○	◎						
R12211	リスクマネジメント	選	2		2							○	◎	○					
R12211	社会保障論	選	2		2							○	◎	○					
R12211	家族と社会	選	2		2							○	◎						
R12221	社会データ分析	選	2		2							○	◎	○					
R11111	数学への招待	必	2	2								○	◎						
R11111	確率・統計への招待	必	2	2								○	◎	○					
R11211	統計学入門	選	2		2							○	◎	○					
R11211	解析学 I	選	2		2							○	◎						
R11221	解析学 I 演習	選	2		2							○	◎	○					
R11211	線形代数学	選	2		2							○	◎						
R11221	線形代数学演習	選	2		2							○	◎	○					
R12211	多変量解析 I	選	2		2							○	◎	○					
R12211	解析学 II	選	2		2							○	◎						
R12211	代数学	選	2		2							○	◎						
R12211	幾何学	選	2		2								◎						
R11111	プログラミングへの招待	必	2	2								○	◎						
R11211	プログラミング I	選	2		2							○	◎	○					
R12221	データ処理演習	選	2		2							○	◎	○					
R12211	プログラミング II	選	2		2							○	◎						
R12221	プログラミング II 演習	選	2		2							○	◎	○					
R12211	データ構造とアルゴリズム	選	2		2							○	◎						
R12211	応用計量経済学	選	2		2							○	◎						
R12211	医療経済学	選	2		2							○	◎						
R12211	人と組織のマネジメント	選	2		2							○	◎						
R12211	データから見る家族	選	2		2							○	◎						
R12211	疫学統計と生活	選	2		2							○	◎	○					
R12211	データサイエンス実践概論	選	2		2							○	◎						
R12215	データサイエンス社会実装論	選	2		2								◎						
R13213	教育・労働経済学	選	2		2							○	◎						
R13213	公的統計	選	2		2								◎						
R13213	計量経済分析	選	2		2								◎						
R13213	イノベーション論	選	2		2							○	◎						
R13213	戦略的人的資源管理論	選	2		2								◎						
R13213	マーケティング	選	2		2								◎						
R13213	現代ビジネスと金融	選	2		2								◎						
R13213	社会調査法	選	2		2								◎						
R13213	行動経済学	選	2		2								◎						
R13213	データサイエンティストのキャリア論	選	2		2							○	◎						
R13213	マーケティングデータ分析	選	2		2							○	◎						
R13213	公共経営	選	2		2								◎						
R13213	コーポレート・ファイナンス	選	2		2								◎						
R13213	調査設計論	選	2		2								◎						
R12211	生存時間解析	選	2		2							○	◎	○					
R12211	回帰分析	選	2		2							○	◎						
R12211	多変量解析 II	選	2		2							○	◎						
R12211	実験計画法	選	2		2							○	◎						
R12211	文化計量学	選	2		2							◎							
R13213	時系列解析	選	2		2								◎						
R13213	計算機統計学	選	2		2							○	◎						
R13213	最適化理論	選	2		2								◎						
R13213	医療統計	選	2		2							○	◎						
R13213	空間統計学	選	2		2							○	◎						
R13213	心理分析	選	2		2							○	◎						
R13213	行列モデリング	選	2		2							○	◎						

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								主要授業科目	カリキュラムマップ						備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生			理解・知識・スキル	判断力・思考力・協働性・主体性	◎	○	◎	○			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
R12211	AI・機械学習 I	選	2			2						○	◎							AI・機械学習 I とAI・機械学習 I 演習は同時履修が望ましい。 AI・機械学習 II とAI・機械学習 II 演習は同時履修が望ましい。	
R12221	AI・機械学習 I 演習	選	2			2						○	◎	○							
R12211	シミュレーション	選	2			2						○	◎								
R13213	AI・機械学習 II	選	2					2					○		◎						
R13223	AI・機械学習 II 演習	選	2					2					○	○	◎						
R13213	マルチメディア処理	選	2					2							◎						
R13213	データベース	選	2					2					○	○	◎						
R13213	情報ネットワーク	選	2					2							◎						
R13213	バイオインフォマティクス	選	2					2					○		◎						
R13213	数値解析	選	2					2					○		◎						
R13213	画像処理	選	2					2					○	○	◎						
R13213	シミュレーションと宇宙	選	2					2					○		◎						
R13213	自然言語処理	選	2					2					○		◎						
R13213	ソフトウェア設計	選	2					2							◎						
R13213	Webプログラミング	選	2					2							◎						
R13213	情報倫理・情報社会	選	2					2							◎						
R12211	数学科教育法1	選	2			2							◎	○						◎	
R12211	数学科教育法2	選	2			2							◎	○							
R13215	数学科教育法3	選	2					2					○			○	◎				
R13215	数学科教育法4	選	2					2					○			○	◎				
R12211	情報科教育法1	選	2			2							◎	○							
R12215	情報科教育法2	選	2			2							○			○	◎				
R11125	入門演習 I	必	2	2								○	○	○						◎	
R11124	入門演習 II	必	2		2							○	○	○						◎	
R12122	データサイエンス基礎演習 I	必	2			2						○		◎	○	○					
R12122	データサイエンス基礎演習 II	必	2				2					○		◎	○	○					
R13123	データサイエンス実践演習 I	必	2					2				○	○	○	◎						
R13123	データサイエンス実践演習 II	必	2						2			○	○	○	◎						
R14125	データサイエンス上級実践演習 I	必	2							2		○	○	○	○	◎					
R14125	データサイエンス上級実践演習 II	必	2								2	○	○	○	○	◎					
R14155	卒業研究	必	4									4	○	○	○	○	◎				

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

V. 京都女子大学の教育目標

履修科目チェックシート

履修チェックシートは、卒業要件を満たすために必要な科目や単位数の修得状況を各自でチェックするためのものです。

P.24 以降の履修科目表をよく確認したうえで、実際に修得した科目をチェックシートに記入して4年間で卒業要件を満たすように履修計画を立ててください。

全学部共通の建学科目群・共通科目群については P.76 のチェックシートを、各学科専門科目群については P.77～P.86 のチェックシートを利用してください。

■大学共通科目(建学科目群・共通科目群)		… P. 76
■専門科目群		
文学部	国文学科	… P. 77
	英語文化コミュニケーション学科	… P. 78
	史学科	… P. 79
発達教育学部	教育学科	… P. 80
心理共生学部	心理共生学科	… P. 81
家政学部	食物栄養学科	… P. 82
	生活造形学科	… P. 83
現代社会学部	現代社会学科	… P. 84
法学部	法学科	… P. 85
データサイエンス学部	データサイエンス学科	… P. 86

※各科目の履修条件等については、必ずP.24～P.29の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.24～P.29の履修科目表を確認してください。

①「建学科目群」必修科目(合計8単位)

※すべて必修

① 仏教学(合計8単位)

仏教学ⅠA	2	<input type="checkbox"/>	仏教学ⅡA	2	<input type="checkbox"/>
仏教学ⅠB	2	<input type="checkbox"/>	仏教学ⅡB	2	<input type="checkbox"/>

②～⑤「共通科目群」必修科目 及び 選択必修科目(②～⑤合計22単位)

※22単位を超えて修得した単位は⑥へ

② 言語コミュニケーション科目(合計8単位)

英語ⅠA1	1	<input type="checkbox"/>	語ⅠA1	1	<input type="checkbox"/>
英語ⅠA2	1	<input type="checkbox"/>	語ⅠA2	1	<input type="checkbox"/>
英語ⅠB1	1	<input type="checkbox"/>	語ⅠB1	1	<input type="checkbox"/>
英語ⅠB2	1	<input type="checkbox"/>	語ⅠB2	1	<input type="checkbox"/>

③ 情報基盤科目(合計4単位)

情報リテラシー	2	<input type="checkbox"/>	データ・AIリテラシー	2	<input type="checkbox"/>
---------	---	--------------------------	-------------	---	--------------------------

④ 健康科学科目(合計2単位)

運動と健康科学	2	<input type="checkbox"/>
---------	---	--------------------------

⑤ ジェンダー科目、連携活動科目、国際理解科目、教養科目、オープン科目より自由に選択(合計8単位)

_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>

⑥ その他の選択科目 (合計30単位)

②～⑤の必要単位数を超えて修得した科目 及び 学科専門科目の必要単位数(72単位)を超えて修得した科目

_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>

①～⑥ 合計 _____ 単位 / 60単位

国文学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.37～P.39の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.37～P.39の履修科目表を確認してください。

①必修科目 (合計26単位)

国文学基礎講座A	2	<input type="checkbox"/>	基礎演習A	2	<input type="checkbox"/>
国文学基礎講座B	2	<input type="checkbox"/>	基礎演習B	2	<input type="checkbox"/>
国語学概説A	2	<input type="checkbox"/>	演習ⅡA	2	<input type="checkbox"/>
国語学概説B	2	<input type="checkbox"/>	演習ⅡB	2	<input type="checkbox"/>
入門演習A	2	<input type="checkbox"/>	卒業論文	6	<input type="checkbox"/>
入門演習B	2	<input type="checkbox"/>			

②「国文学史1A」「国文学史1B」「国文学史2A」「国文学史2B」「国語史A」「国語史B」より4科目8単位以上修得 ※超過分の修得単位は⑥へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

③「講読〇〇」より10科目20単位以上修得 ※超過分の修得単位は⑥へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

④「演習Ⅰ〇(〇〇)」より4科目8単位修得

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

⑤「国文学特殊講義〇〇」、「国語学特殊講義〇〇」、「日本文化特殊講義〇」より4科目8単位以上修得 ※超過分の修得単位は⑥へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

⑥その他 「国文学科専門科目」及び「文学部共通専門科目」より自由に選択(2単位以上) ※2単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____	2	<input type="checkbox"/>
-------	---	--------------------------

①～⑥の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目 ……修得した単位数はP.76の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

史学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.43～P.46の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.43～P.46の履修科目表を確認してください。

①全コース 必修科目(合計22単位)					
史学基礎演習A	2	<input type="checkbox"/>	東洋史概論A	2	<input type="checkbox"/>
史学基礎演習B	2	<input type="checkbox"/>	東洋史概論B	2	<input type="checkbox"/>
日本史概論A	2	<input type="checkbox"/>	西洋史概論A	2	<input type="checkbox"/>
日本史概論B	2	<input type="checkbox"/>	西洋史概論B	2	<input type="checkbox"/>
卒業論文	6	<input type="checkbox"/>			

日本史コース

②日本史コースは必修(合計20単位)		
日本史入門演習A	2	<input type="checkbox"/>
日本史入門演習B	2	<input type="checkbox"/>
日本史演習ⅠA	2	<input type="checkbox"/>
日本史演習ⅠB	2	<input type="checkbox"/>
日本史演習ⅡA	2	<input type="checkbox"/>
日本史演習ⅡB	2	<input type="checkbox"/>
日本史講読ⅠA	2	<input type="checkbox"/>
日本史講読ⅠB	2	<input type="checkbox"/>
日本史講読ⅡA	2	<input type="checkbox"/>
日本史講読ⅡB	2	<input type="checkbox"/>

③P.43の「日本史コースの履修者は、この枠内の科目と、～」に記載のとおり、16単位以上修得		
_____	2	<input type="checkbox"/>

④その他 専門科目より自由に選択(14単位以上修得)		
_____	2	<input type="checkbox"/>

↑③の超過分の修得単位は④へ

東洋史コース

②東洋史コースは必修(合計12単位)		
東洋史入門演習A	2	<input type="checkbox"/>
東洋史入門演習B	2	<input type="checkbox"/>
東洋史演習ⅠA	2	<input type="checkbox"/>
東洋史演習ⅠB	2	<input type="checkbox"/>
東洋史演習ⅡA	2	<input type="checkbox"/>
東洋史演習ⅡB	2	<input type="checkbox"/>

③東洋史講読ⅠA・ⅠBまたは史学外書講読ⅠA・ⅠBより4単位以上修得		
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

④東洋史講読ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB、ⅣA・ⅣB、または史学外書講読ⅡA・ⅡBより4単位以上修得		
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

⑤東洋史・日本史・西洋史の特殊講義科目より16単位以上修得(その他の条件についてはP.44を確認すること。)		
_____	2	<input type="checkbox"/>

⑥その他 専門科目より自由に選択(14単位以上修得)		
_____	2	<input type="checkbox"/>

⑥その他 専門科目より自由に選択(14単位以上修得)		
_____	2	<input type="checkbox"/>

↑③～⑤の超過分の修得単位は⑥へ

西洋史コース

②西洋史コースは必修(合計16単位)		
西洋史入門演習A	2	<input type="checkbox"/>
西洋史入門演習B	2	<input type="checkbox"/>
西洋史演習ⅠA	2	<input type="checkbox"/>
西洋史演習ⅠB	2	<input type="checkbox"/>
西洋史演習ⅡA	2	<input type="checkbox"/>
西洋史演習ⅡB	2	<input type="checkbox"/>
西洋史講読ⅠA	2	<input type="checkbox"/>
西洋史講読ⅠB	2	<input type="checkbox"/>

③西洋史講読ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢBより4単位以上修得		
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

④西洋史・日本史・東洋史の特殊講義科目より16単位以上修得(その他の条件についてはP.44を確認すること。)		
_____	2	<input type="checkbox"/>

⑤その他 専門科目より自由に選択(14単位以上修得)		
_____	2	<input type="checkbox"/>

⑤その他 専門科目より自由に選択(14単位以上修得)		
_____	2	<input type="checkbox"/>

↑③④の超過分の修得単位は⑤へ

↓
①～④の合計 _____ 単位 / 72単位

↓
①～⑥の合計 _____ 単位 / 72単位

↓
①～⑤の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目 ……修得した単位数はP.76の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

心理共生学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.54～P.56の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.54～P.56の履修科目表を確認してください。

①必修科目(合計38単位)

心理共生入門	2	<input type="checkbox"/>	入門演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
心理学と心理的支援	2	<input type="checkbox"/>	基礎演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>
心理学概論	2	<input type="checkbox"/>	基礎演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
臨床心理学概論	2	<input type="checkbox"/>	心理共生演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>
ソーシャルワーク概論	2	<input type="checkbox"/>	心理共生演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
社会福祉原論	2	<input type="checkbox"/>	心理共生演習Ⅲ	2	<input type="checkbox"/>
学校保健概論	2	<input type="checkbox"/>	心理共生演習Ⅳ	2	<input type="checkbox"/>
臨床医学概論	2	<input type="checkbox"/>	卒業研究	6	<input type="checkbox"/>
入門演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>			

②その他 専門科目より自由に選択 (合計34単位以上)

※34単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>

①②の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目

…修得した単位数はP.76の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>

食物栄養学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.58～P.59の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.58～P.59の履修科目表を確認してください。

①必修科目(合計48単位)

基礎の生物学	2	<input type="checkbox"/>	食品学各論	2	<input type="checkbox"/>
基礎の有機化学	2	<input type="checkbox"/>	基礎栄養学	2	<input type="checkbox"/>
基礎の化学	2	<input type="checkbox"/>	食品衛生学	2	<input type="checkbox"/>
食物栄養基礎演習	2	<input type="checkbox"/>	食品学実験	2	<input type="checkbox"/>
基礎調理学	2	<input type="checkbox"/>	生化学実験	1	<input type="checkbox"/>
解剖生理学	2	<input type="checkbox"/>	食品衛生学実験	1	<input type="checkbox"/>
調理学実習Ⅰ	1	<input type="checkbox"/>	公衆衛生学	2	<input type="checkbox"/>
食物栄養の化学	2	<input type="checkbox"/>	生理学実験	1	<input type="checkbox"/>
生化学	2	<input type="checkbox"/>	食物栄養研究法Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>
科学英語A	2	<input type="checkbox"/>	食物栄養研究法Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
基礎実験	1	<input type="checkbox"/>	食物栄養研究法Ⅲ	2	<input type="checkbox"/>
調理学実習Ⅱ	1	<input type="checkbox"/>	卒業研究	6	<input type="checkbox"/>
食品学総論	2	<input type="checkbox"/>			

②系列科目(「臨床栄養系列」、「健康教育系列」、「研究開発系列」のいずれか一つの系列より2科目4単位修得)

選択系列名: _____ 系列

_____ 2

_____ 2

③その他 専門科目より自由に選択 (合計20単位以上) ※20単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>

①～③の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目

…修得した単位数はP.76の大学共通科目「⑥その他の
選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>

生活造形学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.60～P.61の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
 また、開講学期(前期・後期)についてもP.60～P.61の履修科目表を確認してください。

①必修科目(合計20単位)

生活造形基礎演習	2	<input type="checkbox"/>	生活造形学専門演習	2	<input type="checkbox"/>
生活デザインベーシック	2	<input type="checkbox"/>	生活造形学卒業研究演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>
衣生活概論	2	<input type="checkbox"/>	生活造形学卒業研究演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
建築一般構造	2	<input type="checkbox"/>	卒業研究	6	<input type="checkbox"/>

②その他 専門科目より自由に選択 (合計52単位以上) ※52単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

①②の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目 ……修得した単位数はP.76の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

現代社会学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.64～P.66の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.64～P.66の履修科目表を確認してください。

①導入科目(すべて必修:合計6単位)

現代社会入門Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	ジェンダーと現代社会	2	<input type="checkbox"/>
現代社会入門Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>			

②演習科目 及び 卒業論文(すべて必修:合計20単位)

基礎演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	演習Ⅳ	2	<input type="checkbox"/>
基礎演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	演習Ⅴ	2	<input type="checkbox"/>
演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	演習Ⅵ	2	<input type="checkbox"/>
演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	卒業論文	4	<input type="checkbox"/>
演習Ⅲ	2	<input type="checkbox"/>			

③アプローチ科目(合計5科目10単位以上)

※超過分の修得単位は⑥へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>			

④スキル科目(合計4科目8単位以上)

※超過分の修得単位は⑥へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

⑤コース科目(いずれか一つのコース科目より10科目20単位以上修得)

※超過分の修得単位は⑥へ

選択コース名: _____ コース

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

⑥その他 専門科目から自由に選択(合計8単位以上)

※8単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

①～⑥の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目

…修得した単位数はP.76の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

法学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.68～P.70の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.68～P.70の履修科目表を確認してください。

①必修科目(合計28単位)

導入演習	2	<input type="checkbox"/>	専門入門演習 I	2	<input type="checkbox"/>
憲法 I A(人権)	2	<input type="checkbox"/>	専門入門演習 II	2	<input type="checkbox"/>
民法 I A(総則)	2	<input type="checkbox"/>	事例演習 I	2	<input type="checkbox"/>
企業法総論	2	<input type="checkbox"/>	事例演習 II	2	<input type="checkbox"/>
刑法 I A(総論)	2	<input type="checkbox"/>	専門演習 I	2	<input type="checkbox"/>
ジェンダー法 I	2	<input type="checkbox"/>	専門演習 II	2	<input type="checkbox"/>
基礎演習	2	<input type="checkbox"/>	卒業研究	2	<input type="checkbox"/>

②女性のための法学科目(「ジェンダー法 I」を除く選択科目より合計6単位以上修得) ※超過分の修得単位は③へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>			

③その他 専門科目から自由に選択(合計38単位以上) ※38単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

①～③の合計 _____ 単位 / 72 単位

72単位を超えて修得した専門科目 ……修得した単位数はP.76の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

2025年度入学生用

データサイエンス学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.72～P.73の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.72～P.73の履修科目表を確認してください。

※以下の選択科目を履修する場合は、2科目同時に履修することが望ましいです。

- ◇「解析学Ⅰ」と「解析学Ⅰ 演習」
- ◇「線形代数学」と「線形代数学 演習」
- ◇「プログラミングⅡ」と「プログラミングⅡ 演習」
- ◇「AI・機械学習Ⅰ」と「AI・機械学習Ⅰ 演習」
- ◇「AI・機械学習Ⅱ」と「AI・機械学習Ⅱ 演習」

①専門基礎科目 必修科目(合計8単位)

価値創造への招待	2	<input type="checkbox"/>	確率・統計への招待	2	<input type="checkbox"/>
数学への招待	2	<input type="checkbox"/>	プログラミングへの招待	2	<input type="checkbox"/>

②演習科目 及び 卒業研究(すべて必修:合計20単位)

入門演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	データサイエンス実践演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
入門演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	データサイエンス上級実践演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>
データサイエンス基礎演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	データサイエンス上級実践演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
データサイエンス基礎演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	卒業研究	4	<input type="checkbox"/>
データサイエンス実践演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>			

③社会ソリューション基礎科目より3科目6単位以上修得(必修科目を除く) ※超過分の修得単位は⑦へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>			

④数理・統計系基礎科目より3科目6単位以上修得(必修科目を除く) ※超過分の修得単位は⑦へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>			

⑤情報系基礎科目より2科目4単位以上修得(必修科目を除く) ※超過分の修得単位は⑦へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
-------	---	--------------------------	-------	---	--------------------------

⑥「社会ソリューション発展科目」、「数理・統計系発展科目」、「情報系発展科目」のいずれかの領域より8科目16単位以上修得 ※超過分の修得単位は⑦へ

選択領域名: _____ 発展科目

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

⑦その他 専門科目より自由に選択(合計12単位以上)

※12単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

①～⑦の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目

…修得した単位数はP.76の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

Ⅲ. 免許・諸資格

目 次

教職課程

【学科別 取得可能免許一覧】	P.89
教員免許の取得にあたって	P.90
教育実習について	P.91
教員免許 科目履修表	P.92

諸資格

【学科別 取得可能諸資格一覧】	P.119
諸資格 科目履修表	P.120

教 職 課 程

[学科別 取得可能免許一覧]

学科ごとに、取得可能な免許に「●」を付しています。

学科 教員免許の 種類	国文学科	英語文化コミュニケーション学科	史学科	教育学科	心理共生学科	食物栄養学科	生活造形学科	現代社会学科	法学科	データサイエンス学科
中学校(国語)	● P.92									
中学校(外国語「英語」)		● P.94								
中学校(社会)			● P.96					● P.111	● P.113	
中学校(保健)					● P.103					
中学校(音楽)				● P.101						
中学校(家庭)						● P.106	● P.109			
中学校(数学)										● P.115
高等学校(国語)	● P.93									
高等学校(外国語「英語」)		● P.95								
高等学校(地理歴史)			● P.97							
高等学校(公民)								● P.112	● P.114	
高等学校(保健)					● P.104					
高等学校(音楽)				● P.102						
高等学校(家庭)						● P.107	● P.110			
高等学校(数学)										● P.116
高等学校(情報)										● P.117
小学校				● P.99						
幼稚園				● P.98						
特別支援学校				● P.100						
養護教諭					● P.105					
栄養教諭						● P.108				

教員免許の取得にあたって

1. 教職課程と教育職員免許状について

教員として働くためには、「**教育職員免許状**」（以下「免許状」）を取得することが必要です。免許状は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・栄養教諭・養護教諭など、学校種・免許種ごと（さらに中学校・高等学校は教科別）に分かれています。

免許状を取得するためには、教職課程のある大学等において、所定の単位を修得する必要があります。大学を卒業し、免許状取得の所要資格を得た後、各都道府県の教育委員会へ申請手続きを行うことで、免許状が授与されます。

但し、本学で取得できる免許状は、学則に定めるとおり所属する学科によって異なります。

2. 教職課程履修費について

履修規則に定めるとおり、教職課程を履修する者は**教職課程履修費**の納入が必要となります。**2 回生時より毎年 13,000 円（合計 39,000 円）**を納入してください。

納入期間等の詳細については、1 回生終了時に「京女ポータル」にてお知らせします。

2 回生時に教職課程履修費を納入した学生には、教職課程（免許状を取得するための課程）の概要や履修方法、各種手続き方法をまとめた『教職課程ハンドブック』を配布します。

3. 教職課程履修制限について

養成する教員の「質」を社会に対して保証するため、履修規則に定めるとおり、成績による履修制限（各学年終了時の累積 GPA が「1.7」未満の者については、原則として次年度の教職課程科目の履修を制限する）制度を設けています。

また、免許の種類や教科による履修制限もあります。現時点では、**中学校教諭一種免許状（外国語「英語」）、高等学校教諭一種免許状（外国語「英語」）**が該当し、本学で受験可能な英語検定試験に基づく履修制限を設けています。

4. 教職課程履修記録の作成及び教職面談の実施について

教職課程を履修するためには、学期ごとに教職課程履修記録を作成し、2 回生時より毎年教員との面談を受ける必要があります。

教員との面談を受けるためには、「京女ポータル」にて取得予定教員免許状の申請をしておく必要があります。

小学校及び中学校の教員免許状を取得する場合には、社会福祉施設と特別支援学校での介護等体験が必要です。

教職課程の履修にあたっては、「**新入生用教職課程ガイダンス**」及び「**教職課程に関するスケジュール**」を確認してください。

教育実習について

教育実習を行うためには、前年度までに修得しておく必要がある科目（先修条件科目）があります。また、実習実施前年度に開催するオリエンテーションに出席する必要があります。オリエンテーションについては「京女ポータル」をごまめに確認するようにしてください。

教育実習先修条件科目

(1) 幼稚園、小学校、中学校及び高等学校教育実習

種類	教科	先修条件科目
幼稚園教諭一種免許状	—	教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論
小学校教諭一種免許状		
中学校教諭一種免許状	国語	教職論、教育原論、教育心理学、国語科教育法 1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
中学校教諭一種免許状	外国語「英語」	教職論、教育原論、教育心理学、英語科教育法 1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
中学校教諭一種免許状	社会	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法（地理歴史分野）、人権教育論
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	
中学校教諭一種免許状	音楽	教職論、教育原論、教育心理学、音楽科教育法 1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
中学校教諭一種免許状	保健	教職論、教育原論、教育心理学、保健科教育法 1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
中学校教諭一種免許状	家庭	教職論、教育原論、教育心理学、家庭科教育法 1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
高等学校教諭一種免許状	公民	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法（公民分野）、人権教育論
中学校教諭一種免許状	数学	教職論、教育原論、教育心理学、数学科教育法 1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
高等学校教諭一種免許状	情報	教職論、教育原論、教育心理学、情報科教育法 1、人権教育論

(2) 特別支援学校教育実習

種類	先修条件科目
特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）	特別支援教育総論、肢体不自由教育論、病弱教育論、知的障害教育論

(3) 養護教育実習

種類	先修条件科目
養護教諭一種免許状	教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論

(4) 栄養教育実習

種類	先修条件科目
栄養教諭一種免許状	教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論、学校栄養実践論、学校栄養指導論

中学校教諭一種免許状 外国語「英語」（英語文化コミュニケーション学科）2025

教育の基礎的理解に関する科目等（すべて必修）

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2
指導法、及び総合的な学習の時間、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法）	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	2
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	（生徒指導と教育相談）		
関する実践科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2
	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
		中学校教育実習	2
教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	
法定単位数（合計27単位）		すべて必修（合計28単位）※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	英語学	○ 英語学基礎講義	2
		○ 英語音声学	2
		英語文法語法研究	2
		英語学研究	2
		認知言語学	2
		言語科学	2
	英語文学	○ イギリス文学基礎講義	2
		○ アメリカ文学基礎講義	2
		英米文学研究 1	2
		英米文学研究 2	2
	英語コミュニケーション	英米文学研究 3	2
		英米文学研究 4	2
○ Oral Communication I		1	
○ Oral Communication II		1	
異文化理解	○ Reading & Writing Speech & Presentation	1	
	○ 異文化理解基礎講義	2	
	英語圏研究 1	2	
	英語圏研究 2	2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語圏研究 3	2	
	○ 英語科教育法 1	2	
	○ 英語科教育法 2	2	
	○ 英語科教育法 3	2	
法定単位数（合計28単位）		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学がする独自科目	○人権教育論	1
	法定単位数（27単位）を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数（28単位）を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（すべて必修）

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には「介護等体験」が必要です。

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

高等学校教諭一種免許状 外国語「英語」（英語文化コミュニケーション学科）2025

教育の基礎的理解に関する科目等（すべて必修）

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2
	10		
指導法、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法）	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（生徒指導と教育相談）	2
8			
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	2		
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2
法定単位数（合計23単位）		すべて必修（合計24単位）※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	英語学	○ 英語学基礎講義	2
		○ 英語音声学	2
		英語文法語法研究	2
		英語学研究	2
		認知言語学	2
		言語科学	2
	英語文学	○ イギリス文学基礎講義	2
		○ アメリカ文学基礎講義	2
		英米文学研究1	2
		英米文学研究2	2
	英語コミュニケーション	○ Oral Communication I	1
		○ Oral Communication II	1
異文化理解	○ Reading & Writing	1	
	Speech & Presentation	2	
	○ 異文化理解基礎講義	2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○ 異文化理解研究1	2	
	○ 異文化理解研究2	2	
	○ 異文化理解研究3	2	
法定単位数（合計24単位）	○ 英語科教育法1	2	
	○ 英語科教育法2	2	
	○ 英語科教育法3	2	
法定単位数（合計24単位）		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数（23単位）を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
法定単位数（24単位）を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2		
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（すべて必修）

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び総論に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	教育の方法及び技術	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	進路指導論	2
	生徒指導の理論及び方法	教育実習	1
関する科目	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	教育実習	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	中学校教育実習	2
	教育実習	教職実践演習 (中・高)	2
関する科目	教職実践演習	2	2
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計28単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定する独自の科目	○人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○ 日本史概論 A	2
		○ 日本史概論 B	2
		○ 東洋史概論 A	2
		○ 東洋史概論 B	2
		○ 西洋史概論 A	2
		○ 西洋史概論 B	2
		日本史特殊講義 1	2
		日本史特殊講義 2	2
		日本史特殊講義 3	2
		日本史特殊講義 4	2
		日本史特殊講義 5	2
		日本史特殊講義 6	2
		日本史特殊講義 7	2
		日本史特殊講義 8	2
		日本史特殊講義 9	2
		日本史特殊講義 10	2
		東洋史特殊講義 1	2
		東洋史特殊講義 2	2
		東洋史特殊講義 3	2
		東洋史特殊講義 4	2
		東洋史特殊講義 5	2
		東洋史特殊講義 6	2
		東洋史特殊講義 7	2
		東洋史特殊講義 8	2
		西洋史特殊講義 1	2
		西洋史特殊講義 2	2
		西洋史特殊講義 3	2
		西洋史特殊講義 4	2
西洋史特殊講義 5	2		
西洋史特殊講義 6	2		
西洋史特殊講義 7	2		
西洋史特殊講義 8	2		
地理学 (地誌を含む。)	歴史地理学概論	2	
	○ 人文地理学概論	2	
	○ 地誌	2	
	○ 自然地理学	2	
「法律学、政治学」	○ 法律学研究	2	
「社会学、経済学」	○ 経済学研究	2	
「哲学、倫理学、宗教学」	△ 哲学研究	2	
	△ 宗教学研究	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 社会科教育法 (地理歴史分野)	2	
	○ 社会科教育法 (公民分野)	2	
	○ 地理歴史科教育法	2	
	○ 公民科教育法	2	
法定単位数 (合計28単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ○印を付した科目は必修。 ・ △印を付した「哲学研究」、「宗教学研究」の2科目のうち、いずれか1科目2単位以上修得すること。 ・ 合計32単位以上修得すること。 ※2 		

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
8			
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	日本史	○ 日本史概論 A	2
		○ 日本史概論 B	2
		日本史特殊講義 1	2
		日本史特殊講義 2	2
		日本史特殊講義 3	2
		日本史特殊講義 4	2
		日本史特殊講義 5	2
		日本史特殊講義 6	2
		日本史特殊講義 7	2
		日本史特殊講義 8	2
日本史特殊講義 9	2		
日本史特殊講義 10	2		
外国史	○ 東洋史概論 A ○ 東洋史概論 B 東洋史特殊講義 1 東洋史特殊講義 2 東洋史特殊講義 3 東洋史特殊講義 4 東洋史特殊講義 5 東洋史特殊講義 6 東洋史特殊講義 7 東洋史特殊講義 8 ○ 西洋史概論 A ○ 西洋史概論 B 西洋史特殊講義 1 西洋史特殊講義 2 西洋史特殊講義 3 西洋史特殊講義 4 西洋史特殊講義 5 西洋史特殊講義 6 西洋史特殊講義 7 西洋史特殊講義 8	2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
		2	
人文地理学・自然地理学	歴史地理学概論	2	
	○ 人文地理学概論 ○ 自然地理学	2 2	
地誌	○ 地誌	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 社会科教育法 (地理歴史分野)	2	
	○ 地理歴史科教育法	2	
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

幼稚園教諭一種免許状

(教育学科) 2025

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	保育・幼児教育課程論	2
生涯学習の推進等に資する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	幼児理解の理論及び方法	子ども理解と教育相談	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
関教する実践科目	教育実習	教育実習論(幼・小) 教育実習(幼・小)	2 4
	教職実践演習	保育・教職実践演習	2
法定単位数(合計21単位)		すべて必修(合計23単位) ※1	

領域及び保育内容の指導法に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康	1
	人間関係	子どもと人間関係	1
	環境	子どもと環境	1
	言葉	子どもと言葉	1
	表現	子どもと表現	1
保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	16	保育内容演習(健康)	2
		保育内容演習(人間関係)	2
		保育内容演習(環境)	2
		保育内容演習(言葉)	2
		保育内容演習(表現)	2
		保育内容総論	1
法定単位数(合計16単位)		すべて必修(合計16単位)	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
大学が独自に設定する科目	○人権教育論	1
	児童文化学	2
	子どもの感性と表現	2
	児童文化学実習	2
	児童文化活動論	2
	音楽実技1	2
	乳幼児の健康・運動あそび	2
	乳幼児の科学・造形あそび	2
	多文化教育論	2
	道徳教育論	2
	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	生活科教育内容論	2
	算数科教育内容論	2
	音楽科教育内容論	2
	図工科教育内容論	2
	体育科教育内容論	2
国語科教育内容論	2	
法定単位数(21単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1		
○印を付した科目は必修。合計14単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
日本国憲法	日本国憲法 2
体育	運動と健康科学 2
	スポーツ実践 1
外国語コミュニケーション	英語 I A1 1
	英語 I A2 1
	英語 I B1 1
	英語 I B2 1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー 2

※1 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

小学校教諭一種免許状

(教育学科) 2025

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間、特別活動の指導法、教育の方法及び技術、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法、生徒指導の理論及び方法、教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)、の理論及び方法、進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	教育の方法及び技術	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	進路指導論	2
	生徒指導の理論及び方法		
教育実科科目に関する	教育実習	教育実習論(幼・小)	2
	教育実習	教育実習(幼・小)	4
	教職実践演習	教職実践演習	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計29単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学する独自科目	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(30単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計2単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて履修した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。) 社会 算数 理科 生活 音楽 図画工作 家庭 体育 外国語	国語科教育内容論	2	5科目10単位 選択必修
		社会科教育内容論	2	
		算数科教育内容論	2	
		理科教育内容論	2	
		生活科教育内容論	2	
		音楽科教育内容論	2	
		図工科教育内容論	2	
		家庭科教育内容論	2	
		体育科教育内容論	2	
		外国語科教育内容論	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国語(書写を含む。) 社会 算数 理科 生活 音楽 図画工作 家庭 体育 外国語	○国語科教育方法論(小中)	2	全て必修
		○社会科教育方法論	2	
		○算数科教育方法論	2	
		○理科教育方法論	2	
		○生活科教育方法論	2	
		○音楽科教育方法論(小中)	2	
		○図工科教育方法論	2	
		○家庭科教育方法論	2	
		○体育科教育方法論	2	
		○外国語科教育方法論(小中)	2	
法定単位数(合計30単位)		○印を付した科目は必修。選択必修の条件を満たし、合計30単位以上修得すること。 ※2		

特別支援学校教諭一種免許状 (教育学科) 2025
(知的障害者) (肢体不自由者) (病弱者)

免許法施行規則に定める科目区分等		単位数	本学規定科目及び単位数		備考
			授業科目	単位数	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	○特別支援教育総論	2	
			インクルーシブ教育論	2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	○知的障害者の心理・生理・病理	2	これら3科目より、2科目4単位以上修得すること。
			○肢体不自由者の心理・生理・病理	2	
			○病弱者の心理・生理・病理	2	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		○知的障害教育論	2	
			○肢体不自由教育論	2	
			○病弱教育論	2	
			知的障害者の発達と教育	2	
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	肢体不自由者の発達と教育	2			
	病弱者の発達と教育	2			
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5			
			心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		○重複障害者教育総論	1	
			○発達障害者教育総論	2	
			○視覚障害者教育総論	1	
	○聴覚障害者教育総論	1			
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	○特別支援学校教育実習論	1	
			○特別支援学校教育実習	2	
法定単位数 (合計26単位)			○印を付した科目は必修。 選択必修の条件を満たし、合計26単位以上修得すること。		

○特別支援学校教諭免許状取得にあたっては、基礎となる教諭の免許状を取得すること。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、道徳及び総合的な学習の指導、生徒的指導、教育の時間相談等に	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	10		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)			
2			
関係する実科科目に	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2
	教育実習	教育実習論 教育実習 中学校教育実習	1 2 2
	2		
2	教職実践演習	2	
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位)※1	

教科及び教科の指導法に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	ソルフェージュ	2
	声乐(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	声乐基礎(日本の伝統的な歌唱を含む)	2
		合唱	2
	器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	器楽基礎(伴奏並びに和楽器を含む)	2
		合奏	2
	指揮法	指揮法	2
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	音楽理論・作曲法(編曲法を含む。)	作曲法(編曲法を含む) 音楽理論2 音楽史1(西洋) 音楽史2(日本及び民族)(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)
音楽科教育法1		2	
音楽科教育法2		2	
音楽科教育法3		2	
法定単位数(合計28単位)		すべて必修(合計28単位)	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
大学が独自に設定する科目	○人権教育論	1
	音楽理論1	2
	音楽理論3	2
	音楽理論4	2
	声乐実技 I	1
	声乐実技 II	1
	ピアノ実技 I	1
	ピアノ実技 II	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」	※1
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、道徳、及び総合的な学習の時間に関する科目	総合的な探求の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
関教する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分		本学規定科目及び単位数	
設大定する独自科目	○人権教育論		1
	道徳教育論		2
	音楽理論1		2
	音楽理論3		2
	音楽理論4		2
	声楽実技I		1
	声楽実技II		1
	ピアノ実技I		1
	ピアノ実技II		1
	和楽器実技I		1
法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1			
法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2			
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。			

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分		本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法		2
体育	運動と健康科学		2
	スポーツ実践		1
外国語コミュニケーション	英語 I A1		1
	英語 I A2		1
	英語 I B1		1
	英語 I B2		1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー		2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	○ ソルフェージュ	2
	音楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	○ 声楽基礎(日本の伝統的な歌唱を含む)	2
		○ 合唱	2
	器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	○ 器楽基礎(伴奏並びに和楽器を含む)	2
		○ 合奏	2
	指揮法	○ 指揮法	2
	音楽理論・作曲法(編曲法を含む。)	○ 音楽理論2	2
		○ 作曲法(編曲法を含む)	2
		○ 音楽史1(西洋) 音楽文化特論1(西洋)	2
		○ 音楽史2(日本及び民族) (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)	2
音楽文化特論2(日本及び民族) (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)		2	
		2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○ 音楽科教育法1	2	
	音楽科教育法2	2	
	○ 音楽科教育法3	2	
法定単位数(合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

※1 ※2 法定単位数を超えて履修した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法及び総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	10		
関教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
	理論及び方法		
	2		
5	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2
	教育実習	教育実習論	1
	2	教育実習	2
2	2	中学校教育実習	2
	2	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	生理学・栄養学	解剖生理学	2
		人体生理学	2
		栄養学	2
	衛生学・公衆衛生学	公衆衛生学	2
		衛生学	2
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	臨床医学概論	2
		学校保健	2
		精神保健Ⅰ	2
		精神保健Ⅱ	2
		救急処置及び看護法	2
		小児保健	2
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	保健科教育法1		2
	保健科教育法2		2
	保健科教育法3		2
	保健科教育法4		2
法定単位数(合計28単位)		すべて必修(合計30単位) ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定大学が独自に	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語ⅠA1	1
	英語ⅠA2	1
	英語ⅠB1	1
	英語ⅠB2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探求の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	解剖生理学	2
		人体生理学	2
		微生物学	2
		栄養学	2
	衛生学・公衆衛生学	公衆衛生学	2
		衛生学	2
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	臨床医学概論	2
		学校保健	2
		精神保健Ⅰ	2
		精神保健Ⅱ	2
救急処置及び看護法		2	
	小児保健	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	保健科教育法1	2	
	保健科教育法2	2	
	保健科教育法3	2	
	保健科教育法4	2	
法定単位数(合計24単位)		すべて必修(合計32単位) ※2	

大学が独自に設定する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
大学が独自に設定する科目	人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
すべて必修。合計12単位修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語ⅠA1	1
	英語ⅠA2	1
	英語ⅠB1	1
	英語ⅠB2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

養護教諭一種免許状

(心理共生学科) 2025

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原論
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職論
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論
の道徳、指導、相談、総等及び合理的に生きたる指す指習科導の目、時間教育等	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育論
	教育の方法及び技術		特別活動及び総合的な学習の時間指導法
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論 (生徒指導と教育相談)
関教する実践科目に	養護実習	5	養護教育実習論
			養護教育実習
	教職実践演習		教職実践演習 (養護教諭)
法定単位数 (合計21単位)		すべて必修 (合計27単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目に	○人権教育論	1
	法定単位数 (21単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」	※1
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「養護に関する科目」	※2
○印を付した科目は必修。合計7単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

養護に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4	○ 公衆衛生学
			○ 衛生学
	学校保健	2	○ 学校保健
			○ 小児保健
	養護概説	2	○ 養護概説
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2	○ 健康相談活動論
	栄養学 (食品学を含む。)	2	○ 栄養学
	解剖学・生理学	2	○ 解剖生理学
			○ 人体生理学
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	△ 微生物学
			△ 免疫学
			△ 薬理概論
	精神保健	2	○ 精神保健 I
			○ 精神保健 II
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	10	○ 臨床医学概論	
		○ 看護学 I	
		○ 看護学 II	
		○ 救急処置及び看護法	
		○ 看護技術 I	
		○ 看護技術 II	
		○ 看護臨床実習指導	
		○ 看護臨床実習	
法定単位数 (合計28単位)		<ul style="list-style-type: none"> ○印を付した科目は必修。 △印を付した「微生物学」、「免疫学」、「薬理概論」の3科目のうち、いずれか1科目2単位以上修得すること。 合計32単位以上修得すること。 ※2 	

中学校教諭一種免許状 家庭

(食物栄養学科) 2025

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法及び総合的な学習に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	10		
教育相談等の時間	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	進路指導論	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		
	5		
	2		
関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
		中学校教育実習	2
	2	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計28単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○ 家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	2
	被服学 (被服実習を含む。)	○ 被服学概論 ○ 衣服実習	2 2
	食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	臨床栄養学	2
		○ 分子栄養学	2
		○ 食品学総論	2
		○ 食品衛生学実験	1
		○ 食品学実験	2
		食品加工学実習	1
		○ 基礎調理学	2
	住居学	○ 応用調理学	2
○ 調理学実習 I		1	
○ 調理学実習 II		1	
○ 食品学各論		2	
保育学	○ 保育学	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 家庭科教育法 1	2	
	○ 家庭科教育法 2	2	
	○ 家庭科教育法 3	2	
	○ 家庭科教育法 4	2	
法定単位数 (合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計33単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定する独自科目	○人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む)	2
	被服学 (被服実習を含む。)	○被服学概論 ○衣服実習	2 2
	食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	臨床栄養学	2
		○分子栄養学	2
		○食品学総論	2
		○食品衛生学実験	1
		○食品学実験	2
		食品加工学実習	1
		○基礎調理学	2
	住居学	○住居学概論	2
保育学		○保育学	2
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○家庭科教育法 1
	家庭科教育法 2		2
○家庭科教育法 3	2		
家庭科教育法 4	2		
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計29単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2		
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

栄養教諭一種免許状

(食物栄養学科) 2025

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
の道徳、相導、談法、総合及び合にび的関生なす徒学習の指導の科目、時間教育等	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育論	2
	教育の方法及び技術	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
関教す育る実科践目に	栄養教育実習	栄養教育実習指導	1
	教職実践演習	栄養教育実習	1
		教職実践演習(栄養教諭)	2
法定単位数(合計18単位)		すべて必修(合計23単位)	

栄養に係る教育に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学校栄養指導論	2
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項		
	食生活に関する歴史的及び文化的事項	学校栄養実践論	2
食に関する指導の方法に関する事項			
すべて必修。合計4単位修得すること。			

(注) 栄養教諭一種免許状の取得希望者は、諸課程履修科目として開講される「人権教育論」を修得しなければならない。

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導道徳及び総合的な学習の時間に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	10		
関する実科実践に	教育実習	教育実習 中学校教育実習	1 2 2
	2	教職実践演習 (中・高)	2
	5		
	2		
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計28単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む)	2
	被服学 (被服実習を含む。)	○衣生活概論	2
		アパレル設計学	2
		アパレル材料学2	2
		○アパレル製作実習	2
		ファッションデザイン学	2
	アパレル造形学	2	
	アパレル管理学	2	
	食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	○食物栄養学概論	2
		○調理実習	2
住居学	○住居学概論	2	
	住宅計画 インテリア計画	2 2	
保育学	○保育学	2	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○家庭科教育法 1	2
○家庭科教育法 2		2	
○家庭科教育法 3		2	
○家庭科教育法 4		2	
法定単位数 (合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学する独自科目に	○人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2
8			
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○ 家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	2
	被服学 (被服実習を含む。)	○ 衣生活概論	2
		アパレル設計学	2
		アパレル材料学2	2
		○ アパレル製作実習	2
		ファッションデザイン学	2
		アパレル造形学	2
	アパレル管理学	2	
	食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	○ 食物栄養学概論	2
		○ 調理実習	2
住居学	○ 住居学概論	2	
	住宅計画	2	
	インテリア計画	2	
保育学	○ 保育学	2	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 家庭科教育法 1	2
家庭科教育法 2		2	
○ 家庭科教育法 3		2	
家庭科教育法 4		2	
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設 大 定 学 が る 独 自 に	○ 人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び総合的な学習の指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	教育の方法及び技術	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	進路指導論	2
	生徒指導の理論及び方法	教育実習論	1
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習	2
	教職実践演習	中学校教育実習	2
		教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位)※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学がする独自科目	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」※1	
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
日本史・外国史		○ 日本史概論	2
		○ 東洋史概論	2
地理学(地誌を含む。)		○ 西洋史概論	2
		歴史地理学概論	2
		○ 人文地理学概論	2
		○ 地誌学概論	2
		○ 自然地理学概論	2
「法学、政治学」		○ 法学アプローチ	2
		政治学アプローチ	2
		マイノリティと法	2
		現代政治論	2
		国際関係論	2
		国際関係史	2
		○ 国際法	2
		ジェンダーと法	2
		地方自治論	2
		都市政策論	2
	市民活動論	2	
「社会学、経済学」		経済学アプローチ	2
		国際経済学	2
		○ 社会学アプローチ	2
		家族社会学	2
		文化と社会	2
		多文化社会論	2
		ミクロ経済学	2
		マクロ経済学	2
		教育経済学	2
		家族経済論	2
		国際結婚論	2
		環境社会学	2
		社会学史	2
	環境政策論	2	
	エネルギーと環境	2	
「哲学、倫理学、宗教学」		現代宗教論	2
		生命倫理学	2
		○ 倫理学	2
		人間学	2
		応用倫理学	2
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○ 社会科教育法(地理歴史分野)	2
		○ 社会科教育法(公民分野)	2
		○ 公民科教育法	2
		○ 地理歴史科教育法	2
法定単位数(合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。※2	

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2
8			
関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
	2	教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学する独自科目	○人権教育論	1
	○道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	「法学 (国際法を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)」	○ 法学アプローチ	2
		○ 政治学アプローチ	2
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	○ 国際法	2
		○ 国際法	2
		○ 社会学アプローチ	2
△ 現代宗教論	2		
△ 心理学アプローチ	2		
△ 生命倫理学	2		
△ 倫理学	2		
△ 人間学	2		
△ 応用倫理学	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 社会科教育法 (公民分野)	2	
	○ 公民科教育法	2	
法定単位数 (合計24単位)		<ul style="list-style-type: none"> ・○印を付した科目は必修。 ・△印を付した「現代宗教論」、「心理学アプローチ」、「生命倫理学」、「倫理学」、「人間学」、「応用倫理学」の6科目のうち、いずれか1科目2単位以上修得すること。 ・合計24単位以上修得すること。 ※2 	

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法、道徳及び総合的な学習の指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	教育の方法及び技術	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	進路指導論	2
	生徒指導の理論及び方法		
	教育相談 (カウンセリング)に関する基礎的な知識を含む。の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
関連する実践科目	教育実習	教育実習	2
	教育実習	中学校教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計28単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	憲法 I A (人権)	2
	憲法 I B (人権)	2
	憲法 II A (統治)	2
	憲法 II B (統治)	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A 1	1
	英語 I A 2	1
	英語 I B 1	1
	英語 I B 2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
日本史・外国史		○ 日本史概論	2
		○ 東洋史概論	2
地理学 (地誌を含む。)		○ 西洋史概論	2
		歴史地理学概論	2
		○ 人文地理学概論	2
		○ 地誌学概論	2
「法学、政治学」		○ 自然地理学概論	2
		○ 法学入門	2
		司法制度入門	2
		英米法 I	2
		行政法総論 I	2
		行政救済法	2
		民法 I A (総則)	2
		民法 II (物権)	2
		民法 V A (債権各論)	2
		民法 VI A (親族・相続)	2
		企業法総論	2
		会社法 I (ガバナンス)	2
		支払決済法	2
		商取引法	2
		保険法	2
		刑法 I A (総論)	2
		刑法 II A (各論)	2
		労働法 I	2
社会保障法	2		
国際法 I A	2		
国際機構論	2		
国際私法 I A	2		
国際関係論	2		
ジェンダー法 I	2		
「社会学、経済学」		○ 法社会学	2
		マクロ経済学	2
		ジェンダー法 VI	2
「哲学、倫理学、宗教学」		国際経済学	2
		現代と仏教 A	2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		生命倫理学	2
		○ 倫理学	2
		○ 社会科教育法 (地理歴史分野)	2
		○ 社会科教育法 (公民分野)	2
		○ 公民科教育法	2
		○ 地理歴史科教育法	2
法定単位数 (合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2	

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	進路指導論	2
8			
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分		本学規定科目及び単位数	
設大定学する独自科目	○人権教育論		1
	道徳教育論		2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1		
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2		
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。			

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分		本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	憲法 I A (人権)		2
	憲法 I B (人権)		2
	憲法 II A (統治)		2
	憲法 II B (統治)		2
体育	運動と健康科学		2
	スポーツ実践		1
外国語コミュニケーション	英語 I A1		1
	英語 I A2		1
	英語 I B1		1
	英語 I B2		1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー		2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	「法学 (国際法を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)」	○ 法学入門	2
		司法制度入門	2
		英米法 I	2
		行政法総論 I	2
		行政救済法	2
		民法 I A (総則)	2
		民法 II (物権)	2
		民法 V A (債権各論)	2
		民法 VI A (親族・相続)	2
		企業法総論	2
		会社法 I (ガバナンス)	2
		支払決済法	2
		商取引法	2
		保険法	2
		刑法 I A (総論)	2
		刑法 II A (各論)	2
		労働法 I	2
		社会保障法	2
		国際法 I A	2
		国際機構論	2
国際私法 I A	2		
国際関係論	2		
ジェンダー法 I	2		
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	○ 社会学	2	
	マクロ経済学	2	
	ジェンダー法 VI	2	
	国際経済学	2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	現代と仏教 A	2	
	生命倫理学	2	
	○ 倫理学	2	
	心理学アプローチ	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 社会科教育法 (公民分野)	2	
	○ 公民科教育法	2	
法定単位数 (合計24単位)	○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2		

中学校教諭一種免許状 数学

(データサイエンス学科) 2025

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び生徒指導、総合的な学習の時間、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	教育の方法及び技術	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	進路指導論	2
	生徒指導の理論及び方法	教育実習論	1
関連する実科科目	教育実習	教育実習	2
	教職実践演習	中学校教育実習	2
		教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位)※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
代数学	○線形代数学 ○線形代数学演習	数学への招待	2
		○線形代数学	2
		○線形代数学演習	2
		代数学	2
幾何学	○幾何学	○幾何学	2
解析学	○解析学 I 解析学 I 演習 解析学 II	○解析学 I	2
		解析学 I 演習	2
		解析学 II	2
「確率論、統計学」	○確率・統計への招待 統計学入門 回帰分析 多変量解析 I 時系列解析 多変量解析 II	○確率・統計への招待	2
		統計学入門	2
		回帰分析	2
		多変量解析 I	2
		時系列解析	2
コンピュータ	○プログラミング I ○プログラミング II 演習 プログラミング II データ構造とアルゴリズム	○プログラミング I	2
		○プログラミング II 演習	2
		プログラミング II	2
		データ構造とアルゴリズム	2
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○数学科教育法 1 ○数学科教育法 2 ○数学科教育法 3 ○数学科教育法 4	2 2 2 2
法定単位数(合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自科目	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」※1	
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

高等学校教諭一種免許状 数学

(データサイエンス学科) 2025

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
関する実科践目に	教育実習	教育実習論	1
	教職実践演習	教育実習	2
		教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位)※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	代数学	数学への招待	2
		○線形代数学	2
		○線形代数学演習	2
		代数学	2
	幾何学	○幾何学	2
	解析学	○解析学 I	2
		解析学 I 演習	2
		解析学 II	2
	「確率論、統計学」	○確率・統計への招待	2
		統計学入門	2
		回帰分析	2
		多変量解析 I	2
時系列解析		2	
	多変量解析 II	2	
コンピュータ	○プログラミング I	2	
	○プログラミング II 演習	2	
	プログラミング II	2	
	データ構造とアルゴリズム	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○数学科教育法 1	2	
	数学科教育法 2	2	
	○数学科教育法 3	2	
	数学科教育法 4	2	
法定単位数(合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	特別活動の指導法	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	教育の方法及び技術		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	生徒指導の理論及び方法		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	情報社会(職業に関する内容を含む。) ・情報倫理	○ 情報倫理・情報社会	2
		○ データサイエンス社会実装論 人と組織のマネジメント データサイエンティストのキャリア論	2
		○ データサイエンス社会実装論 人と組織のマネジメント データサイエンティストのキャリア論	2
		○ データサイエンス社会実装論 人と組織のマネジメント データサイエンティストのキャリア論	2
	コンピュータ・情報処理	プログラミングへの招待	2
		○ プログラミング I プログラミング II 演習 プログラミング II データ構造とアルゴリズム 数値解析	2
		○ プログラミング I プログラミング II 演習 プログラミング II データ構造とアルゴリズム 数値解析	2
	情報システム	データベース	2
		○ ソフトウェア設計 Webプログラミング	2
	情報通信ネットワーク	○ 情報ネットワーク	2
○ マルチメディア処理 画像処理		2	
マルチメディア表現・マルチメディア技術	○ マルチメディア処理 画像処理	2	
	○ マルチメディア処理 画像処理	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○ 情報科教育法 1 ○ 情報科教育法 2	2
法定単位数(合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定学が定める独自科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1 法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

諸 資 格

[学科別 取得可能諸資格一覧]

学科ごとに、取得可能な諸資格に「●」を付しています。

資格の種類 \ 学科	国文学科	英語文化コミュニケーション学科	史学科	教育学科	心理共生学科	食物栄養学科	生活造形学科	現代社会学科	法学科	データサイエンス学科	備考	掲載ページ
博物館学芸員	●		●				●	●				120
社会教育主事				●							(※1)	121
保育士				●								122
社会福祉士(受験資格)					●							123
スクールソーシャルワーカー					●						(※2)	124
公認心理師(受験資格)					●						(※3)	125
管理栄養士(受験資格)						●						126
栄養士						●						127
食品衛生管理者・監視員						●						128
1級建築士(受験資格)							●					129
2級・木造建築士(受験資格)							●					129
衣料管理士							●					130
社会調査士								●				131
図書館司書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		132
学校図書館司書教諭	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		132
学校司書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		133
日本語教師	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		134

(※1)社会教育主事 ……社会教育主事課程に定められた所定の単位を修得した者は、「社会教育主事」の資格及び「社会教育士」の称号を得ることができます。

(※2)スクールソーシャルワーカー ……必修科目の「スクールソーシャルワーク実習」は履修条件があります。その他の履修条件等、詳細はP.124の科目表の※を確認してください。

(※3)公認心理師(受験資格) ……公認心理師試験を受験するには実務経験が必要です。大学院に進学することで、実務経験を満たすことができます。

博物館学芸員に関する履修科目表

＜必修科目＞

法定規定科目	本学規定科目及び単位数	回生	備考
生涯学習概論	生涯学習概論	2	1
博物館概論	博物館概論	2	2
博物館資料論	博物館資料論	2	2
博物館経営論	博物館経営論	2	2
博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	3
博物館展示論	博物館展示論	2	3
博物館情報・メディア論	博物館情報論	1	2
	視聴覚教育メディア論	1	2
博物館教育論	博物館教育論	2	2
博物館実習	博物館実習Ⅰ	2	3
	博物館実習Ⅱ	2	4

(事前・事後の指導を含む)
「博物館実習Ⅱ」は最終学年の者で、「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報論」「博物館実習Ⅰ」の単位をすでに修得し、かつ、当該年度中に資格に必要な単位のすべてを充足し得る者しか履修できない。

＜選択科目＞ 自分の所属する学科に指定されている科目を履修すること。

本学規定科目及び単位数								
系列	国文学科		史学科		生活造形学科		現代社会学科	
Ⅰ	風俗文化史A	2	日本古文書ⅠA	2	近代日本絵画史	2		
	風俗文化史B	2	日本古文書ⅠB	2	デザインマーケティング論	2		
Ⅱ	日本美術史A	2	日本美術史A	2	京都学	2		
	日本美術史B	2	日本美術史B	2	京都工芸論1	2		
			東洋美術史	2	京都工芸論2	2		
			西洋美術史	2	World Art History 1	2		
				World Art History 2	2			
Ⅲ	民俗学	2	考古学A	2			民俗文化論	2
			考古学B	2				
			民俗学	2				
Ⅳ								
Ⅴ							自然環境と生態系	2
							環境開発論	2
							多様性の生物学	2
							生命の起源と進化	2

各学科につき、Ⅰ～Ⅴの系列のうち、2系列以上にわたり8単位以上修得すること。

教育学科 社会教育主事に関する履修科目表

社会教育主事課程に定められた所定の単位を修得した者は、「社会教育主事」の資格及び「社会教育士」の称号を得ることができます。

法定規定科目	本学規定科目及び単位数			備 考
生涯学習概論	生涯学習概論Ⅰ	2	必	
	生涯学習概論Ⅱ	2	必	
生涯学習支援論	生涯学習支援論Ⅰ	2	必	
	生涯学習支援論Ⅱ	2	必	
社会教育経営論	社会教育経営論Ⅰ	2	必	
	社会教育経営論Ⅱ	2	必	
社会教育特講	ジェンダーと教育	2	選	8 単位以上修得すること。
	家庭教育論	2	選	
	教育社会学	2	選	
	教育行政学	2	選	
	学校外教育論	2	選	
社会教育実習	社会教育実習	2	必	
	社会教育演習	2	選	
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究	社会教育基礎実習	2	選	4 単位以上修得すること。
	社会教育課題研究	2	選	
	児童文化学実習	2	選	

教育学科 保育士に関する履修科目表

区分	指定保育士養成施設の指定基準科目				本学規定科目			
	規定科目	授業形態	単位数	必選の別	授業科目	時間	単位数	必選の別
教養科目	外国語、体育以外の科目	—	6以上	必	仏教学ⅠA	30	2	必
					仏教学ⅠB	30	2	必
					仏教学ⅡA	30	2	必
					仏教学ⅡB	30	2	必
					人権教育論	15	1	必
	外国語	演習	2以上	必	英語ⅠA1	30	1	必
					英語ⅠA2	30	1	必
	体育	講義 実技	1 1	必 必	運動と健康科学	30	2	必
					スポーツ実践	30	1	必
	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	必	保育原理	30	2
教育原理		講義	2	必	教育原論	30	2	必
子ども家庭福祉		講義	2	必	子ども家庭福祉	30	2	必
社会福祉		講義	2	必	社会福祉	30	2	必
子ども家庭支援論		講義	2	必	子ども家庭支援論	30	2	必
社会的養護Ⅰ		講義	2	必	社会的養護Ⅰ	30	2	必
保育者論		講義	2	必	教職論	30	2	必
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	必	発達心理学	30	2	必
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	必	子ども家庭支援の心理学	30	2	必
	子ども理解と援助	演習	1	必	子ども理解と教育相談	30	2	必
	子どもの保健	講義	2	必	子どもの保健	30	2	必
	子どもの食と栄養	演習	2	必	子どもの栄養	30	2	必
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	必	保育・幼児教育課程論	30	2	必
	保育内容総論	演習	1	必	保育内容総論	15	1	必
	保育内容演習	演習	5	必	保育内容演習(健康)	30	2	必
					保育内容演習(人間関係)	30	2	必
					保育内容演習(環境)	30	2	必
					保育内容演習(言葉)	30	2	必
					保育内容演習(表現)	30	2	必
	保育内容の理解と方法	演習	4	必	子どもと健康	15	1	必
					子どもと人間関係	15	1	必
					子どもと環境	15	1	必
					子どもと言葉	15	1	必
					子どもと表現	15	1	必
	乳児保育Ⅰ	講義	2	必	乳児保育Ⅰ	30	2	必
	乳児保育Ⅱ	演習	1	必	乳児保育Ⅱ	30	1	必
子どもの健康と安全	演習	1	必	子ども保健学演習	30	1	必	
障害児保育	演習	2	必	障害児保育	30	2	必	
社会的養護Ⅱ	演習	1	必	社会的養護Ⅱ	30	1	必	
子育て支援	演習	1	必	子育て支援	30	1	必	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	必	保育実習ⅠA	80	2	必
					保育実習ⅠB	80	2	必
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	必	保育実習指導ⅠA	30	1	必
					保育実習指導ⅠB	30	1	必
総合演習	保育実践演習	演習	2	必	保育・教職実践演習	30	2	必
保育の対象の理解に関する科目					※特別支援教育論	15	1	選
保育の内容・方法に関する科目					※乳幼児の健康・運動あそび	30	2	選
					※乳幼児の科学・造形あそび	30	2	選
					※乳幼児の表現・音楽あそび	30	2	選
					※音楽実技Ⅰ	30	2	選
					※人形劇演習	30	2	選
					※絵本論	30	2	選
保育実習					※保育実習Ⅱ	80	2	選
					※保育実習Ⅲ	80	2	選
					※保育実習指導Ⅱ	15	1	選
					※保育実習指導Ⅲ	15	1	選

※選択科目から、9単位以上(うち保育実習3単位以上(うち保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ2単位以上、保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ1単位以上))修得しなければならない。

心理共生学科 社会福祉士に関する履修科目表

法定規定科目				本学規定科目				
科目		時間	単位	科目		時間	単位	必選
人間と社会及びその関係性の理解 (90時間)	医学概論	30	2	解剖生理学	30	2	必	
				臨床医学概論	30	2	必	
	心理学と心理的支援	30	2	心理学と心理的支援	30	2	必	
	社会学と社会システム	30	2	社会学	30	2	必	
複合化・複雑化した福祉課題及び包括的な支援の理解 (240時間)	社会福祉の原理と政策	60	4	社会福祉原論	30	2	必	
				社会福祉政策論	30	2	必	
	社会保障	60	4	社会保障論 I	30	2	必	
				社会保障論 II	30	2	必	
	権利擁護を支える法制度	30	2	法学	30	2	必	
	地域福祉と包括的支援体制	60	4	地域福祉論 I	30	2	必	
				地域福祉論 II	30	2	必	
	高齢者福祉	30	2	老人福祉論	30	2	必	
	障害者福祉	30	2	障害者福祉論	30	2	必	
	児童・家庭福祉	30	2	児童・家庭福祉論	30	2	必	
	貧困に対する支援	30	2	公的扶助論	30	2	必	
保健医療と福祉	30	2	保健医療論	30	2	必		
刑事司法と福祉	30	2	刑事司法と福祉	30	2	必		
ソーシャルワークの基礎及び理論と方法の理解 (240時間)	ソーシャルワークの基盤と専門職	30	2	ソーシャルワーク概論	30	2	必	
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	30	2	ソーシャルワークの基盤と専門職	30	2	必	
	ソーシャルワークの理論と方法	60	4	ソーシャルワーク論 I	30	2	必	
				ソーシャルワーク論 II	30	2	必	
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	60	4	ソーシャルワーク論 III	30	2	必	
				ソーシャルワーク論 IV	30	2	必	
	社会福祉調査の基礎	30	2	社会福祉調査	30	2	必	
福祉サービスの組織と経営	30	2	福祉サービスの組織と経営	30	2	必		
ソーシャルワークの方法及び実践の理解 (480時間)	ソーシャルワーク演習	30	1	ソーシャルワーク演習 I	30	1	必	
	ソーシャルワーク演習(専門)	120	4	ソーシャルワーク演習 II	30	1	必	
				ソーシャルワーク演習 III	30	1	必	
				ソーシャルワーク演習 IV	30	1	必	
				ソーシャルワーク演習 V	30	1	必	
	ソーシャルワーク実習指導	90	3	ソーシャルワーク実習指導 I	30	1	必	
				ソーシャルワーク実習指導 II	60	2	必	
	ソーシャルワーク実習	240	4	ソーシャルワーク実習 I	60	1	必	
ソーシャルワーク実習 II				180	3	必		
法定規定科目合計単位数		1200	60	本学規定科目合計単位数		1230	62	

心理共生学科

スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程履修科目表

規程による指定科目	本学規定科目及び単位数			備考
スクール(学校)ソーシャルワーク論	スクールソーシャルワーク論	2	必	
スクール(学校)ソーシャルワーク演習	スクールソーシャルワーク演習	1	必	
スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導	スクールソーシャルワーク実習指導	1	必	
スクール(学校)ソーシャルワーク実習	スクールソーシャルワーク実習	2	必	
教育の基礎理論に関する科目のうち、「教育に関する社会的、制度的または経営的事項」を含む科目(1科目以上)	教職論	2	必	「教職論」「教育行政学」「生徒指導論」の履修にあたっては、諸課程履修科目から履修すること。
	教育行政学	2	必	
教育の基礎理論に関する科目のうち「幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達及び学習の過程に関する事項」を含む科目及び生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目(1科目以上)	教育心理学	2	必	
	生徒指導論	2	必	
精神保健の課題と支援	精神保健 I	2	必	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度				

※スクールソーシャルワーカー資格取得に必要な科目の単位を全て修得し、社会福祉士の国家資格に合格した者が、スクールソーシャルワーカーの資格を取得することができます。

※スクールソーシャルワーク実習は、社会福祉士課程のソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ及びソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱを履修し、かつ選抜試験に合格した者のみ履修することができます。

心理共生学科 公認心理師に関する履修科目表

法定規定科目	本学規定科目及び単位数			備 考
公認心理師の職責	公認心理師の職責	2	必	
心理学概論	心理学概論	2	必	
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	必	
心理学研究法	心理学研究法	2	必	
心理学統計法	心理統計法	2	必	
心理学実験	心理学実験	2	必	
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2	必	
学習・言語心理学	学習・言語心理学	2	必	
感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	必	
神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	必	
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学A	2	必	
	社会・集団・家族心理学B	2	必	
発達心理学	発達心理学	2	必	
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	必	
心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	必	
心理学的支援法	心理学的支援法	2	必	
健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	必	
福祉心理学	福祉心理学	2	必	
教育・学校心理学	教育・学校心理学	2	必	
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	必	
産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	必	
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	必	
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2	必	
関係行政論	関係行政論	2	必	
心理演習	心理演習	2	必	
心理実習	心理実習	2	必	

※公認心理師試験(国家試験)の受験資格を得るためには、上記の科目を履修した後に、大学院へ進学し所定の科目を履修する、もしくは一定期間の実務経験が必要です。

食物栄養学科 管理栄養士に関する履修科目

管理栄養士学校指定規則の規定			本学規定科目				備考	
教育内容	単位数		科目名	単位数		必選の別		
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習			
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	健康環境論	2		必		
			公衆衛生学	2		必		
			介護福祉概論	2		必		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14	10	解剖生理学	2		必	
				応用生理学	2		必	
				生化学	2		必	
				分子栄養学	2		必	
				臨床医学概論	2		必	
				臨床病態学	2		必	
				微生物学	2		必	
				生理学実験		1	必	
				解剖生理学実験		1	必	
				生化学実験		1	必	
	バイオテクノロジー実験		1	必				
	食べ物と健康	8		食品学総論	2		必	
				食品学各論	2		必	(食品加工学を含む)
				食品衛生学	2		必	
				応用調理学	2		必	
				食品学実験		2	必	
				食品加工学実習		1	必	
食品衛生学実験					1	必		
調理学実習Ⅰ					1	必		
調理学実習Ⅱ		1	必					
専門基礎分野合計	28	10		28	10			
専門分野	基礎栄養学	2	基礎栄養学	2		必		
			基礎栄養学実習		1	必		
	応用栄養学	6		ライフステージ別栄養学	2		必	
				栄養評価論	2		必	
				栄養機能論	1		必	
				運動栄養学	1		必	
				ライフステージ別栄養学実習		1	必	
	栄養教育論	6		栄養教育総論	2		必	
				栄養教育各論	2		必	
				栄養カウンセリング論	2		必	
				栄養教育論実習		1	必	
	臨床栄養学	8	8	病態栄養学	2		必	
				臨床栄養学	2		必	
				臨床栄養管理学	2		必	
				栄養薬理学	1		必	
				チーム医療論	1		必	
				臨床栄養学実習		1	必	
	公衆栄養学	4		公衆栄養学	2		必	
				公衆栄養活動論	1		必	
				栄養疫学	1		必	
公衆栄養学実習					1	必		
給食経営管理論	4		給食運営論	2		必		
			給食経営管理論	2		必		
			給食運営実習		1	必		
			給食経営管理実習		1	必		
総合演習	2	—	給食運営校外実習事前事後指導	1		必		
			臨地実習事前事後指導	1		必		
			管理栄養士特別演習	2		必		
臨地実習	—	4	給食運営校外実習		1	必	5科目中3科目3単位を修得すること	
			臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)		1	選		
			臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)		1	選		
			臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)		1	選		
			臨地実習(公衆栄養学)		1	選		
臨地実習(給食経営管理論)		1	選					
専門分野合計	32	12		34	12			
合計	60	22		62	22			

食物栄養学科 栄養士に関する履修科目表

法定規定科目	本学規定科目	単位数		備考
		講義又は演習	実験又は実習	
社会生活と健康	公衆衛生学	2		
	介護福祉概論	2		
人体の構造と機能	解剖生理学	2		
	応用生理学	2		
	生化学	2		
	分子栄養学	2		
	生理学実験		1	
	生化学実験		1	
食品と衛生	食品学総論	2		
	食品学各論	2		(食品加工学を含む)
	食品衛生学	2		
	食品学実験		2	
	食品加工学実習		1	
	食品衛生学実験		1	
栄養と健康	基礎栄養学	2		
	基礎栄養学実習		1	
	ライフステージ別栄養学	2		
	運動栄養学	1		
	栄養機能論	1		
	ライフステージ別栄養学実習		1	
	臨床栄養学	2		
	臨床栄養学実習		1	
栄養の指導	栄養教育総論	2		
	栄養教育各論	2		
	栄養教育論実習		1	
	公衆栄養学	2		
	公衆栄養学実習		1	
給食の運営	給食運営論	2		
	応用調理学	2		
	調理学実習Ⅰ		1	
	調理学実習Ⅱ		1	
	給食運営実習		1	
	給食経営管理実習		1	
	給食運営校外実習		1	
	給食運営校外実習事前事後指導	1		

本学規定科目は全て必修

食物栄養学科 食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する履修科目表

(必修科目を含め、合計40単位修得すること)

法定規定科目		本学規定科目				
科目群	単位	科目	単位数	必選の別	備考	
A群 化学関係	各群 1科目以上 合計 22 単位以上	基礎の化学	2	必		
		基礎の有機化学	2	必		
B群 生物化学関係		基礎の生物学	2	必		
		解剖生理学	2	必		
		生化学	2	必		
		食品学総論	2	必		
		食物栄養の化学	2	必		
		分子栄養学	2	必		
C群 微生物学関係		微生物学	2	必		
		食品学各論	2	必		
D群 公衆衛生学関係		公衆衛生学	2	必		
		食品衛生学	2	必		
E群 その他関連科目		基礎実験	1	必		
		食品学実験	2	必		
	応用調理学	2	必			
	基礎栄養学	2	必			
	生理学実験	1	必			
	食品衛生学実験	1	必			
	生化学実験	1	必			
	機器分析概論	2	必			
	食品加工学実習	1	選			
	臨床医学概論	2	選			
	応用生理学	2	選			
	臨床病態学	2	選			
	給食運営論	2	選			
	給食運営実習	1	選			
バイオテクノロジー実験	1	選				
公衆栄養学	2	選				

4単位以上
修得すること

生活造形学科 1級建築士及び2級・木造建築士に関する履修科目表

指定科目の分類(単位数)		本学規定科目				
2級・木造	1級	科目名	単位数	備考		
				2級・木造	1級	
①建築設計製図 (3単位以上)	①建築設計製図 (7単位以上)	空間デザイン実習ⅡA	2	4単位以上修得 すること	8単位以上修得 すること	
		空間デザイン実習ⅡB	2			
		空間デザイン実習ⅢA	2			
		空間デザイン実習ⅢB	2			
		空間デザイン実習ⅣA	2			
		空間デザイン実習ⅣB	2			
		空間造形実習A	2			
		空間造形実習B	2			
②～④ 建築計画、建築環境工学 又は建築設備 (2単位以上)	②建築計画 (7単位以上)	住宅計画	2	2単位以上修得 すること	8単位以上修得 すること	
		住宅再生論	2			
		建築計画1	2			
		建築計画2	2			
		西洋建築史	2			
		日本建築史	2			
		室内様式史	2			
		地域建築再生論	2			
		景観デザイン論	2			
	建築デザイン論	2				
	③建築環境工学 (2単位以上)	建築環境工学	2		2単位以上修得 すること	2単位以上修得 すること
		環境計画	2			
④建築設備 (2単位以上)	建築設備	2		2単位必修		
⑤～⑦ 構造力学、建築一般構造 又は建築材料 (3単位以上)	⑤構造力学 (4単位以上)	構造力学Ⅰ	2	4単位以上修得 すること	4単位必修	
		構造力学Ⅱ	2			
	⑥建築一般構造 (3単位以上)	建築一般構造	2		4単位以上修得 すること	4単位以上修得 すること
		構造計画	2			
		伝統技法演習	2			
	⑦建築材料 (2単位以上)	建築材料	2			2単位必修
⑧建築生産 (1単位以上)	⑧建築生産 (2単位以上)	建築施工	2	2単位必修	2単位必修	
⑨建築法規 (1単位以上)	⑨建築法規 (1単位以上)	建築法規	2	2単位必修	2単位必修	
⑩その他 (適宜)	⑩その他 (適宜)	建築設計製図実習	2			
		空間デザイン実習ⅠA	2			
		空間デザイン実習ⅠB	2			
		建築CAD実習A	2			
		建築CAD実習B	2			
		インテリア計画	2			
インテリアエレメント	2					
				合計20～40単 位以上修得す ること	合計40～60単 位以上修得す ること	

※所定の科目を履修する事により1級、2級・木造建築士の受験資格が卒業後に得られる。

※合計修得単位数により、建築士免許登録時に必要となる実務経験年数(国土交通省令で定める年数)が異なる。

生活造形学科 衣料管理士(1級)に関する履修科目表

＜必修科目＞(すべて修得すること)

日本衣料管理協会指定科目		本学規定科目及び単位数		備考
材 料	被服繊維学	アパレル材料学1	2	
	被服材料学	アパレル材料学2	2	
	繊維学実験Ⅰ	アパレル繊維・材料学実験Ⅰ	2	
	材料学実験Ⅰ			
	繊維学実験Ⅱ	アパレル繊維・材料学実験Ⅱ	2	
	材料学実験Ⅱ			
	テキスタイルデザイン	テキスタイルデザイン実習	2	
加工・整理	被服整理学	アパレル管理学	2	
	染色加工学	アパレル染色学	2	
	被服整理学実験	アパレル染色整理学実験	2	
	染色加工学実験			
	工芸染色実習	工芸染色実習	2	
企画・設計 ・生産	アパレル企画論	アパレル企画論	2	
	アパレル設計論	アパレル設計学	2	
	アパレル設計実習	アパレル設計製図実習	2	
	アパレル生産実習	アパレル生産実習	2	
	アパレル生理衛生論	衣環境論	2	
	アパレルデザイン論	ファッションデザイン学	2	
	アパレルCAD実習	アパレルCAD実習	2	
	被服心理学	ファッション社会学	2	
	アパレル企画実習	アパレル企画実習	2	
	アパレルデザイン表現実習	ファッションデザイン学実習Ⅰ	2	
	(協会規定外科目)	アパレル体型学	2	
流通・消費	消費科学	消費科学	2	
	消費生活論	消費生活論	2	
	テキスタイルアドバイザー実習	テキスタイルアドバイザー実習	2	
	衣生活文化論	ファッション文化論	2	
	ファッションビジネス論	ファッションビジネス論	2	
	ファッション商品論	ファッションブランド論	2	

現代社会学科 社会調査士に関する履修科目表（全て必修）

社会調査士資格認定機構指定科目	本学規定科目及び単位数		
社会調査の基本的事項に関する科目	社会データ処理基礎	2	必
調査設計と実施方法に関する科目	量的調査法	2	必
基本的な資料とデータの分析に関する科目	データ分析入門	2	必
社会調査に必要な統計学に関する科目	統計学基礎	2	必
質的な分析の方法に関する科目	質的調査法	2	必
社会調査の実習を中心とする科目	社会調査実習Ⅰ	2	必
	社会調査実習Ⅱ	2	必

図書館司書に関する履修科目表

群	法定規定科目	本学規定科目及び単位数		備考	
甲 群	生涯学習概論	生涯学習概論	2	必	教育学科の学生は、「生涯学習概論」の履修にあたっては、専門科目の中の「生涯学習概論Ⅰ」を履修すること。 「情報サービス演習」は、「情報サービス論」の単位を修得しなければ履修できない。 情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱは、「情報資源組織論」の単位を修得しなければ履修できない。
	図書館概論	図書館概論	2	必	
	図書館制度・経営論	図書館制度・経営論	2	必	
	図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	必	
	図書館サービス概論	図書館サービス概論	2	必	
	情報サービス論	情報サービス論	2	必	
	児童サービス論	児童サービス論	2	必	
	情報サービス演習	情報サービス演習	2	必	
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	必	
	情報資源組織論	情報資源組織論	2	必	
	情報資源組織演習	情報資源組織演習Ⅰ	1	必	
情報資源組織演習Ⅱ		1	必		
乙 群	図書館基礎特論	図書館基礎特論	2	選	2科目4単位以上修得すること。 「図書館実習」の履修についての条件は別に定める。
	図書館サービス特論	図書館サービス特論	2	選	
	図書館情報資源特論	図書館情報資源特論	2	選	
	図書・図書館史	図書・図書館史	2	選	
	図書館施設論	図書館施設論	2	選	
	図書館総合演習	図書館総合演習	2	選	
	図書館実習	図書館実習	2	選	

学校図書館司書教諭に関する履修科目表

法定規定科目	本学規定科目及び単位数		備考
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2	必
学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成	2	必
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	必
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	必
情報メディアの活用	情報メディアの活用	2	必

学校司書に関する履修科目表

	規定科目	本学規定科目及び単位数			備考
学校図書館の運営・管理・サービスに関する科目	学校図書館概論	学校経営と学校図書館	2	必	「情報サービス演習」は、「情報サービス論」の単位を修得しなければ履修できない。 情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱは、「情報資源組織論」の単位を修得しなければ履修できない。
	図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	必	
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	必	
	情報資源組織論	情報資源組織論	2	必	
	情報資源組織演習	情報資源組織演習Ⅰ	1	必	
		情報資源組織演習Ⅱ	1	必	
	学校図書館サービス論	学校図書館サービス論	2	必	
学校図書館情報サービス論	情報サービス論	2	必		
	情報サービス演習	2	必		
児童生徒に対する教育支援に関する科目	学校教育概論	教育原論	2	必	「教育原論」「教育心理学」「教育課程論」の履修にあたっては、文学部、家政学部、現代社会学部、法学部及びデータサイエンス学部の学生は諸課程履修科目より、発達教育学部の学生は専門科目より履修すること。心理共生学部の学生は、「教育原論」「教育課程論」の履修にあたっては諸課程履修科目より、「教育心理学」の履修にあたっては専門科目より履修すること。
		教育心理学	2	必	
		教育課程論	2	必	
	学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	必	
	読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	必	

日本語教師課程に関する履修科目表

(必修科目を含め、合計26単位以上修得すること。)

領域区分	本学規定科目及び単位数			備考				
社会・文化・地域	日本語教育入門	2	必	諸課程履修科目	全学共通科目	必修 20単位		
言語と社会、言語と心理	言語と社会	2	必					
言語と心理、言語と教育	言語と心理	2	必					
言語と教育	言語と教育	2	必					
言語	日本語の構造	2	必					
言語と教育	日本語教育実習	2	必	(事前・事後指導を含む) 「日本語教育実習」は、「日本語教育入門」、「言語と教育」及び「日本語の構造」の単位を修得した者のみ履修することができる。				
言語	英語 I A1	1	必	共通科目群			全学共通科目	必修 20単位
言語	英語 I B1	1	必					
言語と教育、言語	(初修外国語) I A1 (※1)	1	必					
言語と教育、言語	(初修外国語) I B1 (※2)	1	必					
言語と教育	情報リテラシー	2	必					
言語	キャリア形成 I	2	必					
言語	ことばとコミュニケーション	2	選	オープン科目	全学共通科目	選択 6単位以上 修得すること		
社会・文化・地域、言語	中国文学史A	2	選	※文学部の学生は文学部共通専門科目として履修すること。				
社会・文化・地域、言語	中国文学史B	2	選					
社会・文化・地域	国文学史2A	2	選	オープン科目				
社会・文化・地域	国文学史2B	2	選					
言語	国語史A	2	選				※国文学科の学生は国文学科専門科目として履修すること。	
言語	国語史B	2	選	オープン科目				
言語と社会、言語と心理、 言語と教育、言語	多文化教育論	2	選	※教育学科の学生は専門科目として履修すること。				
言語と教育	教育方法論 (※1)	2	選	諸課程履修科目				
言語	生徒指導論 (※1)	2	選	(※1) 教育学科の学生は専門科目として履修すること。				
社会・文化・地域、言語と社会	生涯学習概論 (※2)	2	選	(※2) 教育学科の学生は専門科目の「生涯学習概論 I」を履修すること。				
社会・文化・地域	国文学基礎講座A	2	選	国文学科専門科目 ※				
言語と社会、言語と教育、言語	入門演習A	2	選					
社会・文化・地域	国文学史1A	2	選					
社会・文化・地域、言語と心理、 言語と教育、言語	漢文学A	2	選	英語文化コミュニケーション学科専門科目 ※				
社会・文化・地域、言語と社会、 言語と心理、言語と教育、言語	異文化理解基礎講義	2	選					
言語と心理	言語習得論	2	選					
言語と心理	比較文化研究1	2	選	教育学科専門科目 ※				
言語と社会	社会言語学	2	選					
社会・文化・地域、言語と社会	生涯学習概論 I	2	選					
社会・文化・地域、言語と社会 言語と教育	比較・国際教育論	2	選	現代社会学科専門科目 ※				
言語	子ども理解と教育相談	2	選					
社会・文化・地域、言語と社会	社会教育演習	2	選					
社会・文化・地域	国際結婚論	2	選	法学科専門科目 ※				
社会・文化・地域	マイノリティと法	2	選					
社会・文化・地域	多文化社会論	2	選					
社会・文化・地域	英米法 I	2	選					
社会・文化・地域	英米法 II	2	選					
社会・文化・地域	国際法 II	2	選					
社会・文化・地域	国際関係論	2	選					
社会・文化・地域	平和研究 I	2	選					
社会・文化・地域	平和研究 II	2	選					
合 計						26単位以上		

※各学科専門科目は当該所属の学生のみ履修可。

(注)本学が定める日本語教師課程は、文化庁が示す日本語教師養成課程の「副専攻課程」です。

IV. 京都女子大学 履修規則

京都女子大学履修規則

第1章 総則

(目的)

第1条 京都女子大学（以下「大学」という。）を卒業するために必要な要件及び教育職員免許状その他の資格取得の所要資格を得るに必要な要件、その他修学上必要な事項については、この規則の定めるところによる。

第2章 卒業の要件

(卒業の要件)

第2条 大学を卒業するためには、大学に4年以上在学し、その間に学科ごとに定める教育課程に従って、授業科目を履修し合計132単位以上を修得しなければならない。

(卒業に必要な単位)

第3条 卒業に必要な科目及び単位数は、別表1〔大学学則（以下「学則」という。）第13条別表〕のとおりとする。

(履修方法)

第4条 前条に定める授業科目の開講学期及び単位数等の履修方法は、履修科目表に記載のとおりとする。

(本学入学前又は入学後に取得した外国語検定等のスコア)

第5条 本学入学前又は入学後に、文部科学大臣が定める英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の外国語検定等に合格又は規定の点数を取得した場合は、学則第19条の3及び第19条の4により、本学の授業科目に読み替え、単位を認定することができる。単位の認定等必要な事項は別に定める。

(他大学単位修得科目)

第6条 他の大学又は短期大学で修得した単位は学則第19条の2により、卒業に必要な単位に含めることができる。履修登録、単位の認定等必要な事項は別に定める。

2 他の大学又は短期大学の授業科目の受講は、2回生から4回生前期の期間とする。

(本学入学前に大学等で修得した単位)

第7条 本学入学前に大学又は短期大学で修得した単位は学則第19条の4により、本学の授業科目に読み替え単位を認定することができる。

2 第5条及び第6条の規定により、本学入学前の本学以外での学修を本学の授業科目に読み替えて認定できる単位数は、あわせて60単位を上限とする。

3 第5条及び第6条の規定により、本学入学後の本学以外での学修を本学の卒業に必要な単位に含めることができる単位数は、あわせて60単位を上限とする。

(副専攻プログラム)

第8条 学則第14条の2に規定する京都女子大学副専攻プログラムに関し必要な事項については、別に定める。

第3章 履修登録及び授業

(履修登録)

第9条 当該年度に履修しようとする授業科目について、あらかじめ指定された期日に、履修登録の手続きを行わなければならない。

2 授業科目の登録は、当該学科及び回生ごとに組まれた授業時間割表に従わなければならない。

3 授業科目の履修にあたっては、履修科目表及びシラバスを確認しなければならない。

4 シラバスには、授業の目的、到達目標、授業内容・方法、成績評価方法・基準等を記載する。また、ディプロマ・ポリシーと関連付けた学習の到達目標や成績評価基準を明示する。

5 授業規模の適正化を図るため、履修登録者数が適正な範囲を超過した授業は抽選を行うことがある。

6 卒業要件として修得すべき単位のうち、1年間に登録できる授業科目の単位数の上限は48単位とする。ただし、校外実習・校外研修科目及び当該実習指導に関する科目、並びにその他学科が指定する科目については、登録単位数の上限を超えて登録することができる。

7 前項の他、所属学科が指定する教職課程科目については、当該学科

による履修状況や教職課程履修に関する面談により履修が認められたもの限り、登録単位数の上限を超えて登録することができる。

8 2回生以上の学生を対象として、当該年度の前年度の年間GPAが「3.0」以上の者については、1年間に登録できる授業科目の単位数の上限（48単位）を超えて54単位まで履修科目の登録を認めるものとする。この特別措置は、当該年度のみ有効とする。

9 前項の規定は、当該年度の前年度に休学した者については対象外とする。

10 一度単位認定された授業科目は再登録できない。

(履修登録の修正)

第10条 履修登録後の追加・変更及び取り消しは、授業開始後の指定された期日に修正の手続きをした者についてのみ認める。

(授業の方法)

第11条 授業科目は、その授業方法により講義、演習（講読）、実験・実習又は実技に区分し、授業はそのいずれかにより行う。また、これらの併用により行う場合がある。

2 文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

(単位の計算)

第12条 授業科目の単位の計算方法は、次の基準による。（学則第17条）各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを基準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目の単位数については、論文等作成に必要な学修等を考慮して定める。

(必修科目・選択科目の区分)

第13条 授業科目は、その履修方法により必修科目及び選択科目（選択必修科目を含む。）に区分する。

(必修科目の再履修)

第14条 必修科目が不合格で単位が認定されなかった場合は、必ずその科目の単位が認定されるまで履修しなければならない。

(選択必修科目の再履修)

第15条 選択必修科目が不合格で単位が認定されなかった場合は、選択できる範囲内の科目を履修してこれに代えることができる。

(開講期間)

第16条 授業科目は、その開講期間により学則第11条に定める前期に開講する前期開講科目、後期に開講する後期開講科目及び前期、後期を通じて開講する通年開講科目に区分する。

2 あらかじめ通年として開講されている授業科目は、通年受講しなければならない。

(受講)

第17条 受講に際しては、出席・欠席・遅刻及び早退について、担当教員の確認を受けなければならない。

(出席日数)

第18条 当該授業科目の出席日数が実験・実習・実技にあっては、開講日数の5分の4未満、その他にあっては開講日数の3分の2未満の者については、原則として単位認定は行わない。

(授業時間)

第19条 授業時間は、講時で表わし1講時を2時間と見なして計算する。講時配当時間は、次のとおりとする。

1 講時 8：50～10：20

2 講時 10：35～12：05

3 講時 13：00～14：30

4 講時 14：45～16：15

5 講時 16：30～18：00

6 講時 18：10～19：40

第4章 卒業論文又は卒業研究

(卒業論文又は卒業研究の履修登録)

第20条 卒業論文又は卒業研究の履修登録は、第9条第1項の規定により、原則として最終学年の者で3年以上在学し、当該年度卒業が見込まれる者が行う。

(論題の提出)

第21条 卒業論文題目又は卒業研究題目は、卒業論文又は卒業研究の提出時に、指導教員の指導を受けたうえで、教務課に届け出るものとする。

(卒業論文又は卒業研究の提出)

第22条 卒業論文又は卒業研究は、各学科の指示する期限及び方法により提出しなければならない。正当な理由がなく提出期限に遅れた場合は、受理されない。

2 前項の提出期限は12月1日から翌年1月31日の期間内で各学科が指定する。

3 卒業論文または卒業研究の単位を修得せずに卒業延期となった者のうち、最終年次前期終了時点において卒業が見込まれる者については、最終学年前期（7月1日～31日の学科が指定する期日まで）にこれを提出し、単位の認定を受けることができる。

(卒業論文又は卒業研究の評価)

第23条 卒業論文又は卒業研究の評価は、最終年次の学年で、所定の単位を修得した者について行う。

2 前項の評価は、審査及び試問（発表を含む。）によるものとする。

第5章 単位認定及び成績

(成績評価と単位認定)

第24条 学生は、履修登録を行った授業科目について、各授業科目のシラバスに示された方法及び成績評価基準により成績評価を受ける。

2 授業科目の成績評価は、各授業科目の目的に応じて多角的に判定し、上位よりSS、S、A、B、C及びDをもって評価し、C以上を合格として当該授業科目の単位を認定する。

3 前項の成績評価は、以下の通りグレード・ポイント（以下「GP」という。）に換算する。

種別	成績評価	GP	判定の基準
合格	SS	5	授業科目の目標を完全に達成し、特に秀でた成果を挙げている。(試験やレポート等の評価に加え、授業への参加態度や授業時間外の学修成果が極めて高いと認められる。)
	S	4	授業科目の目標をほぼ完全に達成している。
	A	3	授業科目の目標を相応に達成している。
	B	2	授業科目の目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。
	C	1	授業科目の目標の最低限を満たしている。
	G	—	GP評価できない科目の合格。
不合格	D	0	授業科目の目標の最低限を満たしていない。
単位認定合格	N	—	他大学等で修得した単位。 本学入学前に修得した単位。

4 学習成果のフィードバックの手段として、以下の通りGP評価と100点法の評価を併記する場合がある。

- (1) GP評価5の場合、95～100点
- (2) GP評価4の場合、90～94点
- (3) GP評価3の場合、80～89点
- (4) GP評価2の場合、70～79点
- (5) GP評価1の場合、60～69点

5 教職実践演習及び教育実習等の学外実習・研修にかかる授業科目の成績評価は、G、Dをもって評価する。

(不正行為の禁止)

第25条 前条に規定する成績評価を受けるに際しては、一切の不正行為を厳禁する。

(不正行為者に対する処置)

第26条 不正行為者に対しては、当該授業科目の評価をDにする。

2 学則第54条により懲戒されることがある。

(成績の通知)

第27条 履修した授業科目の成績は、各学期終了後に本人に通知する。

2 不合格の授業科目について疑義がある場合は、本学の指定する方法により、授業担当者に確認を依頼することができる。

3 第1項による通知には、授業科目ごとの成績評価に加え、履修登録したすべての授業科目を対象として、それぞれの成績評価のGPから計算した単位あたりの平均値(GPA)を記入する。GPAの計算方法は別に定める。

4 GPAが各学科の定める基準を下回った者は、本学教員による面談を受けなければならない。

5 一定期間にわたり成績の改善が見られない者に対して、本学が別に定める方法により、学修上の指導または各種勧告（改善勧告、休学勧告、退学勧告のいずれか）を行う場合がある。

(成績証明書の評語)

第28条 本学で発行する成績に関する証明書は、単位を修得した授業科目について、第23条第2項にもとづき、SS、S、A、B、C、G又はNの評語をもって記入する。

第6章 休学・復学・退学

(休学願)

第29条 学則第41条及び第42条に規定する休学の手続きは、所定の休学願を学生支援課に提出しなければならない。

2 前項の休学事由が病気の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

(復学願)

第30条 学則第43条に規定する復学については、休学期間満了前に所定の復学願を学生支援課に提出しなければならない。

2 前項の休学事由が病気の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

(退学願)

第31条 学則第44条に規定する退学については、所定の退学願を保証人連署のうえ、学生支援課に提出しなければならない。

2 学則第38条第2項に規定する他大学への転入学に際しては、退学願を学生支援課に提出しなければならない。

第7章 編入学及び転部・転科

(編入学)

第32条 学則第37条に規定する編入学の取扱いは、別に定める。

(転部・転科)

第33条 学則第40条に規定する転部・転科を希望する者は、所定の願書及び必要書類に検定料を添えて保証人連署のうえ、教務課に提出しなければならない。

2 転部・転科に関する内規は、別に定める。

第8章 科目等履修

(科目等履修)

第34条 学則第56条に規定する科目等履修の取扱いは、別に定める。

第9章 教職課程

(教職課程)

第35条 学則第24条に基づき、本学に教職課程を置く。

(教職に関する科目等の履修)

第36条 教育職員免許状取得の所要資格を得ようとする者の、教科及び教職に関する科目の単位の修得方法は、本学の定めるところによる。

2 教職実践演習（中・高）、教職実践演習、保育・教職実践演習、教職実践演習（栄養教諭）及び教職実践演習（養護教諭）は原則として最終学年の者で、各学科で実施する必要なすべての教職面談をうけ、かつ、教育実習の履修登録ができる者について、履修を許可する。

(履修制限)

第37条 各学年終了時に第27条第3項の規定により計算した累積GPAが一定基準を下回った者については、原則として教職課程の履修

を制限する。

- 2 前項にわえ、免許の種類・教科ごとに別に定める基準を満たさない者について、教職課程の履修を制限することがある。

(免許状の種類・教科)

第38条 学則第24条第3項に基づき、各学科において所要資格を得ることのできる教育職員免許状の種類及び教科を定める。

- 2 発達教育学部教育学科の者で、特別支援学校教諭一種免許状取得希望者は、免許状取得要領に基づき、基礎となる教諭の免許状を併せて取得しなければならない。
- 3 家政学部食物栄養学科の者で、栄養教諭一種免許状の取得希望者は、本学の定める管理栄養士に関する履修科目表に規定する科目及び単位を修得しなければならない。
- 4 第1項に定める以外の免許状取得のための他学部・他学科における授業科目の履修については、教務課に申し出て許可を得なければならない。
- 5 前項により他学部・他学科の授業科目を履修し、単位を修得した場合、単位認定はされるが卒業に必要な単位に含むことはできない。

(教職課程履修費)

第39条 教職課程を履修する者は、所定の期間内に別に定める教職課程履修費を納入しなければならない。

(他学部・他学科への聴講)

第40条 第38条第4項の規定により許可する場合は、第9条第2項の規定にかかわらず。

(教育実習)

第41条 教育実習、中学校教育実習、特別支援学校教育実習、養護教育実習及び栄養教育実習は、次表に定める先修条件科目を前年度までに修得し、かつ、当該年度中に当該免許状取得の所要資格のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

(1)幼稚園、小学校、中学校及び高等学校教育実習

種類	教科	先修条件科目
幼稚園教諭一種免許状	—	教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論
小学校教諭一種免許状		
中学校教諭一種免許状	国語	教職論、教育原論、教育心理学、国語科教育法1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
中学校教諭一種免許状	外国語「英語」	教職論、教育原論、教育心理学、英語科教育法1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
中学校教諭一種免許状	社会	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(地理歴史分野)、人権教育論
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	
中学校教諭一種免許状	音楽	教職論、教育原論、教育心理学、音楽科教育法1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
中学校教諭一種免許状	保健	教職論、教育原論、教育心理学、保健科教育法1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
中学校教諭一種免許状	家庭	教職論、教育原論、教育心理学、家庭科教育法1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
高等学校教諭一種免許状	公民	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(公民分野)、人権教育論
中学校教諭一種免許状	数学	教職論、教育原論、教育心理学、数学科教育法1、人権教育論
高等学校教諭一種免許状		
高等学校教諭一種免許状	情報	教職論、教育原論、教育心理学、情報科教育法1、人権教育論

(2)特別支援学校教育実習

種類	先修条件科目
特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)	特別支援教育総論、肢体不自由教育論、病弱教育論、知的障害教育論

(3)養護教育実習

種類	先修条件科目
養護教諭一種免許状	教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論

(4)栄養教育実習

種類	先修条件科目
栄養教諭一種免許状	教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論、学校栄養実践論、学校栄養指導論

- 2 前項(1)～(4)の教育実習を履修する者は、前年度から実施される教育実習オリエンテーションに怠りなく出席し、所定の手続きを経たうえで、当該年度当初の所定の期間内に教育実習履修登録をしなければならない。
- 3 教育実習及び中学校教育実習を履修する者のうち、中学校教諭一種免許状外国語「英語」または高等学校教諭一種免許状外国語「英語」取得希望者は、別に定める基準を前年度までに満たさなければならない。
- 4 栄養教育実習を履修する者は、当該年度に「栄養教育実習指導」を履修登録しなければならない。
- 5 教育実習を履修する者のうち、教育実習委託費が必要となる者は、所定の期間内に別に定める教育実習委託費を納入しなければならない。

(教育実習の中止)

第42条 教育実習にあたっては、次の各号に掲げる事項をすべて満たさなければならない。これに反する場合には実習を中止させることがある。

- (1) 教員になる強い意志を有すること
- (2) 教育実習に耐え得る健康体であること
- (3) 本学の指示する諸規定及び実習校(園)の定める諸規定に従うこと

(介護等体験)

第43条 小学校及び中学校の教育職員免許状の取得を希望する者は、免許状取得に係る単位取得のほか、社会福祉施設等での7日間の介護等体験をしなければならない。

- 2 介護等体験を希望する者は、介護等体験の事前指導(オリエンテーションを含む。)に怠りなく出席し、本学の指示に従わなければならない。
- 3 介護等体験を希望する者は、所定の期間内に別に定める体験費等を納入しなければならない。

第10章 管理栄養士課程

(管理栄養士課程)

第44条 学則第25条に基づき、本学に管理栄養士養成のための課程(以下「管理栄養士課程」という。)を置く。

(管理栄養士専門科目の履修)

第45条 家政学部食物栄養学科の者で、管理栄養士国家試験の受験資格を得ようとする者の単位は、本学の定める管理栄養士に関する履修科目表及び栄養士に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

(管理栄養士課程実習費)

第46条 管理栄養士課程を履修し、給食運営校外実習の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める管理栄養士課程実習費を納入しなければならない。

(給食運営校外実習事前事後指導)

第47条 給食運営校外実習を履修する者は、給食運営校外実習事前事後指導を履修しなければならない。

(臨地実習事前事後指導)

第48条 臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)、臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)、臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)、臨地実習(給食経営管理論)及び臨地実習(公衆栄養学)を履修する者は、臨地実習事前事後指導を履修しなければならない。

(校外実習・臨地実習)

第49条 校外実習及び臨地実習にかかる授業科目の履修は、それぞれ次に定める授業科目の単位をすでに修得し、かつ、当該授業科目にかかるオリエンテーションに怠りなく出席した者について、これを許可する。

給食運営校外実習
食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、

調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱの7科目

臨地実習（臨床栄養学Ⅰ）、臨地実習（臨床栄養学Ⅱ）及び臨地実習（臨床栄養学Ⅲ）

食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、給食経営管理論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、臨床栄養学の9科目

臨地実習（給食経営管理論）

食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、給食経営管理論、臨床栄養学の9科目

臨地実習（公衆栄養学）

食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、給食経営管理論、臨床栄養学、公衆栄養学の10科目

- 2 前項の実習にあたり、大学の指示する諸規定及び実習施設の定める諸規定に反する場合には、実習を中止させることがある。

第11章 博物館学芸員課程

（博物館学芸員課程）

第50条 学則第25条の2に基づき、本学に博物館学芸員養成のための課程（以下「学芸員課程」という。）を置く。

（学芸員関係科目の履修）

第51条 文学部国文学科、同史学科、家政学部生活造形学科及び現代社会学部現代社会学科の者で、学芸員資格を得ようとする者は、大学の定める学芸員に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

（学芸員課程実習費）

第52条 学芸員課程を履修し、「博物館実習Ⅱ」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める学芸員課程実習費を納入しなければならない。

（博物館実習）

第53条 博物館実習Ⅱは最終学年の者で、次に定める授業科目の単位をすでに履修し、かつ、当該年度中に所要資格取得のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

博物館概論、博物館資料論、博物館経営論、博物館情報論、博物館実習Ⅰ

（以上5科目）

第12章 社会教育主事課程

（社会教育主事課程）

第54条 学則第25条の3に基づき、本学に社会教育主事養成のための課程（以下「社会教育主事課程」という。）を置く。

（社会教育主事関係科目の履修）

第55条 発達教育学部教育学科の者で、社会教育主事となる資格（「社会教育士」の称号）を得ようとする者は、大学の定める社会教育主事に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

（社会教育主事課程実習費）

第56条 社会教育主事課程を履修し「社会教育基礎実習」、「社会教育実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める社会教育主事課程実習費をそれぞれ納入しなければならない。

第13章 1級建築士及び2級・木造建築士養成課程

（1級建築士及び2級・木造建築士養成課程）

第57条 建築士法第14条第1号に定める1級建築士試験の受験資格並びに建築士法第15条第1号に定める2級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格を得るための養成課程（以下「建築士養成課程」という。）を置く。

（建築士養成特別科目の履修）

第58条 家政学部生活造形学科の者で、1級建築士試験及び2級建築士試験・木造建築士試験の受験資格を得ようとする者は、大学の定める1級建築士及び2級建築士・木造建築士に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

（1級建築士及び2級・木造建築士課程履修費）

第59条 建築士の受験資格取得を目的として、建築士養成課程に次表のとおり「建築士養成特別科目」を置く。建築士養成特別科目をすべて履修する者は、所定の期間内に別に定める1級建築士及び2級・木造建築士課程履修費を納入しなければならない。

建築士養成特別科目	単位
建築法規	2
建築施工	2

第14章 保育士課程

（保育士課程）

第60条 学則第25条の5に基づき、本学に保育士養成のための課程（以下「保育士課程」という。）を置く。

（保育士関係科目の履修）

第61条 発達教育学部教育学科の者で、保育士となる資格を得ようとする者は、大学の定める保育士に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

（保育士課程実習費）

第62条 保育士課程を履修し、「保育実習Ⅰ」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める保育士課程実習費を納入しなければならない。

（事前・事後指導）

第63条 保育実習にかかる授業科目を履修しようとする者は、保育実習事前・事後指導（オリエンテーションを含む。）に怠りなく出席しなければならない。

（保育実習）

第64条 保育実習にかかる授業科目を履修することができる者は、次に定めるとおりとする。

- 「保育実習ⅠA」については、次の8科目の単位を修得し、「保育実習指導ⅠA」及び「社会的養護Ⅱ」について履修登録している者。保育原理、教育原論、子ども家庭福祉、社会福祉、社会的養護Ⅰ、教職論、発達心理学、障害児保育
- 「保育実習ⅠB」については、「保育実習ⅠA」の履修条件に加えて、次の5科目の単位を修得し、「保育実習指導ⅠB」及び「乳児保育Ⅱ」について履修登録している者。子どもの保健、子どもの栄養、保育・幼児教育課程論、保育内容総論、乳児保育Ⅰ
- 「保育実習Ⅱ」については、4回生前期までに開講される保育士課程の必修科目すべての単位を修得、又は履修登録している者。ただし、「保育実習指導Ⅱ」については単位を修得していること。
- 「保育実習Ⅲ」については、4回生前期までに開講される保育士課程の必修科目すべての単位を修得、又は履修登録している者。ただし、「保育実習指導Ⅲ」については単位を修得していること。

第15章 社会調査士課程

（社会調査士課程）

第65条 一般社団法人社会調査協会が認定する社会調査士養成のための課程（以下「社会調査士課程」という。）を置く。

（社会調査士関係科目の履修）

第66条 現代社会学部現代社会学科の者で、社会調査士の資格を得ようとする者は、大学の定める社会調査士に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

第16章 衣料管理士課程

（衣料管理士課程）

第67条 社団法人衣料管理協会が認定する衣料管理士（1級）養成のための課程（以下「衣料管理士課程」という。）を置く。

（衣料管理士関係科目の履修）

第68条 家政学部生活造形学科の者で、衣料管理士の資格を得ようとする者は、大学の定める衣料管理士（1級）に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

(衣料管理士資格申請手数料)

第69条 衣料管理士(1級)資格認定証の交付を受けようとする者は、所定の期間内に別に定める衣料管理士資格申請手数料を納入しなければならない。

第17章 社会福祉士課程

(社会福祉士課程)

第70条 学則第25条の7に基づき、本学に社会福祉士養成のための課程(以下「社会福祉士課程」という。)を置く。

(社会福祉士関係科目の履修)

第71条 心理共生学部心理共生学科の者で、社会福祉士国家試験の受験資格を得ようとする者は、本学の定める社会福祉士に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

(社会福祉士課程実習費)

第72条 社会福祉士課程を履修し、「ソーシャルワーク実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める社会福祉士課程実習費を納入しなければならない。

(ソーシャルワーク実習)

第73条 ソーシャルワーク実習は、「専門科目の必修科目」及び「社会福祉士に関する履修科目表に定める必修科目」のうち、2年次前期までに開講される科目の単位を修得したものにこれを許可する。

第18章 食品衛生管理者課程

(食品衛生管理者課程)

第74条 学則第25条の8に基づき、本学に食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成のための課程(以下「食品衛生管理者課程」という。)を置く。

(食品衛生管理者関係科目の履修)

第75条 家政学部食物栄養学科の者で、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を得ようとする者は、本学の定める食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

第19章 図書館司書課程

(図書館司書課程)

第76条 学則第25条の4第1項に基づき、本学に図書館司書養成のための課程(以下「司書課程」という。)を置く。

(司書科目の履修)

第77条 図書館司書となる資格を得ようとする者は、本学の定める図書館司書に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

(司書課程履修費)

第78条 司書課程を履修する者は、所定の期間内に別に定める司書課程及び学校司書課程履修費を納入しなければならない。

(図書館実習費)

第79条 司書課程を履修し、「図書館実習」の受講を許可されたものは、所定の期間内に別に定める図書館実習費を納入しなければならない。

(図書館実習)

第80条 図書館実習の受講については、最終学年の者で、図書館司書に関する必修科目および「図書館総合演習」を履修済みであることを先修条件とするが、さらに図書館司書課程委員会の許可を必要とする。

第20章 学校図書館学講座

(司書教諭)

第81条 学校図書館法に定める司書教諭を養成するために、学校図書館学講座を開講する。

(学校図書館学講座)

第82条 司書教諭の資格を得ようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得するとともに、学校図書館司書教諭講習規程に基づく次の科目を履修し単位を修得しなければならない。

司書教諭講習規程に定める科目

科目	単位	必選の別
学校経営と学校図書館	2	必
学校図書館メディアの構成	2	必
学習指導と学校図書館	2	必
読書と豊かな人間性	2	必
情報メディアの活用	2	必

2 前項に定める単位の修得方法は、本学の定める学校図書館学講座要項によらなければならない。

(学校図書館学講座受講料)

第83条 学校図書館学講座を受講する者は、所定の期間内に、別に定める受講料を納入しなければならない。

第21章 公認心理師課程

(公認心理師課程)

第84条 学則第25条の9に基づき、本学に公認心理師養成のための課程(以下「公認心理師課程」という。)を置く。

(公認心理師関係科目の履修)

第85条 心理共生学部心理共生学科の者で、公認心理師国家試験の受験資格を得ようとする者は、本学の定める公認心理師に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

(公認心理師課程実習費)

第86条 公認心理師課程を履修し、「心理実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める公認心理師課程実習費を納入しなければならない。

(心理実習)

第87条 心理実習は、次に定める授業科目の単位をすべて修得したものであることについてこれを許可する。

心理学概論、臨床心理学概論、心理的アセスメント、心理学的支援法、人体の構造と機能及び疾病、精神疾患とその治療、心理演習(以上7科目)

第22章 スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程

(スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程)

第88条 学則第25条の10に基づき、本学にスクールソーシャルワーカー養成のための課程(以下「スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程」という。)を置く。

(スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程関係科目の履修)

第89条 心理共生学部心理共生学科の者で、スクールソーシャルワーカーの資格を得ようとする者は、本学の定めるスクール(学校)ソーシャルワーク教育課程に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

(スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程実習費)

第90条 スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程を履修し、「スクールソーシャルワーク実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定めるスクール(学校)ソーシャルワーク教育課程実習費を納入しなければならない。

(スクールソーシャルワーク実習)

第91条 スクールソーシャルワーク実習は、別に定める条件を満たしたものであることについてこれを許可する。

第23章 日本語教師課程

(日本語教師課程)

第92条 学則第25条の10に基づき、本学に日本語教師養成のための課程(以下「日本語教師課程」という。)を置く。

(日本語教師関係科目の履修)

第93条 日本語教師課程修了証を得ようとする者は、本学の定める日本語教師に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

(日本語教師課程実習費)

第94条 日本語教師課程を履修し、「日本語教育実習」の履修登録を

する者は、所定の期間内に別に定める日本語教師課程実習費を納入しなければならない。

(日本語教育実習)

第95条 日本語教育実習の履修は、次に定める授業科目の単位をすでに修得した者について、これを許可する。

日本語教育入門、言語と教育、日本語の構造（以上3科目）

第24章 学校司書課程

(学校司書課程)

第96条 学則第25条の4の第3項に基づき、本学に学校司書養成のための課程（以下「学校司書課程」という。）を置く。

(学校司書関係科目の履修)

第97条 学校司書課程修了証を得ようとする者は、本学の定める学校司書に関する履修科目表に従って単位を修得しなければならない。

(学校司書課程実習費)

第98条 学校司書課程を履修する者は、所定の期間内に別に定める司書課程及び学校司書課程履修費を納入しなければならない。

第25章 雑則

(規則の改廃)

第99条 この規則の改廃は、大学評議会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

- 1 この規則は、令和7年4月1日現在在籍している学生から施行する。ただし、第3条、第4条、第9条第6項、第7項、第8項、第9項、第58条及び第59条については、令和7年度入学生より適用する。
- 2 この規則の施行日をもって、京都女子大学履修要項（昭和53年4月1日制定）は廃止する。

V. 京都女子大学の教育目標

京都女子大学の教育目標 —各学科の教育目標—

文学部国文学科の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

国文学や国語についての鋭敏な感性と高度な専門知識とを有し、高い水準の日本語運用能力を発揮して、他者を尊重しながら主体的に課題解決を図り社会の価値創造に取り組む女性を養成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

「京都女子大学 学位授与の方針」「国文学科 人材養成・教育研究上の目的」に基づき、卒業までに身につけるべき能力・資質として下記5項目を設定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものと、学位を授与します。

(1) [知識・理解]

- ①国文学・漢文学及び国語学について、専門的知識を有している。
- ②国文学及び国語の諸相について、幅広く深く理解している。

(2) [汎用的スキル]

- ①文章の読解・作成や種々の表現活動において、高度な日本語運用ができる。
- ②多様な情報を効率的に収集・分析し、課題解決・価値創造のために適切に活用できる。

(3) [思考力・判断力]

- ①主体的に課題を発見し、その解決に向けて、多角的な視野のもとで批判的・論理的に思考しつつ、柔軟に判断することができる。
- ②文学や言語に関わる様々な文化現象に対して、鋭敏な感性を備えている。

(4) [対話・協働性]

他者を尊重しながら、状況に応じた効果的に論理的な対話を通じて相互理解に努め、国文学・漢文学及び国語学に関する専門的知識・理解や技能などを活用して、多様な人々と協働することができる。

(5) [主体性]

自ら目標を設定し、その目標に向かって自立的に学び、主体的に取り組むことができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

「国文学科学位授与の方針」に掲げる能力・資質を身につけるため、「京都女子大学教育課程編成・実施の方針」に基づき教育課程を体系的に編成し、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系性・構造を明示する。

(1) [知識・理解]

- ①1年次では、古典文学を正確に読むために必須となる古典文法を学び直すとともに、国文学史・国語史さらには講読科目等において、国文学・国語学に関する基礎的知識を身につける。
- ②2年次では、講読科目等発展的講義や、1セメスターあたり1つの分野を選択した演習科目で、古代から現代までの国文学や国語学の理解を深める。この2年次演習科目では、京都の風土についても実地に学ぶ。
- ③3年次では、講読科目等発展的講義や、国文学・国語学の、各時代・分野の中から2つのゼミを選択した演習科目で、国文学・国語学の理解をさらに深めていく。また3年次以降の特殊講義科目において、高度の専門的テーマについて最新の研究成果を学ぶ。
- ④4年次では、1つの分野に絞った演習科目で、さらに一段と専門性の高い知識を修得する。

(2) [汎用的スキル]

- ①文章の読解・作成の高度な日本語運用力を身につけるため、講読科目と特殊講義科目とを体系的に配置する。
- ②課題に関連するデータを効果的に選定・収集・処理し、適切に分析・評価した結果を基に課題解決・価値創造に向け提案できる力を身につけるため、特に演習科目を体系的に配置する。

(3) [思考力・判断力]

- ①特に演習科目で、収集した用例や先行研究分析を通して、取り組むべき課題を論理的思考力と多角的な視野によってとらえ、客観的事実に基づきつつ柔軟に検証・判断する能力を養う。
- ②作品や用例等、様々な言語事象の分析を通して、日本語・日本文化が育んできた感性を鋭敏に感じ取れるようにする。

(4) [対話・協働性]

- ①国文学・漢文学及び国語学に関する専門的知識・理解や技能などを

活用して、演習科目や卒業論文指導における双方向のきめ細かい指導を通して、社会の規範に従って行動する態度を培う。

- ②1年次から4年次まで開講する演習科目で、主体的にデータ選定・収集・分析・検討する発表や質疑応答を通して、他者を尊重しながら、論理的なコミュニケーションによって相互理解・調整に努め、様々な人々と協働できる力を身につける。

(5) [主体性]

4年次の卒業論文を必修とし、それまでに積み重ねた学びの集大成として、自ら設定した研究目標に主体的に取り組み、指導教員のきめ細かな指導によって、学生が課題解決・価値創造に向けた方策を主体的に考案し、高度な日本語論文執筆力を養成する。

(6) [評価方法]

学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準（試験、レポート、平常点）を用いて評価する。さらに、成績分析や卒業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

次に掲げる基礎的学力、素養、意欲等を備えた学生を求めます。

- (1) 国語と国文学あるいは歴史や日本文化に強い興味と関心とを抱いていて、関連する基礎的な教科の学びを実質的に修得できており、知識・技能、思考力・判断力・表現力を身につけている。
- (2) 得られた知識や情報を基にして、論理的・多角的に考えることができ、その結果を活用していくことへの関心がある。
- (3) 客観的事実に基づく検証・判断の大切さを理解し、多角的な視野をもとうとする姿勢がある。
- (4) 社会規範を尊重することの大切さに理解をもち、他者とのつながりに関心を持っており、相互理解や調整にとりくもうとする意欲がある。
- (5) 自ら主体的に学び、創造的役割を果たす人間へと成長していこうとする意志をもっている。

文学部英語文化コミュニケーション学科の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

世界で広く用いられている英語と英語圏の文化について専門知識や理解を深め、立場の異なる他者との日英双方の言語によるコミュニケーション能力を養うことで、批判的・論理的な思考を展開できる、責任感と品位のある女性を養成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

「京都女子大学 学位授与の方針」「英語文化コミュニケーション学科 人材養成・教育研究上の目的」に基づき、卒業までに身につけるべき能力・資質として下記5項目を設定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものと、学位を授与します。

(1) [知識・理解]

- ①英語や英語圏の文化について、十分な専門的知識や理解、及び技能を有している。
- ②人文、社会、自然科学などに対する幅広い教養を有している。

(2) [汎用的スキル]

- ①日本語を正確に理解し表現できる。
- ②十分な実用的英語運用ができる。

(3) [思考力・判断力]

- ①主体的で批判的、かつ合理的な思考を展開できる。
- ②英語や英語圏文化の知識と理解等に拠りつつ、広い視野と根拠に基づいて判断できる。

(4) [対話・協働性]

- ①様々な状況に応じた適切な表現や理解、態度によって対話ができる。
- ②対話や議論を通して、他者（異文化も含め）との相互理解や協調に努めることができる。

(5) [主体性]

- ①専門的な知識や技能、及び自らの個性や能力を活かして主体的に行動できる。
- ②卒業後も生涯を通じて学び続けられるよう、自立的な学習能力を身

につけている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

「英語文化コミュニケーション学学位授与の方針」に掲げる能力・資質を身につけるため、「京都女子大学教育課程編成・実施の方針」に基づき教育課程を体系的に編成し、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系性・構造を明示する。

(1) [知識・理解]

- ① 1、2年次の英語スキル系科目で、言語としての英語そのものに対する知識や理解を深める。
- ② 専門科目を通じて、英語圏の文化に対する深い知識を身につける。
- ③ 英語圏の文化を理解することで、多様な文化に対する柔軟で寛容な態度を養う。
- ④ 卒業論文の執筆において主体的に調査し、他の学生や担当教員と対話をするなどして、自ら選んだテーマについて、より深い知識や理解を身につける。

(2) [汎用的スキル]

- ① 英会話や英文読解、英作文などのスキル系科目を通じて、英語での高度なコミュニケーション能力を身につける。
- ② 1年生からの演習科目を通じて、課題に対して効果的にデータを収集し、適切に利用するといった基礎的な学問的能力を身につける。
- ③ 1年生から段階的に配置されている専門科目を通じて、英語圏の様々な文化を理解し、多様性に対する柔軟な態度を身につける。

(3) [思考力・判断力]

- ① 1、2年生の演習科目におけるレポートの作成や口頭発表を通じて、一定のテーマの元に調査し考える能力や、その場に応じた適切な判断をする力を養う。
- ② 3、4年生での卒業論文の執筆において、学生が自ら課題を設定し、資料を収集、取捨選択し、テーマに沿って自分の思考を文章化していく能力を高める。

(4) [対話・協働性]

- ① 全学年に配置されている少人数の演習科目において、グループで発表をするなどの課題を通じて、他の学生と対話し、協調しながら作業を進めていく能力を養う。
- ② 英語のスキル系科目や演習科目などの少人数クラスで、様々な指導の段階において担当教員と対話を重ねることで、立場の違う他者と意思疎通を図る能力を高める。

(5) [主体性]

- ① 英語圏への留学やその準備を通じて、主体的に考え、責任ある行動をする能力を養う。
- ② 英語や英語圏の文化を理解することで、日本語や日本の文化、日本人としての自分を省察し、主体的な自己を確立する。
- ③ 卒業論文の執筆において、主体的にテーマを設定し、調査、執筆していく力を高める。

(6) [評価方法]

学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準（試験、レポート、平常点）を用いて評価する。さらに、成績分析や卒業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

次に掲げる基礎的学力、素養、意欲等を備えた学生を求めます。

- (1) 世界で広く用いられている英語と英語圏の文化に強い興味と関心を抱き、関連する教科の学びを実質的に修得できており、知識や技能、及び思考力や判断力、表現力を身につけている。
- (2) 英語と英語圏を中心とした地域の文化、及び歴史に関心をもち、幅広い経験を通して学んでいる。
- (3) 主体性や多様性、協調性を身につけている。
- (4) 修得した知識や技能を用いて、社会に貢献する意欲がある。

文学部史学科の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

歴史学の専門知識と幅広い教養及び技能を身につけ、批判的・論理的な思考力、合理的な判断力を養い、自ら学び続ける力を持つ女性を養成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

「京都女子大学 学位授与の方針」[史学科 人材養成・教育研究上の目的]に基づき、卒業までに身につけるべき能力・資質として下記5項目を設定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものとして、学位を授与します。

定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものとして、学位を授与します。

(1) [知識・理解]

- ① 歴史学について、基礎的な知識・理解を有している。
- ② 専門分野を超えた幅広い知識を有している。
- ③ 宗教に対する正しい知識と理解を有している。

(2) [汎用的スキル]

- ① 現代日本語を正確に理解・運用することができる。
- ② 日本語以外の言語を用いて、効果的なコミュニケーションができる。
- ③ 現代日本語以外の言語（古語を含む）を読み解くことができる。
- ④ 数量データを含む多様な情報を、目的に応じた方法で収集・分析・活用できる。

(3) [思考力・判断力]

- ① 批判的・論理的にものごとを考慮することができる。
- ② 信頼できる情報にもとづき、合理的な判断をすることができる。

(4) [対話・協働性]

- ① 様々な状況に応じ、適切な形で対話ができる。
- ② 他の人と協働して目標の達成に取り組むことができる。

(5) [主体性]

- ① 自ら課題を見つけ、積極的に行動できる。
- ② 自らをケアし、持続的に行動できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

「史学科学位授与の方針」に掲げる能力・資質を身につけるため、「京都女子大学教育課程編成・実施の方針」に基づき教育課程を体系的に編成し、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系性・構造を明示する。

(1) [知識・理解]

1年次の概論科目及び2年次以降の特殊講義によって歴史学の基礎的な知識を学び、理解を深めます。また、教養科目やオープン科目の履修を通じて専門分野を超えた幅広い知識を修得し、仏教学で宗教に対する正しい知識と理解を身につけます。

(2) [汎用的スキル]

各年次の演習科目における口頭発表及び配布資料・レポートの作成及び卒業論文の執筆を通じて、現代日本語の正確な理解と運用の力と様々な情報の収集・分析・活用能力を身につけます。また、言語コミュニケーション科目によって日本語以外の言語を用いたコミュニケーション能力を修得します。史料を読解するために必要な現代日本語以外の言語（古語を含む）を読み解く力は、おもに2年次以降の講読科目で修得します。

(3) [思考力・判断力]

各年次の演習科目では、確かな情報に基づき、批判的・論理的に思考し、合理的な判断を下すという一連の流れを実践を通じて学びます。

(4) [対話・協働性]

各年次の演習科目でおこなわれる討論や協働作業を通じて、状況に応じた対話能力と他の人と協働する力を養います。

(5) [主体性]

各年次の演習科目及び卒業論文では、自ら課題を見出し、自分の力でその解明を目指します。また、健康科学科目では、自らをケアし、持続的に行動できる知識を学びます。

(6) [評価方法]

学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準（試験、レポート、平常点）を用いて評価する。さらに、成績分析や卒業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

次に掲げる基礎的学力、素養、意欲等を備えた学生を求めます。

- (1) 歴史に強い興味と関心を抱き、関連した基礎的な教科の学びを身につけており、世界の政治や経済、歴史・文化に関心をもっている。
- (2) 自己の考えを論理的に表現・説明するのに必要な現代日本語を理解し、運用することができる。また、歴史学の学びに必要な、現代日本語以外の言語（古語を含む）を修得したいという意欲がある。
- (3) 修得した知識や情報を基にして、論理的・多面的に考え、その結果を活用していくことに関心がある。
- (4) 他者と十分なコミュニケーションを図り、互いに協力しながら課題に取り組んでいく姿勢がある。
- (5) 自ら主体的に学びに取り組み、そこで修得した能力を社会で活かしたいという意欲がある。

発達教育学部教育学科の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

子どもから大人までの学びと育ち、及びその支援に関する幅広い教養と専門知識を身につけ、教育・保育機関や地域社会、民間企業等の様々な現場で、他者と共に未来を創り社会に貢献できる女性を育成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

「京都女子大学 学位授与の方針」[教育学科 人材養成・教育研究上の目的]に基づき、卒業までに身につけるべき能力・資質として下記5項目を設定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものと、学位を授与します。

(1) [知識・理解]

- ①教育学に関する専門的な知識・理解を有している。
- ②子どもから大人までの学びと育ち、及びその支援に関する幅広い知識を有している。

(2) [汎用的スキル]

- ①言語を正確に理解・運用することができる。
- ②多様な情報を、目的に応じた方法で収集・分析・活用できる。

(3) [思考力・判断力]

批判的・論理的なものごとを考え、合理的な判断をすることができる。

(4) [対話・協働性]

目標の達成に向けて、様々な人と対話・協働することができる。

(5) [主体性]

自ら課題を見つけ、自らをケアしつつ、積極的・持続的に行動できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

「教育学科学位授与の方針」に掲げる能力・資質を身につけるため、「京都女子大学教育課程編成・実施の方針」に基づき教育課程を体系的に編成し、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系性・構造を明示する。

(1) [知識・理解]

①1年次においては、教育学に関係する卒業必修科目である「教育原論」「教職論」などを中心に、教育学を学ぶための基盤を養う。2年次以降は、自分の関心や将来像に応じて、幼児教育、学校教育、音楽教育、特別支援教育、社会教育などを体系的に学び、専門的な知識・理解を得る。

②1年次と2年次の「発達教育学演習Ⅰ」「発達教育学演習Ⅱ」において、子どもから大人までの学びと育ち、及びその支援に関する7つの専門分野（「保育探究」「児童文化」「教育探究」「授業探究」「インクルーシブ教育」「音楽探究」「生涯教育」）について幅広く学ぶ。さらに、2年次以降も、子どもから大人までの学びと育ち、及びその支援に関して幅広く学ぶ。

(2) [汎用的スキル]

①1年次の「発達教育学入門演習」で言語の理解・運用について学ぶほか、様々な科目における課題への取り組みを通して、直接的・間接的に、言語を理解し運用する能力を育む。

②1～4年次の様々な科目における学習への主体的な取り組みを通して、多様な情報を目的に応じた方法で収集・分析・活用する力を身につける。「発達教育学研究Ⅰ」「発達教育学研究Ⅱ」などの科目においては、情報の収集・分析・活用を通して、卒業研究に取り組む。

(3) [思考力・判断力]

子どもから大人までの学びと育ちに関する、1年次から4年次までの様々な科目を通じて、様々な情報や考えをもとに、既存の枠組みにとらわれない批判的・論理的に考え、合理的な判断ができる能力を養う。

(4) [対話・協働性]

子どもから大人までの学びと育ちに関する様々な科目を通じて、様々な人々を取り巻く状況や現代社会における多様な問題について学びながら、意見の異なる他者との意見交換を重ね、多様性を尊重した上で対話できる力を身につける。さらに、様々な科目でのグループワークや協働作業を通じて、多様な人々の特徴を生かしつつ協働できる力を身につける。

(5) [主体性]

1年次から4年次まで開講する講義や演習科目において、自ら課題を見つける経験を重ねながら、「発達教育学研究Ⅲ」「発達教育学研究Ⅳ」と卒業研究を集成として、自ら設定した研究目標に主体的に取り組む力を培う。

(6) [評価方法]

学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準

(試験、レポート、平常点)を用いて評価する。さらに、成績分析や卒業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

次に掲げる基礎的学力、素養、意欲等を備えた学生を求めます。

- (1) 子どもから大人までの学びと育ちに強い興味と関心を抱いている。
- (2) 適切に収集した情報を用いて、自己の考えを論理的に表現することに関心がある。
- (3) 解決すべき課題を主体的に発見し、広い視野と根拠に基づいて判断することに関心がある。
- (4) 他者を尊重しながら相互理解・調整に努め、様々な人々と協働していこうとする姿勢がある。
- (5) 社会における多様な問題への関心や知的好奇心を持ち、生涯にわたって主体的に学び続ける意欲を持っている。

心理共生学部心理共生学科の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

心理共生学に関する教育・研究を通じて、対人援助に関する知識と技能、エビデンスに基づいて実践する力を身につけ、学校、病院、企業、行政等をはじめとした社会の様々な場面で、心理共生学の専門知識を活かしてウェルビーイングの向上や共生社会の構築に貢献できる女性を養成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

「京都女子大学 学位授与の方針」[心理共生学科 人材養成・教育研究上の目的]に基づき、卒業までに身につけるべき能力・資質として下記5項目を設定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものと、学位を授与します。

(1) [知識・理解]

ウェルビーイングの向上や共生社会の構築に取り組むにあたって基盤となる、心理学、社会福祉学、養護保健学等の心理共生学に関する専門的知識を有している。

(2) [汎用的スキル]

- ①課題に関する量的・質的データ等の解析を通して科学的根拠に基づく解決策を策定できる。
- ②対人援助技法をウェルビーイングの向上に活用できる。

(3) [思考力・判断力]

分野横断的視野と科学的根拠に基づいて合理的に判断できる。

(4) [対話・協働性]

他者を尊重しながら、論理的なコミュニケーションによって相互理解・調整に努め、様々な人々と協働できる。

(5) [主体性]

- ①自ら目標を設定し、目標に向かって主体的に取り組むことができる。
- ②社会の一員としての自覚を持ち、自己の良心と社会の規範に従って行動できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

「心理共生学科学位授与の方針」に掲げる能力・資質を身につけるため、「京都女子大学教育課程編成・実施の方針」に基づき教育課程を体系的に編成し、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系性・構造を明示する。

(1) [知識・理解]

1～2年次前期までは、ウェルビーイングの向上や共生社会の構築に資する人材としての基盤となる、心理学、社会福祉学、養護保健学等の基礎的知識を身につけるため「学部基盤科目」及び「専門基礎科目」を設定する。学部基盤科目では、カウンセリングマインドや福祉マインド及び健康科学に関する基礎的素養を身につけるとともに対人援助職の職責の違いを学ぶ。専門基礎科目では、心理学の主要領域や研究法、「人」「環境」「人と環境の相互作用」に関する理論、ソーシャルワーク実践、幼児期から青年期における心理、学校保健・医学の基礎的知識を学ぶ。2年次後期以降は、対人援助に関するより高度な専門知識・技能や、収集・分析したデータに基づき課題解決する力を養うことを目的とした「専門発展科目」を配置する。学生が自身の関心や将来像に応じて、履修モデルやカリキュラム・ツリーを参考としながら、体系的に専門性を積み上げる教育課程とする。

(2) [汎用的スキル]

心理共生学部共通の汎用的スキルとして、情報技術を用いてデータを適切に処理・分析する基礎的能力を演習を通して獲得する。心理学領域

においては、データ収集・分析などの基本的なデータサイエンスの知識を駆使して、課題解決方策を提案できる力及びエビデンスに基づき心理的支援を実践するための科目を配置する。社会福祉領域では、ウェルビーイング向上に向けて、個人のストレスやレジリエンシーに気づくために様々な情報を収集・分析できるアセスメント能力を養い、科学的根拠に基づくアプローチを実践するための科目を配置する。養護保健領域では、学校保健分野と連動し実践的な指導力を高めるとともに、保健の分野のみならず児童生徒の人間の成長を、心理学・福祉学分野を包括したグローバルな視点からサポートするための科目を配置する。

(3) [思考力・判断力]

1年次から4年次まで開講する演習科目を通して、物事を複数の視点から考えて統合する力や、未知の現象や困難な状況にあっても専門的知識・技能を活かし、事実に基づき科学的に対処できる能力を養う。

(4) [対話・協働性]

1年次から4年次まで開講するPBL (Problem Based Learning) 型の演習科目や各領域に配置する対人援助に関わる実践演習では、グループワークを通して、他者を尊重しながら論理的なコミュニケーションによって相互理解・調整に努め、様々な人々と協働できる力を身につける。「心理共生実践」では、人間や人間関係について深い関心を持つとともに、個性や多様性を尊重しつつ他者と積極的にコミュニケーションできる力を多職種連携教育の枠組みで養う。

(5) [主体性]

建学科目群の「仏教学」や共通科目群に配置された「ジェンダー科目」「教養科目」等を通して、仏教精神に根差す高い倫理観と市民に必要とされる幅広い教養、より良き市民としての社会的責任感を醸成する。演習科目や卒業研究における双方向の指導を通して社会の規範に従って行動する態度、様々な価値観を持つ人々とチームを組む中で必要に応じてリーダーとなりフォロワーとなるメンバーシップを発揮することができる力を養う。また、卒業研究を必修とし、自ら設定した目標に対して主体的に取り組む能力の確立を目指すとともに、社会の多様な課題の解決に他者と連携しながら、能動的に貢献できる能力を培う。

(6) [評価方法]

学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準(試験、レポート、平常点)を用いて評価する。さらに、成績分析や卒業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

入学者受入れの方針 (アドミッションポリシー)

次に掲げる基礎的学力、素養、意欲等を備えた学生を求めます。

- 1) 専門教育と関連した基礎的な教科の学びを身につけている。
- 2) 得られた知識や情報を基にして、論理的・多角的に考え、その結果を活用していくことに関心がある。
- 3) 他者と十分なコミュニケーションを図り、互いに協力しながら課題に取り組んでいく姿勢がある。
- 4) 心理学、社会福祉学、養護・保健学と社会のつながりに対する関心を持っており、主体的に大学での学びに取り組む、そこで修得した能力を社会で活かしたいという意欲がある。
- 5) 自ら主体的に学び、各分野で創造的役割を果たす人間へと成長していくこととする意志を持っている。

家政学部食物栄養学科の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

食物栄養学に関する教育・研究を通じて、食・栄養・健康に関する専門知識・理解を深め、病院、福祉施設、保育所、給食施設、保健所、学校、行政、企業など社会の様々な場面で、学びの成果を活かし、課題解決に貢献できる女性を養成します。

学位授与の方針 (ディプロマポリシー)

「京都女子大学 学位授与の方針」「食物栄養学科 人材養成・教育研究上の目的」に基づき、卒業までに身につけるべき能力・資質として下記5項目を設定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものと、学位を授与します。

(1) [知識・理解]

- ①食物栄養学の分野について、基礎的な知識・理解・技能を有している。
- ②専門分野を超えた幅広い知識を有している。

(2) [汎用的スキル]

- ①日本語を正確に理解・運用することができる。
- ②日本語以外の言語を用いて、効果的なコミュニケーションができる。
- ③数量データを含む多様な情報を、目的に応じた方法で収集・分析、

活用できる。

(3) [思考力・判断力]

- ①批判的・論理的なものごとを考えることができる。
- ②食物栄養学の知識・理解等に拠りつつ、広い視野と根拠に基づいて判断できる。

(4) [対話・協働性]

- ①様々な状況に応じ、適切な形で対話ができる。
- ②他の人と共同して目標の達成に取り組むことができる。

(5) [主体性]

- ①自ら課題を見つけ積極的に行動できる。
- ②自らをケアし、持続的に行動できる。

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラムポリシー)

「食物栄養学科学学位授与の方針」に掲げる能力・資質を身につけるため、「京都女子大学教育課程編成・実施の方針」に基づき教育課程を体系的に編成し、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系的・構造を明示する。

(1) [知識・理解]

1年次では、食と健康に関する科目を理解していくために必要な基礎的知識を身につけます。また発展的講義で管理栄養士に関する科目の専門基礎分野の学びを始めていきます。2年次以降では、発展的講義で専門基礎分野に加えて専門分野も開始し、管理栄養士に関する科目(専門基礎分野・専門分野)の学びを深めていきます。

(2) [汎用的スキル]

日本語を正確に理解・運用することができる力及び数量データを含む多様な情報を目的に応じた方法で収集・分析、活用できる力を身につけるため、実験系・実習系科目及び卒業研究に関わる科目を配置しています。日本語以外の言語を用いて、効果的なコミュニケーションができる力を身に付けるための科学系の英語科目を配置しています。

(3) [思考力・判断力]

実験・実習系科目を通して、主体的に調査・実験し、考える力、批判的・論理的なものごとを考えることができる能力及び食物栄養学の知識・理解等に拠りつつ、広い視野と根拠に基づいて判断できる能力を身につけます。

(4) [対話・協働性]

個々の将来の活躍の場を想定し、「臨床栄養」、「健康教育」、「研究開発」の3系列の中から1つを選択して講義を受け、校外実習や臨地実習を行い、さらに、卒業研究に備えた講義を受けることにより、様々な状況に応じ、適切な形で対話ができる力を身につけ、他の人と共同して目標の達成に取り組むことができる能力を身につけます。

(5) [主体性]

卒業研究を必修とし、それまでに積み重ねた学びの集大成として、自ら設定した研究目標に主体的に取り組む、指導教員の指導によって、課題解決・価値創造に向けた方策を主体的に考案し、プレゼンテーションする力を身につけます。

(6) [評価方法]

学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準(試験、レポート、平常点)を用いて評価する。さらに、成績分析や卒業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

入学者受入れの方針 (アドミッションポリシー)

次に掲げる基礎的学力、素養、意欲等を備えた学生を求めます。

- 1) 食・栄養・健康に強い興味と関心とをもち、関連する教科の学びを実質的に修得できており、知識・技能、思考力・判断力・表現力を身につけている。
- 2) 食・栄養・健康にとどまらず、社会に関心とをもち、幅広い経験を通して学んでいる。
- 3) 生物と化学に関する基本的な知識がある。
- 4) 主体性や多様性、協調性を身につけている。
- 5) 修得した知識・技能を用いて社会に貢献する意欲がある。

家政学部生活造形学科の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

快適な生活環境について、「文化・意匠」「ファッション・繊維」「建築・インテリア」の視点からデザイン(知識・論理的思考に基づく判断・構想・計画・提案を統合的に行うこと)できる女性を養成します。

学位授与の方針 (ディプロマポリシー)

「京都女子大学 学位授与の方針」「生活造形学科 人材養成・教育研究

上の目的」に基づき、卒業までに身につけるべき能力・資質として下記5項目を設定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものとして、学位を授与します。

(1) [知識・理解]

- ①生活に関わる社会の課題を分析し解決に向けた提案を行うにあたり、その背景・根拠となる専門的知識・技能を有している。
- ②京都で学ぶ学生として伝統文化への深い知識・理解を有している。

(2) [汎用的スキル]

- ①課題に関連するデータを収集し、分析することができる。
- ②分析した内容について論理的に整理し、解決に向けた提案へと結びつけることができる。
- ③提案を視覚的・言語的に表現し、わかりやすくプレゼンテーションすることができる。

(3) [思考力・判断力]

- ①専門的知見・実証データにもとづき、論理的に思考・判断することができる。
- ②機能性・安全性・材料特性・環境負荷・審美性・市場性・歴史文化等を総合的に分析・調整したうえで提言・デザインができる。

(4) [対話・協働性]

- ①地域や社会の中で、その課題に対し地域や関係者に寄り添いながら解決に向けて取り組むことができる。
- ②異なる価値観を尊重し、相互理解と調整に努め、他者と協働しながら課題解決に向けて取り組むことができる。

(5) [主体性]

- ①教員の指導を受けながら、課題解決に向けて自律的主体的に取り組むことができる。
- ②地域・社会の中で自らの役割を見つけ、その責任の範囲で主体的に取り組むことができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

「生活造形学学位授与の方針」に掲げる能力・資質を身につけるため、「京都女子大学教育課程編成・実施の方針」に基づき教育課程を体系的に編成し、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系性・構造を明示する。

(1) [知識・理解]

1年次前期は生活造形学について広く学び、社会におけるデザインとは個人の感性によるものではなく、さまざまな知見や実証的データに基づくものであることを理解します。そのうえで1年次後期から2年次までは、それぞれの興味に応じて3領域の基礎的専門知識・技能を身につけます。3年次以降は、希望する専門分野を絞って高度な知識・技能を身につけます。また京都で学ぶ学生として、1～3年次前期で京都の伝統文化に関する知識を学び、3年次後期～4年次で伝統文化の保存・プロデュースについて習得する。

(2) [汎用的スキル]

1・2年次では、それぞれの実習・実験・演習において各専門分野の基礎的スキルを習得します。3年次には、講義で得た知識を実習・実験に活かすことで技能の応用力を身につけます。同時に、視覚的に表現するプレゼンテーション能力を磨きます。4年次には、各自で見つけた課題に対し、論理的に分析しその結果を視覚的に表現し提案するという一連の流れを経験します。

(3) [思考力・判断力]

1・2年次では、思考・判断の根拠となる専門的知識について習得します。3・4年次では、1・2年次に身につけた機能性・安全性・材料特性・環境負荷・審美性・市場性・歴史文化等にかかわる専門知識にもとづき、課題を分析したうえで提言・デザインする能力を習得します。

(4) [対話・協働性]

1～3年次で身につけた知識・技能を活かし、4年次では、地域や社会に潜む「生活」に関する課題に対し、地域や企業の関係者、隣接領域の研究者と対話しながら解決の糸口を見つけ、ときには協働しながら提案をおこないます。

(5) [主体性]

1～3年次の実習では、与えられた課題に対し各自でコンセプトを立てて思考し、自律的にものづくり提案をおこなう力を養います。4年次では教員の指導のもとに、課題解決に向けて自律的主体的に取り組めます。また地域・社会の中にあつては、自らの役割を見つけその責任の範囲で主体的に課題に取り組めます。

(6) [評価方法]

学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準（試験、レポート、平常点）を用いて評価する。さらに、成績分析や卒

業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

次に掲げる基礎的学力、素養、意欲等を備えた学生を求めます。

- (1) 生活造形（造形意匠＜デザイン＞、アパレル造形、空間造形）に対する強い関心を持ち、関連する教科の学びを実質的に修得できている。
- (2) 生活造形にとどまらず、人間の生活や社会に関心を持ち、幅広い経験を通して学んでいる。
- (3) 主体性や多様性、協調性を身につけている。
- (4) 修得した知識・技能を用いて社会に貢献する意欲がある。

現代社会学部現代社会学科の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

多角的な視野と専門的な知識・技能を基礎として、現代社会について批判的に考察する力を養います。多様な価値観を持つ他の人々と対話・協働しながら、現代社会の諸問題の解決に主体的に取り組むことができる女性を育成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

「京都女子大学 学位授与の方針」「現代社会学科 人材養成・教育研究上の目的」に基づき、卒業までに身につけるべき能力・資質として下記5項目を設定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものとして、学位を授与します。

(1) [知識・理解]

- ①現代社会の諸課題に取り組むうえで求められる専門的知識・理解を有している。
- ②人文・社会科学から情報・自然科学まで、幅広い分野についての基礎的知識・理解を持ち、現代社会について多角的に考察する分野横断的な視野を有している。

(2) [汎用的スキル]

- ①日本語を正確に理解・運用することができる。
- ②英語によるコミュニケーション能力、社会調査・分析のスキル、情報通信技術（ICT）の活用スキルといった、現代社会において求められる技能や能力を有している。

(3) [思考力・判断力]

- ①現代社会の諸問題について、批判的・論理的に考えることができる。
- ②現代社会の諸問題について、信頼できる情報にもとづき、合理的な判断をすることができる。

(4) [対話・協働性]

- ①様々な状況に応じ、適切な形で対話ができる。
- ②他の人と協働して目標の達成に取り組むことができる。

(5) [主体性]

- ①自ら課題を見つけ、積極的に行動できる。
- ②自らをケアし、持続的に行動できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

「現代社会学科学位授与の方針」に掲げる能力・資質を身につけるため、「京都女子大学教育課程編成・実施の方針」に基づき教育課程を体系的に編成し、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系性・構造を明示する。

(1) [知識・理解]

1年次では、人文・社会科学から情報・自然科学までの幅広い分野について、導入科目とアプローチ科目を履修し、現代社会を理解するうえで必要な基礎的知識を修得します。2年次からは「文化・心理」「家族・地域」「経済・ビジネス」「環境・公共」「政治・国際関係」の5コースのいずれかを選択し、体系的に配置されたコース科目群を履修して専門的知識を修得するとともに、自分の選択したコース以外からも専門科目を履修することにより、現代社会の諸問題について多角的に考察する分野横断的な視野を獲得します。

(2) [汎用的スキル]

1年次後期から3年次まで体系的に配置された英語・調査・情報の3領域からなるスキル科目を選択し、現代社会で求められる技能や能力を修得します。英語系のスキル科目では、専門文献の講読や語学研修を通じて英語運用能力を高めます。調査系のスキル科目では、現代社会を的確に把握するための社会調査のスキルを修得します。情報系のスキル科目では、情報通信技術（ICT）を活用するスキルを修得します。また演習科目や講義科目における能動的な学びを通じて、正確な日本語を運用

する能力を育成します。

(3) [思考力・判断力]

1年次から4年次まで少人数制の演習科目を履修し、現代社会の諸問題に対するアクティブ・ラーニングを実践します。1年次前期のゼミでは、基本的なアカデミック・スキルを修得し、1年次後期から2年次後期までは、1セメスターあたり1つのテーマに関するゼミを選択して学びの領域を広げていきます。3年次から4年次にかけては、卒論作成に向けて各自の関心に応じたゼミを選択し、専門的な学びを進展させます。これら演習科目やその他の講義科目における能動的な学びを通じて、現代社会の諸問題について論理的に思考し、また合理的に判断する力を養います。

(4) [対話・協働性]

演習科目と講義科目において、プレゼンテーションやディスカッション、またグループワークなどを行い、他の人々との対話・協働を通じて現代社会の諸問題について深く考察し、その解決に向けて取り組むことを学びます。また、現代社会の多様な考え方や価値観に触れるなかで、他の人々との対話や協働のあり方とその必要性について理解を深めます。

(5) [主体性]

演習科目と講義科目において、自発的に課題を発見し、その解決に向けて取り組む力を育成します。そして4年次には、大学での学修の集大成として、指導教員の指導のもと、自ら設定したテーマについて卒業論文を作成し、生涯にわたって学び続ける能力の確立を目指します。

(6) [評価方法]

学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準(試験、レポート、平常点)を用いて評価する。さらに、成績分析や卒業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)

次に掲げる基礎的学力、素養、意欲等を備えた学生を求めます。

- 現代社会について学ぶための基礎的な知識を身につけている。
- 現代社会の諸問題に広い関心を持ち、それについて論理的に考え、自己の見解を表現する基礎的な能力を身につけている。
- 現代社会の諸課題に取り組もうとする意志を持ち、そのために求められる幅広い視野と、専門的な知識の両者を獲得したいという意欲を持っている。
- 現代社会において求められる、言語コミュニケーション、社会調査、情報通信技術(ICT)などに関わるスキルを修得したいという意欲を持っている。
- 確かな知識をもとに、論理的に思考・判断する能力を獲得したいという意欲を持っている。
- 他の人々と対話し、また協働して目標を達成する能力を獲得したいという意欲を持っている。
- 自ら課題を見つけ、その解決に向けて持続的に取り組む主体性を身につけたいという意欲を持っている。

法学部法学科の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

法学や政治学等の分野の専門知識と幅広い教養とともに、ジェンダーの視点をもとに批判的な立場から、社会の中の様々な課題に主体的に取組み、法的に解決する力を養います。そして卒業後、法律専門職だけでなく、公務員、民間企業で働く職業人として、あるいは社会的コミュニティの中でのリーダーとして活躍できる、凛とした品位ある女性を育成します。

学位授与の方針(ディプロマポリシー)

「京都女子大学 学位授与の方針」[法学科 人材養成・教育研究上の目的]に基づき、卒業までに身につけるべき能力・資質として下記5項目を設定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものと、学位を授与します。

(1) [知識・理解]

- 法学、政治学の分野に関する基礎的な知識・理解を有している。
- 法学、政治学上の諸問題を理解する視点として、ジェンダーに関する基礎的な知識・理解を有している。

(2) [汎用的スキル]

- 法学・政治学の知識をもとに、課題に関する情報やデータを効果的に選定・収集し、分析できる。
- 収集した情報を批判的に検討し、論理的なプレゼンテーションや討

論をすることができる。

- 論拠を示しながら、自らの意見を説得的に展開する文章力を身につけている。

(3) [思考力・判断力]

- 批判的・合理的な思考を展開できる。
- 法学・政治学の知識・理解等に拠りつつ、広い視野と根拠に基づいて判断できる。

(4) [対話・協働性]

- 他者を尊重し、理解に努め、適切なコミュニケーションを取ることができる。
- 自らの専門的知識、個性や能力を活かして他者と協働できる。

(5) [主体性]

- 自らの目標に向かってチャレンジすることができる。
- 主体的に課題を発見し、積極的に取り組むことができる。
- 適切なリーダーシップを発揮できる。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

「法学科学位授与の方針」に掲げる能力・資質を身につけるため、「京都女子大学教育課程編成・実施の方針」に基づき教育課程を体系的に編成し、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系性・構造を明示する。

(1) [知識・理解]

1年次では、入門科目と並行して、基本六法をはじめとする法学・政治学の基礎的科目の学びが開始され、2年次以降、基本六法の理解を深めるとともに、行政法や労働法、国際法など様々な法領域を広く学び、法学・政治学分野の基礎的な知識と理解を習得することができる。また、1年次の「ジェンダー法Ⅰ」から3年次の「ジェンダー法Ⅵ」までのジェンダー法科目や、「ジェンダー法実習」「平和と女性」において、日常生活から社会構造まで、ジェンダーの視点から分析することを学ぶことを通じて、法学・政治学の諸問題を解決する視点としてのジェンダーに関する基礎的な知識と理解を習得することができる。

(2) [汎用的スキル]

大学生活に適応し、法学科における学修の道筋についての理解を得るために1年次に「導入演習」「基礎演習」を配置する。2年次から4年次までの各セメスターで配置される少人数の演習科目において、専門分野を深く学びつつ、報告や質疑応答などを通じて、複眼的に思考する能力、コミュニケーション能力、問題発見・課題解決力、プレゼンテーション能力、説得力のある文章力を身につけることができる。

(3) [思考力・判断力]

2年次以降に開講されるやや高度な専門科目と「ジェンダー法Ⅱ～Ⅵ」、1年次から4年次までの各セメスターで開講される演習科目などを通して、法学・政治学の基本的知識をもとに、社会の中の様々な事象における法学的・政治学的課題につき、必要な情報を収集・分析し、広い視野と根拠に基づいて批判的・合理的に判断する力を身につける。

(4) [対話・協働性]

各専門科目、特に国際関係法科目と女性のための法学科目等の学びを通して、他者を尊重し、理解に努め、適切なコミュニケーションをとる姿勢を身につける。1年次から4年次までの各セメスターで開講する演習科目での、課題に関する資料の収集・分析・検討に関するグループワークと報告・討論等の中で、個性や能力を活かしながら人とかかわる方法を学ぶとともに、他者を尊重し、協働する力を養う。

(5) [主体性]

1年次から4年次までの各セメスターで開講される演習科目において、自らテーマを選んで調査・研究・発表を行うことにより、主体的に課題を発見する力を養うことができる。演習科目に加えて2年次の「ジェンダー法実習」等においては、討論や意見交換に積極的に参加することや、グループ・ワークに取り組むことを通じて、各自が個性を活かしたリーダーシップを発揮することを学ぶ。さらに、4年次の「卒業研究」においては、自ら選択した研究テーマを探索し、卒業論文の完成を目指して努力することを通じ、自分の目標にチャレンジする力を身につけることができる。

(6) [評価方法]

学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準(試験、レポート、平常点)を用いて評価する。さらに、成績分析や卒業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)

次に掲げる基礎的学力、素養、意欲等を備えた学生を求めます。

- 法学や政治学等に強い興味と関心とを抱き、関連する教科の学びを

実質的に修得できており、知識・技能、思考力・判断力・表現力（特に自己の考えを論理的に表現・説明できる能力の基礎）を身につけている。

- (2) 法学や政治学等の分野の問題について関心をもち、幅広い経験を通して学ぼうとする意欲がある。
- (3) 国内外の社会情勢や多様な問題に関心があり、法学や政治学等の分野で学んだことを活かしてそれらに取り組む意欲がある。
- (4) 主体性や協調性、多様性を尊重する姿勢を身につけている。
- (5) 修得した知識・技能を用いて社会に貢献する意欲がある。

データサイエンス学部データサイエンス学科の教育目標

人材養成・教育研究上の目的

データサイエンスに関する教育・研究を通じて、社会の諸課題を発見する感性、科学的に洞察するためのデータ収集・処理・分析能力を身につけ、企業、行政等をはじめとした社会の様々な場面で、データサイエンスの深い教養と専門知識を活かして課題解決に貢献できる女性を養成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

「京都女子大学 学位授与の方針」「データサイエンス学科 人材養成・教育研究上の目的」に基づき、卒業までに身につけるべき能力・資質として下記5項目を設定し、学士課程を通じて所定の課程を修め、132単位を修得することによって、本学科における到達目標を達成したものと、学位を授与します。

(1) [知識・理解]

社会の課題を洞察し、データを活用した課題解決・価値創造に取り組むにあたっての基盤となる、統計学、情報学、経済学、経営学等のデータサイエンスに関する専門的知識を有している。

(2) [汎用的スキル]

- ① 課題に関連するデータを効果的に選定・収集・処理できる。
- ② データが得られた分野を十分理解した上で、データサイエンスのスキルを駆使してデータを適切に処理・分析できる。
- ③ データ分析から得られた結果の意味を適正に解釈し、課題解決・価値創造に向けた方策を考案できる。

(3) [思考力・判断力]

様々な事象から取り組むべき課題を論理的思考力と多角的な視野によってとらえ、データに基づいて検証・判断できる。

(4) [対話・協働性]

社会の一員としての自覚とデータサイエンティストとして必要な倫理観を備え、他者を尊重しながら、論理的なコミュニケーションによって相互理解・調整に努め、様々な人々と協働できる。

(5) [主体性]

自ら目標を設定し、目標に向かって主体的に取り組むことができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

「データサイエンス学科学位授与の方針」に掲げる能力・資質を身につけるため、「京都女子大学教育課程編成・実施の方針」に基づき教育課程を体系的に編成し、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系性・構造を明示する。

(1) [知識・理解]

1～2年次前期までは、社会の課題を洞察し、データを活用した課題解決・価値創造に取り組むにあたっての基盤となる、統計学、情報学、経済学・経営学等のデータサイエンスに関する専門的知識を身に付けるため、「専門基礎科目」として各領域の基礎的な科目を設定し、各領域を広く学ぶ。2年次後期以降は、より高度なデータ処理・分析に必要な知識・技能を身につける科目や、多様な分野におけるデータサイエンスの活用に関する知見を身につける科目等、専門性を深めた「専門発展科目」として配置し、学生が自身の関心や将来像に応じて、履修モデルやカリキュラム・ツリーを参考としながら、体系的に専門性を積み上げる教育課程とする。

(2) [汎用的スキル]

課題に関連するデータを効果的に選定・収集・処理できる高度な力を身に付けるため、情報系科目（情報学）を体系的に配置する。データが得られた分野を十分理解した上で、データサイエンスのスキルを駆使してデータを適切に処理・分析できる高度な力を身に付けるため、数理・統計系科目（統計学）を体系的に配置する。データ分析から得られた結果の意味を適正に解釈し、課題解決・価値創造に向け提案できる力を身に付けるため、社会ソリューション科目（経済学・経営学等）を体系的に配置する。

(3) [思考力・判断力]

1年次から4年次まで開講するPBL（Problem Based Learning）型の演習科目で、学んだ理論に基づき実践するデータ分析の意味理解を通して、様々な事象から取り組むべき課題を論理的思考力と多角的な視野によってとらえ、データに基づいて検証・判断する能力を養う。

(4) [対話・協働性]

1年次から4年次まで開講するPBL（Problem Based Learning）型の演習科目で、提示された事例を基に、主体的にデータ選定・収集・分析・検討するグループワークを通して、他者を尊重しながら、論理的なコミュニケーションによって相互理解・調整に努め、様々な人々と協働できる力を身につける。その際、建学科目群の「仏教学」や共通科目群に配置された「ジェンダー科目」「教養科目」等を通して、仏教精神に根差す高い倫理観と市民に必要とされる幅広い教養、より良き市民としての社会的責任感を醸成する。専門科目群の履修を通してデータサイエンティストとして必要な倫理観を学ぶと共に、演習科目や卒業研究における双方のきめ細かい指導を通して社会の規範に従って行動する態度を培う。

(5) [主体性]

卒業研究を必修とし、それまでに積み重ねた学びの集大成として、自ら設定した研究目標に主体的に取り組む、指導教員のきめ細かな指導によって、学生が課題解決・価値創造に向けた方策を主体的に考案し、プレゼンテーションする力を養成する。

(6) [評価方法]

学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準（試験、レポート、平常点）を用いて評価する。さらに、成績分析や卒業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

次に掲げる基礎的学力、素養、意欲等を備えた学生を求めます。

- (1) 専門教育と関連した基礎的な教科（特に数学）の学びを身につけている。
- (2) 得られた知識や情報を基にして、論理的・多面的に考え、その結果を活用していくことに関心がある。
- (3) 他者と十分なコミュニケーションを図り、互いに協力しながら課題に取り組んでいく姿勢がある。
- (4) データと社会とのつながりに対する関心を持っており、主体的に大学での学びに取り組む、そこで修得した能力を社会で活かしたいという意欲がある。
- (5) 自ら主体的に学び、各分野で創造的役割を果たす人間へと成長していこうとする意志を持っている。

